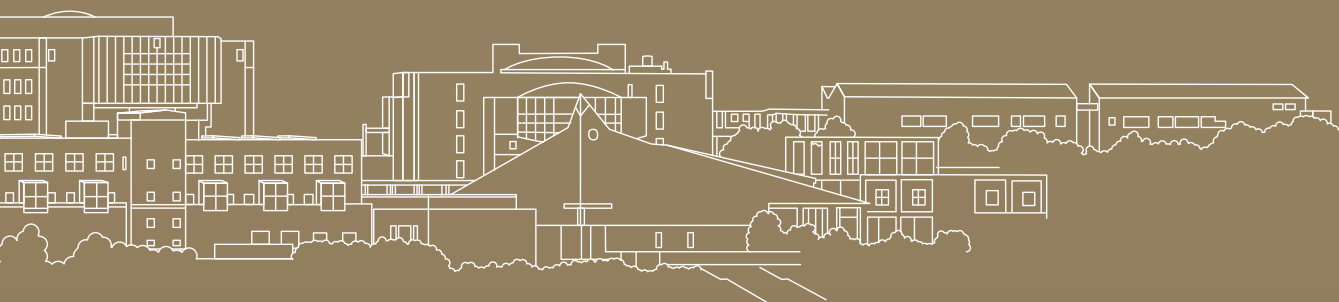




3つのひかり 未来をつくる
広島市立大学
Hiroshima City University

大学案内 2021





3つのひかり 未来をつくる

広島市立大学

Hiroshima City University

大学案内 2021

国際学部

International Studies

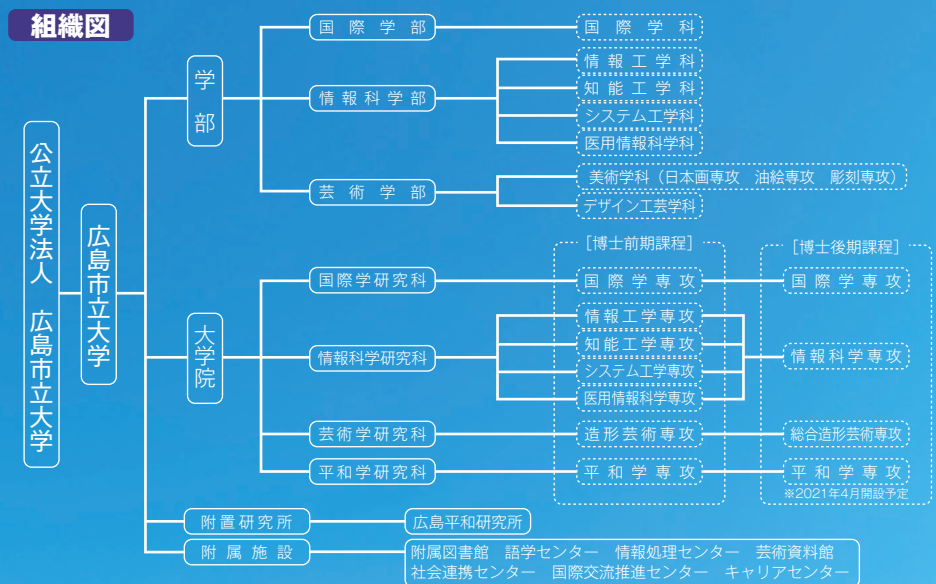
情報科学部

Information Sciences

芸術学部

Arts







TALK TERIA TALK TERIA



Enjoy
Eat & Talk!!



Contents

p.011 建学の基本理念
p.012 学長メッセージ
p.013 学部構成図
p.015 教育の特色
p.019 全学共通系科目
p.021 外国語系科目／資格取得関係科目
p.022 国際交流
p.024 留学体験記
p.027 地域に貢献する広島市立大学
p.033 特色のある課外教育プログラム

国際学部

p.036

p.037 学部長メッセージ
p.038 求める人物像・教育方針
p.039 5つのプログラム
p.041 国際学部 年次チャート
p.042 ■国際政治・平和プログラム
p.043 ■公共政策・NPOプログラム
p.044 ■多文化共生プログラム
p.045 ■国際ビジネスプログラム
p.046 ■言語・コミュニケーションプログラム
p.047 国際理解・少人数教育の重視／HIROSHIMA and PEACE
p.049 CALL英語集中
p.050 ユニークな研究紹介
p.051 海外研修など(Study Abroad Programs)
p.053 Voices(在校生)

情報科学部

p.056

p.057 学部長メッセージ
p.058 求める人物像・教育方針
p.059 学科・コース
p.061 情報工学科 年次チャート
p.062 ■コンピュータコース
p.063 ■ネットワークコース
p.064 ■コミュニケーション基盤コース
p.065 知能工学科 年次チャート
p.066 ■知能ソフトウェアコース
p.067 ■知能メディアコース
p.068 ■知能サイエンスコース
p.069 システム工学科 年次チャート
p.070 ■人間・ロボット共生コース
p.071 ■インタフェースデザインコース
p.072 医用情報科学科 年次チャート
p.073 ■医用情報科学科
p.075 ユニークな研究紹介
p.077 Voices(在校生)

芸術学部

p.080

p.081 学部長メッセージ
p.082 求める人物像・教育方針
p.083 学科／専攻・分野
p.085 美術学科 年次チャート
p.086 ■日本画専攻
p.087 ■油絵専攻
p.088 ■彫刻専攻
p.089 デザイン工芸学科 年次チャート
p.090 ■現代表現
p.091 ■視覚造形
p.092 ■立体造形
p.093 ■映像メディア造形
p.094 ■金属造形
p.095 ■染織造形
p.096 ■漆造形
p.097 ユニークな研究紹介
p.099 創作工房・実習アトリエ
p.101 Voices(在校生)

大学院・ 広島平和研究所

p.104

p.106 大学院の目的と特色
p.107 全研究科共通科目群
p.108 国際学研究科
p.109 情報科学研究科
p.110 芸術学研究科
p.111 平和学研究科
p.113 広島平和研究所

附属施設

p.116

キャンパスライフ

p.122

就 職

p.140

p.117 附属施設

p.123 学生座談会
p.127 アート&アウトドアレジャー
p.129 キャンパスカレンダー
p.131 大学生生活サポート
p.133 クラブ&サークル
p.137 キャンパスマップ

p.141 就職
p.142 就職活動体験談
p.143 キャリア形成・就職サポート
p.148 就職データ
p.149 就職先・進路 ■国際学部
p.150 Voices(国際学部卒業生)
p.151 就職先・進路 ■情報科学部
p.152 Voices(情報科学部卒業生)
p.153 就職先・進路 ■芸術学部
p.154 Voices(芸術学部卒業生)
p.155 ウェブサイト紹介
p.157 入試情報
p.159 大学基礎データ
p.161 アクセスマップ



科学と芸術を軸に 世界平和と地域に貢献する 国際的な大学

広島市立大学が建学の基本理念として掲げる「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」という言葉には、科学・文化の発展と世界平和を希求する広島市の意志と、公立大学としての地域貢献への期待が込められています。

そうした本学の使命は、学術の中心として、深く専門の学芸を教授研究し、次代を担う感性与創造力の豊かな人材を養成するとともに、優れた教育研究の成果を地域に還元し、もって文化の向上と社会の発展に寄与することにあります。

国際平和文化都市を都市像とする広島市に設置された本学は、国際学部、情報科学部、芸術学部の3学部、そして大学院として、国際学研究科、情報科学研究科、芸術学研究科、平和学研究科を有する総合大学です。

また、世界平和と人類の幸福を実現するための研究や提言を行うことを目的として、広島平和研究所を設置しています。

広島市立大学は、特色のある教育研究活動を通じて、世界と地域が求める時代の要請に応え、本学が目標とする「国際平和文化都市の『知』の拠点—地域と共生し、市民の誇りとなる大学—」を築き上げていきます。

広島市立大学

Hiroshima City University



広島市立大学で自分の夢を実現しませんか

広島市立大学長 若林 真一

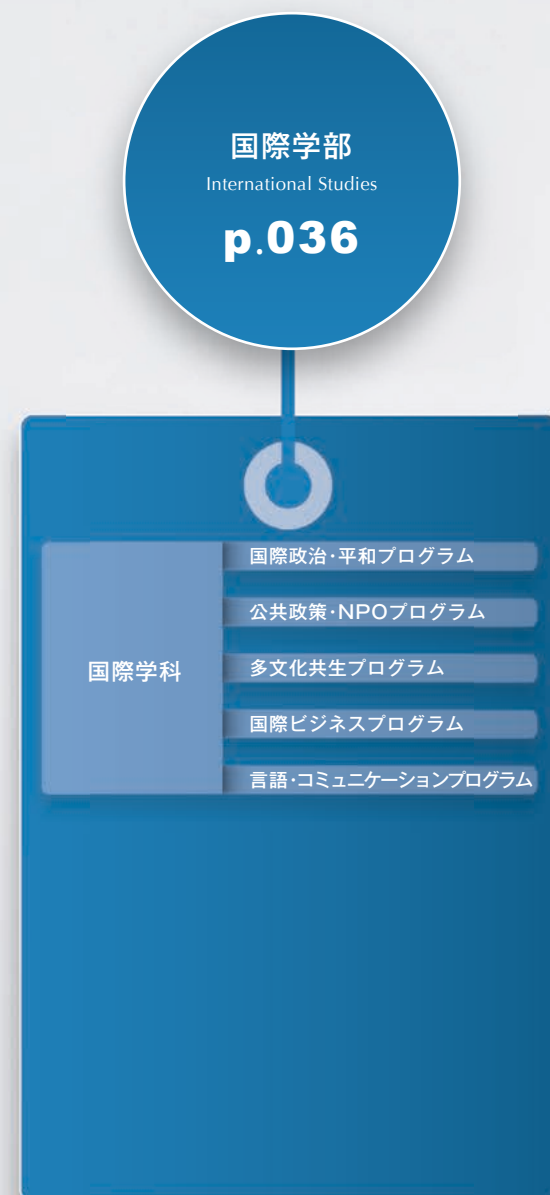
「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」を建学の基本理念として広島市が設立した広島市立大学は、1994年の建学以来、「国際平和文化都市」広島市の知の拠点として地域に根付いてきました。

本学は大学院生を含めて学生数が約2,000名、3学部から成る比較的小規模な大学ですが、文系の国際学部、理系の情報科学部、さらに芸術学部という特色ある学部構成を持つ総合大学であり、約200名の専任教員による少人数教育を実践しています。2019年4月には大学院に平和学研究科を設置し、平和に関する教育研究にも積極的に取り組んでいます。

3学部・4研究科の専門分野の教育研究に加えて、「いちだい知のトライアスロン」事業をはじめとするユニークな全学共通教育（教養教育）、文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」にも選定された地域貢献人材育成、海外学術交流協定大学等への留学や国際学生寮「さくら」を活用したグローバル人材育成は本学の教育を特色づけるものです。学生の卒業後の進路や職業選択をサポートするためのキャリア教育・キャリア形成支援も充実しています。

国際平和文化都市で、国際学、情報科学、芸術学、そして平和学を学び、広島から世界に羽ばたいてみませんか。広島市立大学は、勉学とともに、課外活動、留学、地域貢献、あるいは芸術活動などに積極的に取り組む学生を全力で支援します。

自分の将来の夢を実現しようとする皆さんの入学を心からお待ちしています。



人材育成の目標

広島市立大学は、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材、さらに、幅広い知識と確かな専門性を有し、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成することを目標としています。

求める人物像

広島市立大学は、次のような人の入学を求めています。

- ◎人間性豊かで、向学心の旺盛な人
- ◎知的好奇心と探究心を持ち、知の創造と活用に意欲のある人
- ◎世界平和と地域・国際社会の発展に積極的に貢献したい人



01

徹底した少人数教育

入学から卒業まで、少人数教育で学生生活をしっかりサポート！

1:2

本学では、1学年の学部学生約430名に対し、約200名の専任教員を配置しています。教員1名当たりの1学年の学生数は約2.2名です。このような恵まれた教育体制を特徴とし、演習科目や多くの授業で少人数教育を実践しています。

少人数教育で教員と学生相互の緊密な人間関係を築き、学習面のみならず、課外活動や進路選択など学生生活全般にわたってきめ細かい指導を行っています。



オンライン授業の様子

02

3学部合同基礎演習

国際、情報、芸術の多様な価値観による化学反応が魅力の初年次演習！

「3学部合同基礎演習」は1年次前期に開講される全学必修科目です。3学部の学生10数名が学部を超えて少人数クラスを作り、与えられた課題をグループワークで解決するなど、学部の専門性を超えた多様な知識や価値観を身に付けます。

また、「知のトライアスロン事業」スタートアップコースを授業に取り入れ、読書、映画鑑賞、美術鑑賞を通して「知る」・「考える」・「伝える」力と幅広い教養を身に付けると同時に、レポート作成やディスカッション、プレゼンテーションにより自己表現能力を養います。

少人数のゼミ形式の授業を体験することで、教員と学生相互のコミュニケーションを図り、学部を超えた学習集団の形成にも役立ちます。



3学部合同基礎演習の様子

03

キャリア教育の推進

学生のキャリア形成を、大学をあげてサポートします



「キャリアサポートベーシック」の講義の様子

本学では2014年4月にキャリアセンターを設置し、学生の卒業後の進路や職業選択に向けたキャリア形成支援を全学的に推進しています。

教育課程には、全学共通系科目の一区分として「キャリア形成・実践科目」を設けています。1年次を主な対象とする授業科目「キャリアデザイン」では、大学入学後の早い段階で学生自身が自らの大学卒業後の将来をイメージしながら、その実現に向けて大学4年間の学修や生活の目標設定を行います。

「インターンシップ・ベーシック」では、企業等での職業体験を通じて将来のイメージの具体化を図ります。

また、2年次・3年次を対象とする授業科目「キャリアサポートベーシック」では、キャリアデザインの実現のために必要な知識・スキルを学び、具体的な実践力を養います。

各学部の専門教育課程においては、企業等における就職体験や小・中学校等における学校支援活動、芸術分野の各種プロジェクトへの参画といった学外における活動の成果を単位認定する仕組みを整備しています。

04

いちだい知のトライアスロン

読書、映画鑑賞、美術展鑑賞を大学全体で応援します



「いちだい知のトライアスロン」は、「知る・考える・伝える」能力の向上と豊かで幅広い教養を培うことを目的として、3学部の特徴を生かし、質とともに量を重視した読書、映画鑑賞、美術展鑑賞を大学全体で推進する教育プログラムです。このプログラムでは、大学で開発した専用のウェブシステムを使い教職員・学生が読んだ本や鑑賞した作品の推薦コメントをオンラインで提出し、感想を共有します。

なお、毎年度、優秀な感想を提出した学生を「コメント大賞」受賞者として表彰しています。附属図書館、語学センター、芸術資料館などの学内施設では、学生がより多くの作品に挑戦できる環境を整えています。

また、広島市内の美術館や広島市映像文化ライブラリーなどとも連携し、これらの学外施設を会場に本学教員による講演やギャラリートーク、映画上映会等を組み合わせた「出張講座」を年に数回開催しています。スタートアップコースから次第にレベルを上げていき、最終段階のトライアスロンコースを完走した学生は「知の鉄人」として表彰されます。



「知の鉄人」表彰式

05

グローバル教育の推進

国際人としての資質を身に付ける多彩な語学教育、充実の留学プログラム！

本学はグローバル人材育成のための科目が充実しています。全学共通の外国語系科目では、第1外国語の英語に加えて、第2外国語としてドイツ語、フランス語、中国語をはじめとして多様な言語がどの学部の学生も受講できるようになっています。19校の海外学術交流協定大学があり、半年から1年間の学生派遣、留学生の受け入れを積極的に行っています。また、アメリカ、フランス、ロシア、中国、韓国の協定校への短期語学留学があり、留学学生には単位が与えられます。その他、海外学術交流協定大学への派遣留学助成など、次代を担うリーダー人材育成のためのグローバル教育の推進に努めています。



ハノーバー専科大学の教員
Ute Heuer先生のワークショップ

06

地域貢献特定プログラム

文部科学省の「地(知)の拠点大学」の指定を契機とした、地域教育カリキュラム

地域社会の発展には若い世代の力が不可欠です。公立大学は、地域に定着し貢献する学生を育成していくことが、重要な使命となっています。広島市と近隣の市や町は、全体で人口230万人を超える大きな経済・生活圏(広島広域都市圏)を形成しています。本学は、この広域都市圏における地域の拠点となる大学として、2015年度から2019年度まで、文部科学省の地方創生事業の実施校の指定(※)を受けました。この事業の中心的な成果は、教育カリキュラムとして新しく「地域貢献特定プログラム」を開設したことです。



「地域課題演習」で地方移住のライフスタイルをテーマに、
山口県平生町を訪ねる(2019年度)

「地域貢献特定プログラム」は、全学共通系科目と専門教育科目によって構成する地域志向型のカリキュラムです。1、2年次の共通教育として、広島の観光学、産業と技術、地域再生論入門、地域課題演習などを履修し、2、3年次の専門教育では学部ごとに地域に関連した科目や地域実践演習が組まれています。さらに4年次で地域をテーマにした論文、研究、制作に取り組みます。プログラムの単位取得者には地域リーダーとしての称号が授与されます。

このプログラムにより、地域の特性や課題を理解し、課題の解決方法を総合的に考え、ネットワークを形成・調整し、専門性を効果的に発揮するという能力の育成を目指しています。学生は、学内での講義はもちろんのこと、地域の現場に出向いてさまざまな活動を体験することによって学習を深め、地域への関心や志向を高めています。

※「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」

地域貢献特定プログラムによる人材教育

学修の目標

- 1 地域の特性・課題の理解
- 2 総合的視野からの企画
- 3 ネットワークの形成・調整
- 4 専門性の効果的な発揮

地域が求める人材

地域に愛着と誇り

地域に根付く

地域の発展に貢献

全学共通系科目

学部を超えた共通科目の学修で、知識・感性・人間性を磨く

本学では、学部の専門的な科目に加えて、「総合共通科目」「一般情報処理科目」「保健体育科目」の3分野で構成された全学共通系科目を設置。各専門分野をはじめ、人間と文化、社会、科学との関わりや創造と表現、コンピュータリテラシーなどを学び、社会人に求められる理解力・判断力・表現力を総合的に身に付けていきます。

区 分		科 目				
全学共通系科目	総合共通科目	広島・地域志向科目	広島の観光学	広島の産業と技術	NPO論	地域課題演習
			ひろしま論	地域再生論入門	地域ボランティア活動	
		平和科目	平和と人権A(ヒロシマと国際平和)		平和インターンシップ	
			平和と人権B(現代世界と人権)		国際化時代の平和	
			広島からの平和学：実践の方法			
		共通科目A (人間と社会)	哲学A・B	現代史A・B	経済学	経営学
			世界の宗教	文学から学ぶ世界	社会学	心の健康・身体の健康
			心理学	法学(日本国憲法)	文化人類学	メディアと社会
	歴史学		政治学	自然人類学		
	共通科目B (数理と自然)	数学概論	化学概論	基礎生化学	地球環境論	
物理学概論		基礎化学	情報科学概論	情報社会論		
基礎物理学		生物学概論	物理・化学実験			
共通科目C (芸術)	デッサン概論	日本画入門	プレゼンテーション概論	コンピュータ・アート		
	油絵入門	立体造形概論	デザイン工芸概論	創作と人間		
初年次演習科目	3学部合同基礎演習					
	キャリア形成・実践科目	キャリアデザインⅰ・ⅱ		インターンシップ・ベーシック		
		キャリアサポートベーシックA・B		国際交流演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ		
		情報と企業				
一般情報処理科目		情報活用基礎				
保健体育科目		健康科学 体育実技Ⅰ・Ⅱ				

※科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

ユニークな科目



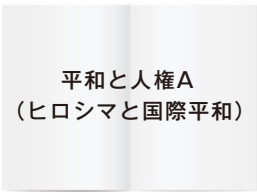
広島の観光学

広島市を中心とする圏域が有する自然、歴史、文化、食などの地域資源の魅力と可能性について学び、地域資源の付加価値を高める取り組み、地域での創意工夫、観光による地域づくりについての理解を深めていきます。観光は地域を変革し、活性化するパワーを持っています。人々はなぜ観光をするのか、観光の要素、観光を支える仕組み等の基礎知識を修得しながら、地域活性化における観光の意義と役割について学んでいきます。



ひろしま論

3学部1研究所で構成する本学の特色を生かした科目です。広島をキーワードに幅広いテーマを設定し、各テーマに造詣の深い講師がオムニバス形式で授業を行います。さまざまな観点から広島の歴史、文化、経済、産業、行政などをひもとくことでその特色を知り、地域社会への関心を深め、地域社会の問題解決と発展を思考できる幅広い見識を持った人材を育てることを目的としています。また、国際平和文化都市・広島の原点である被爆体験や広島の平和の取り組みについても学びます。



平和と人権A
(ヒロシマと国際平和)

人間が生まれながらに持つ権利(人権)と個々人が備え持つ固有の価値(尊厳)が保障され、守られる状態を広い意味での「平和」と捉えるなら、人権や人間の尊厳が傷つけられ、侵される最も顕著な例は戦争です。講義では、広島の戦争経験のうち、今から75年前に投下された原子爆弾による被爆体験に焦点を当てます。その上で、先の大戦の経緯や原子爆弾の投下過程と被害の実相、現代世界における核兵器の存在状況や意味を考えながら、平和を実現するための課題について探究します。広島平和研究所や国際学部・情報科学部・芸術学部の教員、さらには学外の有識者や被爆者などを講師として迎え、講義では映像や図像等も積極的に活用します。



創作と人間

芸術学部を有する本学の特徴を最大限に生かし、全学部生を対象とし、美術に関する幅広い教養と知識を養い、人間の根源的な創造または創作する気持ちを触発し、作品を作る喜びを伝える本学ならではの科目です。絵画・彫刻・工芸・デザイン等の各領域で、優れた技術と豊富な経験を持つ芸術学部教員が、自らの創作体験や作品の紹介を通して創作への姿勢を示し、その多様な芸術観に触れる機会を提供することで人間的な創作について考察します。



情報と企業

ICT(情報通信技術)を中心とした各企業の取り組みを通じて、実社会の状況を知ingことを目的としています。国内外のさまざまな企業の第一線で活躍中の講師を迎え、ICTを中心とした各企業での取り組みについて講義をします。また、この科目は、遠隔講義環境を利用して、慶應義塾大学、同志社大学、広島市立大学の3拠点をネットワークで結び、本学から参加できるようにしています。両大学における講義を聴講するだけでなく、質疑応答等も含め双方向の対話が可能です。

外国語系科目

地球社会に生きる国際人に必要な語学力の習得

最新の設備や機器を備えた語学センターや外国人数員による直接の指導、多彩な教材など、ハード・ソフトの両面から外国語の学習環境を提供しています。読むこと、書くこと、話すこと、聞くこと、考えることという総合的で実践的な語学力を身に付け、21世紀の国際人として活躍できる力を養います。

●外国語系科目	英語応用演習 I・II・III・IV	中国語 I・II・III・IV	ロシア語 I・II・III・IV	日本語 I・II・III・IV
CALL英語集中 I・II・III・IV	ドイツ語 I・II・III・IV	ハングル I・II・III・IV	イタリア語 I・II・III・IV	※学部等により履修できない科目もあります。
eラーニング英語 I・II・III・IV	フランス語 I・II・III・IV	アラビア語 I・II・III・IV	スペイン語 I・II・III・IV	

●徹底した訓練を行う「CALL英語集中」

本学では、コンピュータ利用による英語訓練授業「CALL英語集中」により、英語力の養成を図っています。この授業では、語学センターや情報処理センターのコンピュータを使って、1年次は英語のリスニング、リーディング、文法を集中的に学習します。2年次はそれらに加えて、スピーキングやライティングを学習し、英語表現を徹底的に身に付けます。授業は、指定された約2カ月間に自分の都合やペースに合わせて学習を行うもので、学習の開始前と終了後にTOEIC IPテストを受験します。国際社会に不可欠な英語力を確実に高めていきます。

●能力別少人数の「英語応用演習」

「CALL英語集中」とは別に、1クラス10～15名という少人数授業「英語応用演習」を開設しています。ここではスピーキングとライティングの技能を集中して鍛えるための授業を行います。このクラスは能力別の編成を行い、各クラスのレベルに適したシラバスとテキストを使って、きめ細かな指導を行います。

資格取得関係科目

本学では、教育職員免許状受領資格や学芸員資格を取得するための科目を開設しています。

取得可能な資格

国際学部	情報科学部	芸術学部
●中学校教諭一種免許状(英語) ●高等学校教諭一種免許状(英語) ●博物館、美術館などの学芸員	●高等学校教諭一種免許状(数学) ※医用情報科学科を除く ●高等学校教諭一種免許状(情報) ●博物館、美術館などの学芸員	●中学校教諭一種免許状(美術) ●高等学校教諭一種免許状(美術) ●博物館、美術館などの学芸員 ●高等学校教諭一種免許状(工芸) ※デザイン工芸学科に限る

資格取得関係科目は以下のとおりです。

区 分	科 目				
教育職員免許状 受領資格取得 関係科目 (教育の基礎的理解に関する科目等)	教師論	教科教育法(英語)AI・AII・BI・BII	道德教育論	教育相談論	
	教育原理	教科教育法(数学)I・II	総合的な学習の時間論	教育実習I・II	
学芸員資格取得関係科目	教育心理学	教科教育法(情報)I・II	特別活動論	教職実践演習(中等)A・B・C	
	特別支援教育論	教科教育法(美術)AI・AII・BI・BII	教育方法・技術論	学校インターンシップ	
	教育経営学	教科教育法(工芸)I・II	生徒・進路指導論	教職特講	
	教育課程論				
学芸員資格取得関係科目	生涯学習概論	博物館経営論	博物館資料保存論	博物館教育論	博物館実習
	博物館概論	博物館資料論	博物館展示論	博物館情報・メディア論	

国際交流

広島市立大学は、広島ならではのメッセージを世界に発信できる特別な都市にあることから、建学の基本理念としても、国際的な大学となることを強く期待されています。大学の国際化をより一層強力に推進するため、国際交流推進センターを設置し、学生の海外留学派遣および留学生受け入れのための企画・実施等を全学で一元化し運営する体制を整えています。今後も、各種国際交流プログラムをさらに

●海外からの留学生の積極的な受け入れ

本学では建学の理念である国際的な大学を実現するため、外国人留学生入試の実施や海外大学との学術交流協定に基づく交換留学の実施などにより、留学生の受け入れに積極的に取り組んでいます。2019年度の実績では、受け入れ留学生数は134名、うち海外学術交流協定大学からの交換留学生は38名で、公立大学の中でも国際交流が盛んな大学です。本学で受け入れた留学生の学習や日本での生活がスムーズに進むよう、日本語や日本の事情を学ぶ科目を充実するとともに、奨学金制度を紹介するなど、さまざまなサポートを行っています。

また、正規生・交換留学生等の長期受け入れのみならず、短期の受け入れも行っています。

●海外への学生派遣

本学では次の3種のプログラムにより海外への学生派遣を推進しています。

- (1)海外交流プログラム(1週間～10日間)
- (2)短期語学留学プログラム(2～4週間)
- (3)海外学術交流協定大学への学生派遣プログラム(半年または1年)

(1)海外交流プログラム(1週間～10日間)

海外の学生との交流やホームステイ等を通じて、国際交流の楽しさを実感するとともに、短期語学留学プログラムや長期派遣留学への参加意欲を高めること等を狙いとして、1週間から

充実させるなど、学生の語学や専門知識・技能の習得はもとより、異文化環境の中で活躍できるグローバル人材の輩出に取り組んでいます。加えて、2018年4月に留学生と日本人学生が共同生活を行う「国際学生寮」が開寮しました。寮生活を通じ、グローバルな視野を持ち、対人関係の構築や多様性を受け入れ共感する力に優れたタフな人材を育成していきます。

○主な短期受け入れ

- ・国立台中科技大学(台湾)の学生(毎年7月)
- ・マレーシア科学大学の学生(毎年8月)
- ・シンガポール国立大学の学生(毎年5月、12月)
- ・慶北国立大学校(韓国)の学生(毎年1月)

受け入れ時には、毎回本学学生との交流事業を実施しており、学内で異文化交流体験ができる貴重な機会になっています。



マレーシア学生との交流

10日程度、海外に赴くプログラムを実施しています。なお、このプログラム参加者には大学から助成金を支給する制度を設けています。

- マレーシア交流プログラム(毎年9月上旬実施。2019年度5名参加)
- サンフランシスコ交流プログラム(毎年9月下旬実施。2019年度6名参加)
- シンガポール交流プログラム(毎年3月上旬実施。2019年度はCOVID-19の影響により中止)



サンフランシスコ・ゴールデンゲートブリッジ



マレーシアの子どもたちと

(2) 短期語学留学プログラム(2～4週間)

語学力を向上させるとともに、主体性、積極性、協調性などを培い、長期留学の促進を図ることを狙いとして、2週間から4週間程度、海外の大学での語学集中講義や歴史・文化研修などからなる研修プログラムを実施しています。いずれも夏季休業中に実施され、2019年度は合計44名の学生が参加しました。また、このプログラムへの参加を単位認定する仕組みや、大学から助成金を支給する制度を設けています。(pp.51～52のプログラム紹介をご覧ください。)

- ハワイ大学マノア校(アメリカ)(2019年度15名参加)
- オルレアン大学(フランス)(2019年度11名参加)
- モスクワ国立大学(ロシア)(隔年開催。2018年度8名参加)
- 西南大学(中国)(2019年度12名参加)
- 慶北国立大学校(韓国)(2019年度6名参加)



フランス・オルレアンの前並み



ロシア・モスクワ市内見学



西南大学での文化体験

(3) 海外学術交流協定大学への学生派遣プログラム(半年または1年)

本学では下表の大学と学術交流協定を結び、交流・学生交換を推進しています。派遣留学は、本学に在籍したまま、海外学術交流協定大学に半年または1年間留学するもので、派遣先の大学で修得した単位は、一定の条件のもとで本学の単位に認定されます。また、学生が海外学術交流協定大学に派遣留学する場合、留学経費の一部助成および語学力向上のための個別支援を行っています。



カナダ・エミリー・カー美術デザイン大学



中国・西南大学文化祭



ホストファミリーと(コスタリカ)



韓国の民族衣装を着て散策

国	海外学術交流協定大学	派遣留学実績人数
ドイツ	ハノーバー専科大学	14
	アラヌス大学	4
	ベルリン・バイセンゼー芸術大学	0
	ベルリン・フンボルト大学	0
	ヴァインガルテン教育大学	1
フランス	オルレアン大学	3
	レンヌ第2大学	3
カナダ	エミリー・カー美術デザイン大学	1
	コンコルディア大学(2019年度新規)	0
アメリカ	ハワイ大学マノア校	3
	コスタリカ	2
マレーシア	マレーシア科学大学	3
	西京大学校	4
韓国	梨花女子大学校	2
	慶北国立大学校人文大学	1
中国	西南大学	3
	国際関係学院	1
	上海大学	5
	蘇州大学(2019年度新規)	0

※実績人数は過去3年の合計数。
※2020年度よりハノーバー専科大学第4学部とダブル・マスター・ディグリープログラム(本学情報科学研究科博士前期課程の学生限定)も開始。

留学体験記



1列目左が早井さん

早井 千春

国際学部国際学科4年
2019年8月から約6週間、コスタリカ・国連平和大学へ留学

3年生の夏休みに、コスタリカ・国連平和大学での短期語学留学プログラムに参加しました。もともと平和学に興味があったことと、海外の大学で学ぶことで自分の力を試したい、成長したいとの思いから、参加を決めました。世界中から集まった多様で優秀な学生たちとのディスカッションや交流を通して、自分の考えを表現する力が鍛えられたし、以前よりも度胸がつきました。また、今まで自分が持っていた価値観が大きく揺さぶられ、視野が大きく広がったと感じます。もちろんしんどい経験もたくさんありましたが、それらを乗り越えたことで自信がつき、失敗を恐れずいろいろなことに挑戦する姿勢が身につきました。皆さんにもぜひ、今の自分より少しレベルの高いことに挑戦し、自分の殻をどんどん破ってほしいです。私もずっと挑戦し続けたいと思っています。



左がフロリアヌさん

フロリアヌ・ヴェルニュ(フランス)

国際学部 特別聴講学生

I come from France and I am in 3rd university year. I arrived in Hiroshima in September 2019 and will be leaving in the summer of 2020. In HCU, I am in the Faculty of International Studies. I have classes such as American culture or English debate. But I think the most interesting class is "Modern Japanese Studies". International students share the class with Japanese students. So we can share our different point of view on social issues about the Japanese society and societies around the world. As soon as I arrived, I felt very comfortable, far away from my home, thanks to the university staff and the volunteer students who welcomed us. In Sakura dormitory, everyone took care of us by helping us to settle in and to get our bearings in Japan. The leaders organize a lot of parties where we have fun and talk together. It's very interesting to live with foreigners from around the world. I think I have learned a lot of things living surrounded by all these different cultures. The atmosphere in the residence is awesome and we make friends very quickly. Hiroshima is a very pleasant city with lots of activities to do and places to visit. The people are welcoming and encourage us to discover their city with interest. If you are looking for a welcoming place full of possibilities and a great university: come to Hiroshima!!

留学体験記



右が武井さん

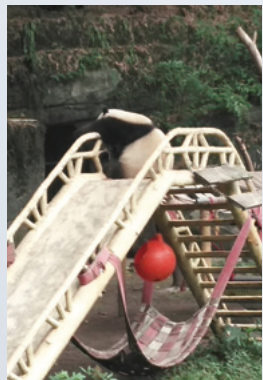
武井 克安

情報科学部情報工学科3年

2019年9月から約2週間、中国・西南大学語学留学に参加

私は大学2年次の夏休み期間に2週間の短期留学をしました。いくつか行き先がある中、私は中国の重慶市に行きました。旅費が他の国に比べて安かったのと、中国の風土を知りたかったからです。中国に留学するにあたって初歩的な中国語を2年次の前期に学んで留学に備えました。

午前中は中国語の勉強、午後は中国の文化を学ぶさまざまな授業や舞踏、習字などの体験を通して中国のことを学びました。朝、昼、夜の食事は大学近くのお店や大学内のカフェテリアで食べることができました。たまにとても辛い料理(土地柄辛い料理を食べる人が多いです)もありましたが、どれも美味しく、中国の食文化を体験することができました。休日には、現地の学生と昔ながらの街並みが残る場所に行ったり、都市部にある動物園に行ったりしました。さすが中国の動物園だけあって、パンダがたくさんいてとても印象的でした。



動物園で見たパンダの様子



ヌルル・ヒダヤ・ラヒム(インドネシア)

情報科学研究科(博士前期課程)システム工学専攻1年

I am grateful that I got a chance to experience living in Hiroshima and studying at Hiroshima City University. Since it was the first time for me to leave my country, I was nervous at first. But all my worries vanished as I found everyone here at the university to be kind-hearted. Friends, *sensei*, and even the staff all welcomed me and helped me a lot. I learned the Japanese language with them. My Japanese lesson takes place in the university yard which is one of my favorite places within the compound. It is a good place to sit with friends, make friends, talk to each other and practice my Japanese language skills. The library is also my favorite place in the university. It is comfortable, quiet, and has a lot of English books. It is definitely the best place to study.



I live in Sakura dormitory, which feels like my second home! Friends are great and helpful. I made a lot of friends there. It is simply wonderful. At first, I found it hard to find something that I could eat because I am a Muslim and therefore I cannot eat pork and drink alcohol. But now, thanks to my friends, I can handle it by finding food and even cooking it myself. The public transportation is good and comfortable, and actually a new experience for me since I used to drive myself when I was in Indonesia.

I want to thank everyone at Hiroshima City University for all the help and support. I cannot wait to make more good memories here.



右が赤星さん

赤星 利樹

芸術学部美術学科4年

2019年2月から1年間、ドイツ・ハノーバー専科大学に派遣留学

私が留学を志したのは大学のマレーシア研修プログラムでの異文化交流がきっかけです。

生まれ育った国を離れ、異なる文化を持つ人々と交流することが今後の制作活動につながると思い、多国籍社会で芸術が盛え、さらに広島

の姉妹都市で長い親交があるハノーバーへの交換留学を決めました。ハノーバーはのどかで暮らしやすい町で、大学では世界中からやってくる留学生との出会いがあります。ハンブルクやベルリンといった大都市やヨーロッパ各地へのアクセスも良いです。

留学では当初の期待どおり、充実した制作活動と幅広い交流ができたうえに、語学力や計画性も上がりました。同期の学生や市大の先輩との現地でのつながり、広島とハノーバー両大学職員の方々の支えがあつてこの成長があり、広島に帰ってからも交流を大切にしながら精力的な制作に取り組もうと考えています。

留学は自分の道を切りひらき、夢を描いていきたい人に強くおすすめします。



左がニコラスさん

ニコラス・ヴィオラ(ドイツ)

芸術学部 特別聴講学生

こんにちは、私の名前はニックです。ドイツのハノーバー専科大学から交換留学生として広島市立大学に来ました。現在芸術学部で視覚造形を専攻しています。日本に来る前は留学でどんな経験をするのか全然想像できませんでした。すごく楽しみにしていましたが、日本のことはよく知られている事以外あまり知らず、先に日本に行った友達の話の聞いたりして準備をしていました。大学では国際学生寮さくらに入りました。ルームメイトたちは優しくて面白いのですぐ仲良くなり、今も交流を楽しんでいます。授業では新しく興味深いことが多いです。

例えば「クロスカルチュラルランゲージアンドコミュニケーション」という授業では、日本のことについて敬語や言葉の文化といった知らなかった事を学びました。芸術学部の授業でも僕のスキルを磨けていると感じます。具体的には前期に視覚造形をテーマに夢の写真という作品を作成しました。毎日、先生や同級生たちからさまざまな事を学んでいます。多くの人と話し、その人の考えから学ぶのはすごく刺激的です。広島市立大学とハノーバー専科大学が協定校のため、留学するチャンスがもらえました。きっと人生で1回しかないチャンスだと思います。日本に來られて良かったです。





宮島の伝統工芸「宮島ろくろ」の技術継承を目的とした「宮島ものづくり産業復興プロジェクト」での制作風景と展示会

地域に貢献する広島市立大学

広島市の公立大学として、地域と共生し、市民の誇りとなる大学を目指している本学は、
研究・教育等を通じて、地域貢献につながるさまざまな活動を行っています。

8.6ピースナイター



平和記念日の8月6日に開催される「ピースナイター」では、2011年からカープ球団の協力を得て、カープおよび対戦チームの監督、コーチ、選手がメッセージを書いたとうろを本学の学生が受け取り、原爆ドーム付近の元安川で行われる「とうろう流し」で流す行事が続いています。



いちだい プログラミング教室



「聞く・手を動かす・考える」といった講義・実践というプロセスを通して、小中高生にコンピュータやプログラミングの仕組みについて知ってもらい、興味を持ってもらうことを目的とした、情報科学部の学生たちによる社会貢献活動です。この活動が学生自身の成長にもつながっています。

柳井金魚ちょうちん プロジェクト



山口県柳井市の伝統行事である「柳井金魚ちょうちん祭り」に芸術学部デザイン工芸学科の教員と学生が参加したアートプロジェクトです。柳井市と協働し、祭りの魅力や地域の活性化へとつながるオリジナル金魚ちょうちん作品を制作し、柳井市内の旧醤油蔵で展示をしました。

大学と企業の コラボレーション



株式会社ホテルグランヴィア広島と連携し、芸術学部生向けのアートコンペを開催し、選ばれた学生の絵画作品をホテルグランヴィア広島1階ロビーの壁面に展示しています。作品がロビー内に彩りを与え、外国人観光客をはじめとする宿泊客を楽しませています。

デザインマンホール



広島市から受託研究としてデザインを依頼され、芸術学部が制作しました。広島市では、かつて城下町の目抜き通りであった西国街道を、新たなにぎわいの軸として復活させる取組を行っています。今回、広島駅周辺地区と紙屋町・八丁堀地区における双方向の人の流れを促進させることを目的とし、道路施設の一部であるマンホールふたのデザインを行いました。



市議会定例会 開会案内ポスター



広島市議会から依頼を受け、市議会定例会の開会日程等をPRするポスターを芸術学部の学生たちが作成しました。若者の政治への無関心や選挙の投票率の低迷が課題となる中、人の関心を引くためにはどのようなデザインが有効かを考え、それぞれ表現しました。広島市議会広報委員会(議員6人)の審査を経て選ばれた4枚のポスターは、市議会の開会日程にあわせ、市内の公共施設や高校など約150カ所に掲示されています。



基町住宅地区内の活動拠点M98で展示物を制作している様子

基町プロジェクト



毎年夏には、基町の写真展やトークイベントを開催しています

「基町プロジェクト」は、2013年7月に広島市が地元住民と連携しながら策定した「基町住宅地区活性化計画」に掲げている「基町アートロード、アートによる魅力づくり」の実現を目指す取り組みです。若者が主体となった創造的な文化芸術活動や地域交流を通じて、まちの魅力づくりや、基町住宅地区の活性化を目的とします。実施に当たり広島市立大学と中区役所が「基町プロジェクト～施策展開を図っていくための方向性と基本コンセプト～」を策定し、2015年度からこの基本コンセプトに基づいて、長期的な目標を見据えたプロジェクト活動に取り組んでいます。また、本プロジェクトは、広島市が2015年に被爆70周年を迎えるに当たり、被爆100周年を見据えて実施する「まちづくり先導事業」の1つに選定されました。2020年度からは、「基町から広島の後興と創造を発信する」をテーマに、「まなぶ」「つくる」「つなぐ」の3方向から、さまざまなプログラムに取り組んでいます。



市大英語 e ラーニング講座



国際学部の教員が開発した e ラーニング英語学習システムを利用し、「リーディング・リスニング・文法」「スピーキング」「ライティング」「小学校英語教育指導者養成」「通訳ガイド養成」の各プログラムをパソコンで学習する市民対象の自習型講座であり、本学サテライトキャンパスと広島市男女共同参画推進センター（ゆいぽーと）で年3回開講しています。受講前後にTOEICテストを受験し、学習効果を客観的に把握することができます。高校卒業程度の英語力がある方を対象としており、特に、地域の社会人にとって、英語の「学び直し」の機会となっています。



芸術学部サマースクール



芸術学部では、美術系大学への進学を希望する中学生・高校生向けのサマースクールを夏休みに開講しています。日本画・油絵・彫刻・デザイン工芸の4つの専攻で、将来、美術家・工芸家・デザイナーを目指すために必要な基礎実技プログラムを開設し、持参した作品の講評や美術系大学への進学相談などを行います。受講者それぞれの実力に合わせて細やかな指導を受けることができるプログラムです。

ひろしまコンピュータサイエンス(CS)塾



情報科学部では、小学校高学年から中学生を対象として、夏休みに本学で理科実験教室を開催しています。「デジタル計算機を作ってみよう」「海水電池を作ってみよう」「コンピュータ上に図形を描いてみよう」「コンピュータで音を分析してみよう」(※2019年度実施テーマ)といった身近なテーマで「情報科学」に興味を持ってもらい、問題発見力や解決力、見通す能力、データ分析能力などにおいて新たな才能の開花を試みています。今後はより発展したテーマを提供する予定です。



アートプロジェクト

芸術学部と教員が地域に出向き、アートやデザインによって、地域の魅力や資源などにスポットを当てる表現活動を行っています。学外教育として、学生が現場の環境や人々と触れ合いながら、取材、制作を進めるプロセスの中で、地域への発見や気づきを得る機会となっています。作品の展示やワークショップなどの地域活動によって交流も生まれています。

「筏津(いかだつ)芸術村のシンボルを作る」(広島県北広島町大朝)



地域の皆さんと作品制作に向けての打ち合わせ風景



地域と協働で設置した、神楽面をモチーフとしたトータルボール看板のお披露目

「空き家再生の取り組みを体験～作品展示～」(広島県尾道市)



学生の自主企画による展覧会準備



空き家再生の取り組みを学ぶ



プロジェクト参加学生による作品発表と講評会

「金魚ちょうちんのデザイン提案」(山口県柳井市)



柳井金魚ちょうちん祭りでの展示風景



学生によるオリジナル金魚ちょうちん作品(一例)

2019年度市大生チャレンジ事業

大学が活動費の一部を助成し、学生が自ら選定した課題や地域などから提案のあったテーマに基づき、社会貢献活動を行っています。

テーマ	内 容
いちだいプログラミング教室	プログラミング言語を使って絵を描いてもらうなど、コンピュータの仕組みやプログラミングについて小中高生に知ってもらうことを目指しました。
宮島ろくろ発信プロジェクト	パッケージデザインの提案や、写真集などの制作を通して、宮島伝統産業「宮島ろくろ」の魅力を伝えるとともに、伝統継承のきっかけづくりを目指しました。
RFIDのタグを用いた タイム計測の自動化	地域の体育協会からの依頼を受け、新春ロードレース大会でのタイム計測の自動化を目指しました。
「災禍とモノと物語り」展における 市民向けシンポジウムと震災遺構の VR体験の同時開催事業	シンポジウムと東日本大震災の遺構の3DデータアーカイブVR体験会を通して、災害の記憶の継承に関わる市民活動に貢献することを目指しました。
芸術、文化の更なる普及と、 地域の魅力の再発見	制作した作品を八丁堀や横川地区等へ持ち出して写真撮影し、その写真集を配布することで、芸術に触れる機会を提供し、地域の魅力を伝えることを目指しました。
とびしま海道のグルメ旅の情報発信	少子高齢化の進む島しょ部のグルメ情報をまとめたアクセスマップを作成するとともに、観光案内所等に設置し、観光振興に貢献することを目指しました。



宮島ろくろ発信プロジェクト成果物(フリーペーパー)



市民向けシンポジウムの開催



とびしまグルメマップの受け渡し



特色のある課外教育プログラム

国際学生寮 さくら

大学の国際化およびグローバル人材育成施策の一環として、日本人学生と外国人留学生が共同生活を行う国際学生寮「さくら」を2018年4月に開寮しました。共同生活そのものを教育の場とするとともに、多目的室や共用キッチンなどを活用し、学生役職者（リーダー）を中心として、多様な教育プログラムや交流プログラムを実施しています。

◎人材育成コンセプト

国籍の枠を超えた寮生が共同生活を行うことで、グローバルな視野を持ち、対人関係の構築や多様性を受け入れ共感する力に優れたタフな人材を育成します。

◎プログラムの内容

※今後実施予定のプログラムを含みます。

<寮生向けプログラム>

(1) 教育プログラム(日常生活を通した隠れた教育)

- 言語・文化・習慣の異なる学生との共同生活
- 日常会話における母語以外の語学学習
- 国際学生寮生活規則遵守による秩序ある寮内生活
- 当番制による寮内の定期清掃・ごみ出し・巡回など
- 共同生活におけるルール決め
- 各種寮内会議による寮運営
- 寮運営・交流プログラム等の企画および積極的な参加 など

(2) 交流プログラム

- 異文化交流・国際理解(例:各国の料理パーティー、国別の催し事など)
- 日本文化理解(例:七夕・正月などの季節行事、茶道・書道などの文化体験など)
- 外国語学習(例:母語を教え合うピアティーチング)
- 地域行事への参加(例:大塚・伴南ふれあい祭りへの参加)※
- 歓迎会・送別会 など

<その他のプログラム>

(1) 教育プログラム

- 英語・第2外国語などを集中的に学ぶ短期宿泊プログラム(例:原則英語のみによる「さくらでミニ留学」の開催)
- 異文化理解プログラム
- 広島平和文化センター等と連携した平和学習プログラム など

(2) 交流プログラム

- 夏期集中講座「HIROSHIMA and PEACE」参加者との交流
- 海外から短期で来る学生との交流プログラム など



国際学生寮さくら

◎入寮対象者

国際交流や外国人学生との共同生活に対する関心・意欲の高い学生(日本人研究生および科目等履修生を除く)、海外学術交流協定大学からの特別聴講学生が対象です。自宅の所在地や経済状況に関わらず入寮できます。



ユニット個室



ユニット共用部

◎寮生活をリードする学生役職者の設置

寮生が楽しく快適な寮生活を送ることができるよう、先輩学生として、寮生を取りまとめて自律的な寮運営をリードする学生役職者がいます。学生役職者には、リーダーシップやストレスマネジメント、AED講習などの学生役職者研修プログラムを受講してもらっています。



※大塚・伴南ふれあい祭りへの参加

広島市立大学塾(市大塾)

広く社会を見つめ、知識を習得し、感性、教養を培い、そして体験する。そのようなチャレンジが、自ら考え、判断し、行動する力を養います。社会における自らの役割を認識した新しい時代を担うリーダーの育成を目指し、授業とは異なる多様なテーマのプログラムを実施しています。

◎プログラムの内容

※以下のようなプログラムを実施しています。

<定期プログラム>

身近なテーマについて、やさしく、しかし深く考える場となることを目指して、塾長、副塾長をはじめ、NGOなどさまざまな分野で活躍される方をゲストに、講義・講話や関連図書・映像等の紹介、ディスカッションなどを行いました。



塾の風景

<その他のプログラム>

視察体験プログラムとして、長島愛生園および大久野島毒ガス資料館見学を実施しました。また、塾生は1年間自らの学びの総括として、それぞれテーマを設定し、夏季休業期間も活用して調査、視察等を行い、それを報告書としてまとめます。

その他、能、神楽などの伝統芸能鑑賞会や希望者による映画鑑賞会なども実施しました。



大久野島研修

◎塾生の募集

募集の際は、パンフレット、学内掲示などで広報します。知的好奇心を持ち、学ぶ意欲の旺盛な皆さんの応募をお待ちしています。

◎卒塾生の声

神津 圭佑(第3期卒塾 国際学部)

市大塾のプログラムは大学の講義では学べない刺激的な内容になっています。是非がつけられない社会問題や生き方について学年、生徒、先生の垣根を越えて議論するのが常です。NPO法人への訪問やホームレス支援の現場の視察からは、社会を見えないところで支えている人たちの存在、そしてその活動の意義について学びました。社会に対して自分は何ができるのか。何をしなければならないのか。社会的責任について考えさせられました。大学生活は受け身の姿勢では成長できません。市大塾という自発的に考え動ける環境に自ら身を置くことで自分の殻を破ることができるでしょう。皆さんも市大塾で新たな自分を探してみませんか。

三宅 響(第3期卒塾 芸術学部)

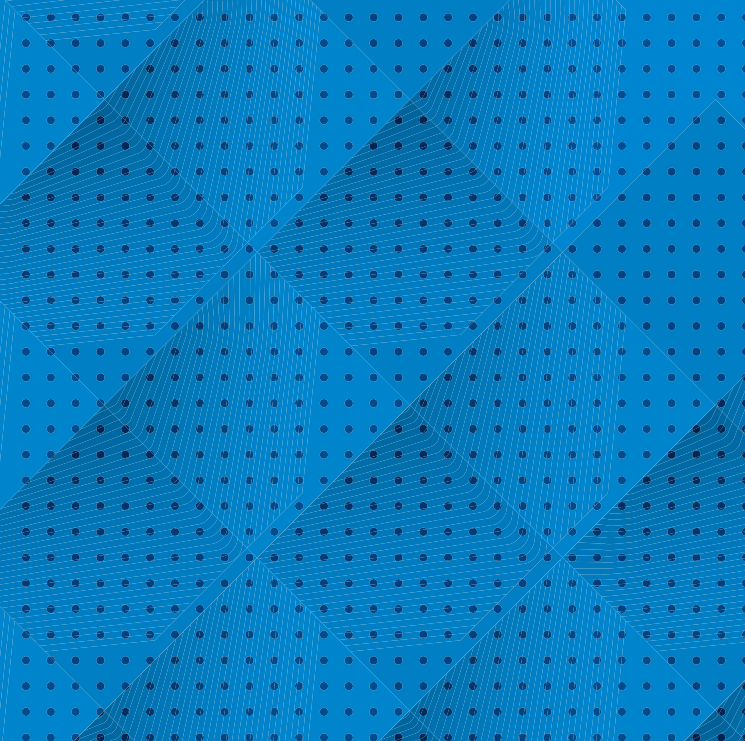
市大塾でのたくさんの経験の中で特に印象深かったことは、ホームレス支援活動への参加です。緊張しながらも実際に現場で活動してみると、目からうろこでした。ホームレスの皆さんは本当に優しく気さくな方ばかり。そこで初めて自分の無知さや無意識な偏見を猛省したのです。この感覚は普通の勉強だけでは味わえないでしょう。これは「知識」と「体験」、2つの角度から社会を学べる市大塾ならではの強みだと思います。上記で述べた以外にも多様な講習や研修がたっぷりあります。

自由な議論と本音の語り合い、知的好奇心に応える学びが市大塾にはあります。この短い大学生活の中で一生ものの体験をしてみませんか。



国際学部

International Studies



見つめる先は国際社会、自由なアプローチで豊かな人間性を培う

国際学部

International Studies



国際学部の教育が目指すのは、<CARP ability>

国際学部長 金 栄鎬

「国際」とは、読んで字のごとく「国」の「際」と書きます。さまざまな国や地域の言語や文化、歴史、政治と経済、対外関係などを知ることが、国際的な視野を持つために必要です。同時に、各国や諸地域のありようは国際社会との相互作用によって成立かつ変化しており、国や地域を深く知るためにも国境をまたぐ問題をとらえ返すことが重要です。

国際学部では、国際政治・平和、公共政策・NPO、多文化共生、国際ビジネス、言語・コミュニケーションの5つのプログラムから自分の関心に沿った科目を選択でき、複数のプログラムを横断する科目も選択できます。そこから国際学部が目指すのは、<CARP ability>です。

Creativity 創造力

Action with collaborative skills 他者と関わり行動する力

Reflectiveness 客観的に振り返る力

Planning for the next step 「次」への企画力

私たち国際学部は、このようなカリキュラムを備えて、皆さんをお待ちしています。

身に付けた外国語を生かしたい、
ビジネスの現場で活躍したい、
日本や世界、各地域の問題に
強い関心があるなど、
21世紀社会を担う意欲を持った
人を歓迎します。

求める人物像

◎関心・意欲

国際社会や地域社会が抱える課題に関心を持ち、かつその解決に意欲を持つ人。

◎知識・技能

国際学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき現代社会についての基本的な知識・教養を持っている人。また、外国語を含む言語の基本を修得し、基本的な運用能力を身に付けている人。

◎思考力・判断力・表現力

- ・社会の諸課題について、根拠に基づいて筋道を立てて考え、自分の意見をまとめることができる人。
- ・日本語と外国語を使って、自分の考えを分かりやすく表現できる人。

◎主体性・協働性

- ・何事にも主体性を持って行動し、海外留学やさまざまな活動に積極的に関わる意欲を持つ人。
- ・国際社会や地域社会で起こっている人間の営みに関連する諸課題の解決にむけて、さまざまな意見を持つ人とも対話し、協働して活動することができる人。

教育方針

◎「学際性」の実現に向けて

既存の枠にとらわれず、私たちの周りや世界各地の異質で多様なものを、多面的・複眼的に関連付けて理解できる学際的なカリキュラムを設けています。

◎5つのプログラムの可能性

学生の関心や目標に応じた5つのプログラムを用意し、それらを組み合わせて学習することができる多様で柔軟なカリキュラムを編成しています。

◎少人数クラス・ゼミの魅力

学生同士はもちろん、学生と教員がしっかりと議論ができるように、演習科目や各授業クラスを少人数で編成しています。

◎丁寧で適切なサポート体制

通常の授業だけではなく、課外活動を含めて、豊かな学生生活と学生一人ひとりの目標を実現できるよう、きめ細かなサポート体制を整えています。

一人ひとりの興味や卒業後の
進路を見据えて選択した学びを、
より効率的に進め、
深めていくために、
国際学部では、右のコンセプトで
カリキュラムを編成しています。

国際学部

International Studies

国際政治・
平和プログラム

多文化共生
プログラム

プログラム
共通科目
(地域研究)

公共政策・
NPOプログラム

国際ビジネス
プログラム

言語・コミュニケーション
プログラム

5つのプログラムをベースにした国際学部の教育プラン

21世紀の国際社会で求められる人材を育成するために、国際学部では6つの目標を設けています。

それは、●幅広い教養を身に付けること ●教養科目と専門科目とを連携させ学際的に学び知識を身に付けること ●国際的・学際的な視野を持って多様な問題を解決できる能力を高めること ●高い外国語能力を身に付けること ●問題解決のための行動力を身に付けること ●一人ひとりの関心、興味、ニーズに応じ、専門的な研究へ発展させられることの6項目です。この目標を実現できるように、5つのプログラムを中心にした教育カリキュラムを提供しています。

＜言語とコミュニケーション
力を育む科目＞

英語
＋
9つの第二外国語

＜専門科目＞

5プログラムの
専門科目を軸に
多面的に考える
力を養う

＜アクティブ科目＞

国際学部の学びを
国内外での行動に
つなげCARPability
を培う

5つの領域から21世紀を捉える

国際学部には、●国際政治・平和 ●公共政策・NPO ●多文化共生 ●国際ビジネス ●言語・コミュニケーションと、21世紀を担う人材に求められている国際的・地域的な課題を解決に導くための能力を養う5つのプログラムがあります。関心のある分野を深く学ぶ、あるいは複数のプログラムにまたがって幅広く学ぶなど、柔軟な学習が可能です。

複数プログラムの履修が可能

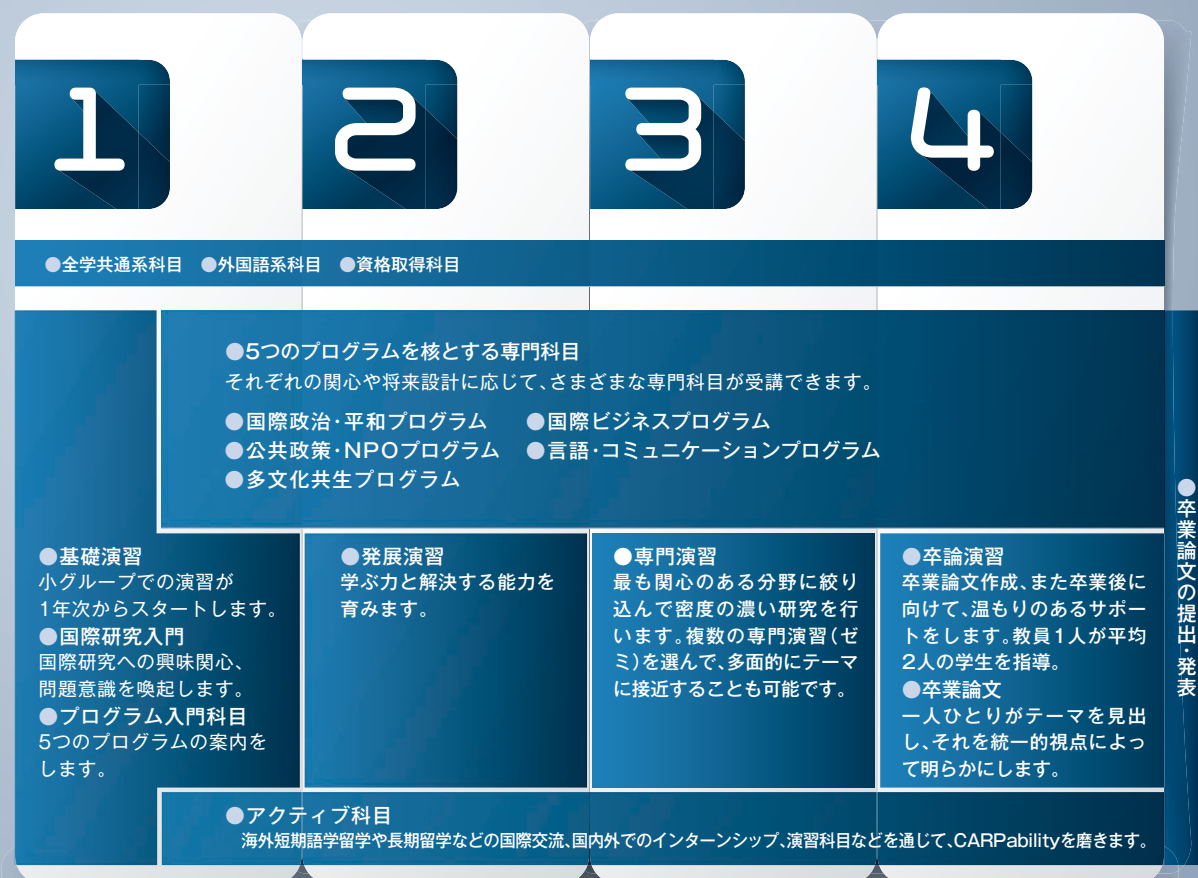
各自の関心や将来の目標に応じて複数のプログラムを履修することが可能です。各プログラムの科目は、互に関連し合っているので、複数のプログラムを組み合わせることで、理解が深まり、より高度な知識の修得が期待できます。また、各プログラムで得た知識を、特定の地域研究と結びつけることによって、専門プラスアルファの視点・考え方を身に付けることができます。

プログラム専門科目とアクティブ科目を連動させた領域認定

1プログラムにつき、学部で規定された以上の単位を修得することによって、そのプログラムで提供された専門科目を学修したことが認定されます。これを領域認定と呼びます。国際学部の学生は、各プログラムの専門科目での学びを深めるとともに、海外大学への留学や短期語学留学、国内外でのインターンシップ、卒業論文につながる演習などの「アクティブ科目」を履修して、領域認定を受けます。



●年次チャート



国際学部

国際政治・平和プログラム

地球規模の課題を理解し、その解決方法を探る

現代の国際社会には、紛争、テロ、難民、開発、環境などのさまざまな地球規模の課題があります。これらの課題を理解し、解決方法を見出すための鍵となる国際関係の理論や歴史、そして平和研究の方法や実践について一緒に学びましょう。

こんな科目が受講できます

●比較政治学

さまざまな国の政治を比較することで、国際政治、ひいては現在の世界の姿が見えてきます。例えば民主主義の概念や憲法の成り立ちは国によって共通点と差異があります。各国の政治をその歴史を踏まえながら比較し、日本の政治についても考察を深めます。

●紛争解決論

国際社会は世界各地の紛争後社会に対して支援を行っています。では、どのような政策が、どのような考え方の基に実施されているのでしょうか。「紛争解決」と「紛争管理」という概念の違いから、近年の武力紛争の特徴、国際社会による紛争解決の試み「平和構築」の課題などについて考察します。

●国際人権法

「人権」とは、それなしでは私たちが人間らしく生きることができない、日々の生活に密接に関わる考え方・行動の仕方・社会の制度です。「人間の尊厳」を取り戻そうとする街・広島で、時事的な国内外の人権問題も踏まえつつ、人権保障の仕組みと課題を一緒に考えていきましょう。

●開発政治論

戦後に独立した多くの国々が、民族対立などによる政治的混乱や低経済成長に悩んでいます。その一方で、同じく多民族国家であるにも関わらず、政治的安定と経済成長を実現している国々が東南アジアには存在します。この講義では、これらの国々の開発政策の特徴を考察します。

こんな人にお勧め

- ◎外交の歴史や他国との関係に興味のある人
- ◎戦争や核兵器をめぐる問題に関心のある人
- ◎内戦の解決や平和の構築を支援する活動に関わりたい人

ゼミ訪問

武田ゼミ



日本の政治と外交の歴史について系統立った考え方ができることを目標に、ゼミ生が関心を持ったテーマについて入門書から専門書まで幅広く書籍を読み、その上で関連する公文書を取り上げてその内容を分析しています。テーマは冷戦終結時の日本外交から日米同盟までさまざまです。

※科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。



カリキュラムの詳細は

広島市立大学 国際学部 カリキュラム



国際学部



国際学部

公共政策・NPOプログラム

望ましい社会を創造するために、経済や社会、文化のあり方を知る

望ましい社会を創造するために、人びとの生活の基礎である経済や社会、文化のあり方について学びましょう。市民、NPO(非営利組織)、企業、政府などの果たす役割や協力し合う仕組みを考えましょう。社会のために働きたい人を歓迎します。

こんな科目が受講できます

●国際開発学

国際開発とは、貧しい人たちが豊かな生活を送ることができるように助けることです。しかし、「貧しい／豊かな生活」とはいったいどんなものなのでしょう？この講義では、政治学、経済学、社会学、文化人類学のそれぞれが「貧しさ」や「豊かさ」をどのように考えるのかを学びます。

●経済政策論

ある目的のために政策を実施すると、そのことで人びとの行動が変化し、思わぬ結果を招くかもしれません。例えば自動車がより安全になればドライバーはよりスピードを出すようになり交通事故が増えるかもしれません。このような人びとの行動の変化を織り込んだ経済政策を学びます。

●非営利組織論

「非営利組織って何？」「誰がどのように運営しているの？」「本当に役に立っている？」この講義では、実はよく知られていない非営利組織の成り立ちや運営また社会的影響力などについて考え、環境、福祉、まちづくり、国際協力などの公共政策との関係についても学びます。

●国際教育論

OECDによるPISA調査に見られるように、学力競争もグローバル化しています。国際教育論では、グローバルな視点で教育や学校の動向を理解するとともに、世界各地の教育について学びます。そして比較文化論的な観点から、持続可能で平和な社会づくりに向けた教育について考えます。

こんな人にお薦め

- ◎ネットワーク社会の仕組みに関心がある人
- ◎市民、NPO、企業、政府の関係に興味がある人
- ◎さまざまな観点から公共政策の役割を考えてみたい人
- ◎人びととのつながりと社会の機能について関心がある人

ゼミ訪問

山根ゼミ

ゼミ生が興味を持つ「人の考えや行動のパターン」「社会問題」の原因・結果を経済学的視点から推論し、それを検証するための統計調査・分析のスキルを実践的に学びます。2018年は、しまなみ海道で観光客にアンケートを行い、観光地需要と同地域固有の魅力(自然や食べ物)との関係进行分析しました。



しまなみ海道を自転車移動

多文化共生プログラム

多様な考え方を持つ人びととの共生について考える

世界は新たな発見に満ちた知の現場です。国家・地域・民族・文化の垣根を乗り越え、多様な考え方を持つ人びと「共に生きる」を合言葉に、文化的対話の方法や可能性について理論と書物とフィールドから学びましょう。

こんな科目が受講できます

●共生の哲学

現代世界では背景を異にする人びとと社会を築くことが避けられなくなっている一方で、異質な人びとを排除しようという動きも見られます。こうした状況を見据えながら、他者との共生という生そのものの基本的な条件を掘り下げ、私たちが他者と共に生きる可能性を探っていきましょう。

●ジェンダーとセクシュアリティ

「男らしさ」「女らしさ」とはなんでしょうか。講義では「男・女」「異性愛・同性愛」などの区分の“あたりまえ”を問い直します。社会と文化においてジェンダーがどのように形成され、どのような差別が組み込まれるのか、またLGBTの問題についても一緒に考えていきましょう。

●アフリカ研究

皆さんのアフリカのイメージは「野生動物」「飢餓と貧困」でしょうか。こうしたイメージはアフリカを遠ざけていきます。そのイメージは私たちの固定観念から生み出されています。同じ時代と世界に生きるアフリカの人びとの生活を共に感じていきましょう。

●中国文化論

日本ではあまり知られていない文化の紹介(誤解の是正)に重きをおいています。焼き餃子は「王道」の餃子なのか、チャイナドレスは本当に中国の民族衣装なのかなどを取り上げ、最新の研究成果と共に中国理解への入り口となるような内容を毎年心がけています。

こんな人にお薦め

- ◎異文化体験に興味がある人
- ◎好奇心旺盛で、自分とは異なるものに魅かれる人
- ◎現代日本とは異なる世界観を学びたい人
- ◎人間とは何か根本から考えてみたい人

ゼミ訪問

井上ゼミ(メディア論)



テレビや新聞などマスメディアの問題点や影響、そしてSNSによる社会の変化まで、「激動するメディアの世界」を研究します。毎年、ゼミプロジェクトに取り組み、研究成果を大学祭で発表しています。また、大学を飛び出してテレビ局、新聞社、出版社で研修、そして学年をまたいだ活動を行うなど、「濃いゼミ」です。



国際学部



国際学部

国際ビジネスプログラム

経営学や経済学上の諸問題を学際的に思考する

将来就職をする人にも、起業したい人にも、
ビジネスに関する知識は欠かせないものです。
気付かなくても国際社会の中にいる今日、国際的視点でのビジネスの理解は、
皆さんの将来をより明るいものにしましょう。

こんな科目が受講できます

●公会計論

私たちが払っている税金はどのように使われるのでしょうか？ 私たちの住んでいる自治体は行政サービスにいくらお金を使っているのでしょうか？ 公会計論では国や地方自治体をはじめとする公的組織の「お金」の問題について焦点を当て、これらの謎を明らかにしていきます。

●International Business

Understanding the impact of globalization and institutions on business is crucial. This course will prepare students for responding to the increasing diversity of international politics, economics, and culture.

●国際金融論

経済の自由化、グローバル化が進み、巨額マネーが国境を越え、ネットワークを通じて取引されています。円とドル、ユーロなど通貨交換も活発です。こうした国際金融の仕組みや市場取引のリスク、またそのリスクの回避方法など、具体例を挙げながら一緒に考えていきます。

●International Commerce

This course focuses on issues related to international commerce such as the trade war between the U.S. and China, the influence of a weaker dollar on trade wars, and competition among companies that operate online platforms.

こんな人にお薦め

- ◎企業や組織の経営に興味がある人
- ◎お金の流れに興味がある人
- ◎組織や人を見る目を養いたい人
- ◎調べるのが好きな人

ゼミ訪問

李(玲)ゼミ



李(玲)ゼミでは、消費者の購買行動から企業の戦略まで、マーケティングの諸問題について研究します。発表・討論を通じてマーケティング諸理論の理解を深め、受講生の関心に応じて研究テーマを設定しグループ研究を行います。研究テーマ例：消費者の非計画購買行動、リアル店舗の価値、SNSの効果と活用、貧困層向けのマーケティング戦略など。

言語・コミュニケーションプログラム

コミュニケーションに関わる諸問題を学ぶとともに、外国語の実践能力を高める

人の社会的営みの基本中の基本は言語によるコミュニケーションです。
言語(外国語・日本語)や海外の文学・文化についての知見を深め、
それらに生じるさまざまなコミュニケーションの問題について考えてみましょう。
さらに、外国語の実践能力を高めていきましょう。

こんな科目が受講できます

●フランスの文学と文化

この授業では18世紀のフランス小説の講読と解説を行います。啓蒙思想家たちの実験的な小説から当時の大衆小説まで、小説が揺籃期にあった時代に創作されたさまざまな形式の作品を扱います。実際に作品の抜粋を読むことで、フランス文学の多様性と魅力を理解していきます。

●言語比較論

本課程の授課目的は通過日語和漢語の词汇、特别是日汉同形词的对比、让学生们获得对比语言学的基础知识、并加深对日語、汉语异同的了解。前半学期主要从语音、构词、语法等方面概观日語和漢語的语言特点、后半学期以动词、形容词、副词等为例、具体分析日語和漢語的异同。

●Special Lecture in British and American Literature

This class examines literary concepts, devices, and structures that shape English poetry and surveys the evolution of American literature, from the late 16th century to the present.

●通訳技法論

この授業では、日本語から英語、英語から日本語に「通訳する(訳す)」という行為を通じ、日本語と英語の間にはどのような表現の違いや発想の違いがあるのかを考えます。また、クイックレスポンスやシャドーイングなどの通訳訓練法を活用しながら、英語力の向上も目指します。

こんな人にお薦め

- ◎外国語の学習や使用に関心のある人
- ◎海外の文学作品や文化に関心のある人
- ◎外国語や日本語によるコミュニケーションに関心のある人
- ◎英語教員や日本語教員などをを目指す人

ゼミ訪問

カーソンゼミ



In this seminar, we discuss and research how culture affects human thinking, behavior, and communication. The seminar is in English - a chance to use and improve English language skills.

国際理解・少人数教育の重視

国際理解

海外学術交流協定大学との国際交流に加え、国際学部ではより多様な取り組みを通じて、国際理解を深めています。例えば、世界中から募った学生と一緒に平和について学び交流を行う「HIROSHIMA and PEACE」（詳細は下記）、短期語学留学、ドミニカ共和国にある広島東洋カープの海外選手育成機関での企業インターンシップ（p.52に詳細）、研究室での海外へのスタディーツアーなど、さまざまな機会を提供しています。また、国際学部では、1年次前期の必修科目である「国際研究入

門」をはじめとして、カリキュラムの履修を通じて、多くの国々や地域の言語、文化、政治、経済、ビジネスを学ぶことにより、国際理解を深められるよう工夫しています。さらに、国際学部の全教員に占める外国人教員、海外の大学院で学位を取得した日本人教員の割合がとて高く、国際学会、国際調査、国際プロジェクト等への参加経験が豊富な教授陣による指導と、そのネットワークを活用した海外研究者による学内での講演などを通じ、国際的な取り組みに触れることができます。

少人数教育の重視

1学年100名の定員に対し、40名以上の教員を擁する国際学部では、少人数教育を重視しています。大学では、高校までとは違い、「明白な正解」が必ずしもない中で、学修と研究を進めていく必要があります。それを可能とするための基本的なトレーニングを行うのが、必修科目として開設されている「基礎演習」と「発展演習Ⅰ・Ⅱ」です。1クラス10名程度で、1年次、2年次の2年間にわたり、読解力、分析力、記述力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、調査能力を

高めるための演習指導を受けることができます。3年次では「専門演習Ⅰ・Ⅱ」（いわゆる「ゼミ」）、4年次では「卒論演習Ⅰ・Ⅱ」が必修となっており、研究室に所属して教員から指導を受け、各自の専門領域に関する学修と研究を行います。40名以上の教員の中から、自身の関心に応じて専門演習、卒論演習を履修することができ、両演習とも教員1名と数名の学生で構成されることがほとんどです。さらに、複数の専門演習を選択でき、興味や関心に応じて、少人数で深く学ぶことが可能です。

Intensive Summer Course HIROSHIMA and PEACE

多様な国の学生と英語で「ヒロシマ」「平和」を学び、語り合う



幅広い専門分野からの体系的学び

世界中から学生が集い、「ヒロシマ」と「平和」を学び語り合う講座が国際学部にあります。それが2003年に始まった夏期集中講座「HIROSHIMA and PEACE」（以下H&P）です。非核と平和について基礎から最新の研究成果まで、国際政治学、歴史学、文学、環境学、メディア研究、社会学といった幅広い

専門分野から学びます。また、被爆証言を聞き、8月6日の平和記念式典に参列し、被爆地広島ならではの体験を海外からの参加者と共有し、学びを深めていきます。この講座はすべて英語で行われます。



留学でも得がたい「H&Pの国際体験」

2003年から2019年までの受講生の国籍（日本を除く）は計54カ国・地域で、毎年10カ国以上の学生が参加しています。また、ウェルカム・パーティーに始まり、バーベキューや花火といった学生主催のイベントも企画され、参加者の交流は深まります。プログラム終了後も交流は続き、過去の実生はロンドンで開かれた反核集会で「同窓会」を開きました。広島での学び、語り合い、平和の意識を共有することは、海外研修や留学でも得ることができない貴重な国際体験となることでしょう。



H&P本番に向けた英語討論能力の強化 Preliminary English Training (PET) Program

H&Pの国際学部受講生は、H&P本番前に約3カ月間の事前英語研修（PET）プログラムを受講します。このプログラムは、広島や原爆、平和問題について基本的語彙を学び、英語の討論能力、表現力、そして発信力を高めます。また、期間中に終日英語漬けの研修（English Only Day）を実施し、H&Pへの参加意欲と参加者の連帯意識を高め、本番に向けての確実なスキルアップにつなげます。

CALL 英語集中

実践的な英語力を鍛える

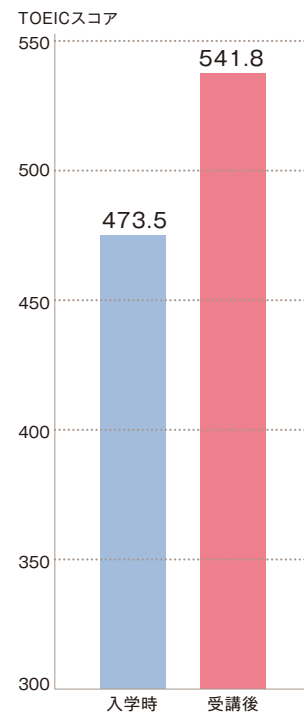
語学センターや自宅のコンピュータを用い、英語のリスニング、リーディング、文法、語彙を集中的に訓練する e ラーニングによる授業です。週1回の一斉授業の形態を取らず、指定された期間中、各自の都合のよい時間に自分のペースで学習を行います。教材は4つのレベルに分かれており、各自の英語力に適した教材が配信されます。

学習期間の開始前と終了後に TOEIC® Listening & Reading IP テストを受験し、英語力および学習効果を客観的に測定します。グローバル化する社会で活躍するために必要不可欠な英語基礎力を確実に高めています。

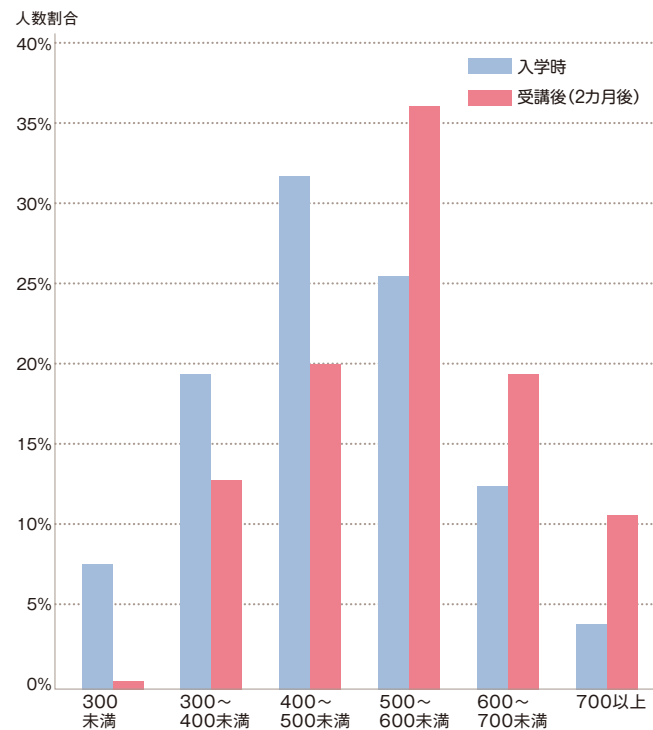
下のグラフは、2018年に「CALL英語集中」を受講した国際学部1年生の TOEIC IP スコア平均の推移とスコア帯別人数割合

合の分布を示したものです。入学時に比べ、受講後のスコアは68.3点アップし、541.8点になっています。スコア帯別人数割合の分布についても、受講後は分布がスコアの高い方に移動しており、英語力が底上げされていることが分かります。TOEIC を運営する国際ビジネスコミュニケーション協会発行の『TOEIC® Program DATA & ANALYSIS 2018』によると、全国の大学1年生の TOEIC IP スコア平均は433点ですが、本学国際学部1年生のスコアは入学時点ですでに大学1年生の全国平均を上回っています。また、大学4年生の全国平均は514点ですが、国際学部1年生は前期終了の時点でそれを上回る学習成果を上げています。

TOEICスコア平均の推移



スコア帯別人数割合の分布



英語の受容技能を訓練する「CALL英語集中」と発表技能を鍛える「英語応用演習」

e ラーニングを利用した「CALL英語集中」により、リーディングとリスニングを中心とした英語の受容技能を訓練するとともに、1クラス10名前後という、大学共通教育としては異例の少人数授業「英語応用演習」で、発表技能であるスピーキングと

ライティングの指導を受けます。「英語応用演習」は能力別クラス編成がなされ、各レベルに適したテキストを使用して指導が行われます。

ユニークな研究紹介

紛争後・移行期社会の平和構築研究「平和のカタチとは？」

紛争解決論

准教授 古澤 嘉朗

日本・広島市は戦後75年という一つの節目を2020年に迎えました。「記憶の継承」という課題への取り組みは継続していますが、国際社会の支援と多くの人々のたゆまぬ努力により戦後復興は実現しました。現在も国際社会は復興しようとする社会に支援の手を差しのべています。私はシエラレオネやケニア等で実地調査を行いながら、「平和構築」という戦後復興に関する政策の研究を行っています。

近年、平和構築領域では、どのような「平和」の形が紛争後社会に築かれるべきなのかという論争が盛んに行われてきました。多くのアジア・アフリカの国々は西欧社会とは文化的に異なり、また植民地だったという複雑な歴史を抱えています。そのような社会の復興において、こうあるべきだという国際社会側の価値観が意識・無意識的に支援内容に反映され、社会的文脈を度外視した画一的な支援が行われてきたのではないかとという問題提起です。それは「誰のための平和なのか」という問いかけともいえます。

私は、警察改革(支援)という切り口に着目しながら、社会的文脈にも配慮した平和構築に関する研究を進めています。その際に、政策立案者だけでなく、現地の方々の声に耳を傾けることがとても大切だと考えています。(写真は移動中のタンザニア洋上にて、筆者撮影)



パフォーミングアートに見る「祖国パレスチナ」の美

中東地域研究

准教授 田浪 亜央江

近年、世界各地で排外主義や偏狭なナショナリズムが高まりを見せていると言われています。植民地主義のもとで無理やり国家を作られた経験をもつ中東地域の人々のナショナリズムも、そうした方向に向かうのでしょうか。

この数年の現地調査では、パレスチナの文化活動、とくにダンスなどのパフォーミングアートに焦点をあて、そのなかでパレスチナの自然や景観がどのように把握され、表現されているのかということを調べています。そして何でも

ない光景が、「かけがえのない祖国」の美として認識されたことの意味を考えています。

1948年のイスラエル建国によって追放されたパレスチナの住民は、失われた伝統文化の再構築を通じて「パレスチナ人」アイデンティティを形成したと言われていますが、パレスチナ人意識は20世紀初頭にはすでに形成されていました。当時のテキストを読むと、宗教を問わず、パレスチナの土地と結びついた生活をしている人々すべてが「パレスチナ人」であった時代の、オープンな交流のあり方が見えてきます。パレスチナの伝統的舞踊「ダブケ」は実は伝統の再現ではなく、現代の視点からそうした時代の記憶を身体的に表現したものだと思えます。

(写真は「ダブケ」のヨルダン公演、筆者撮影)



ハワイ大学 短期語学留学

学術交流協定大学であるハワイ大学マノア校での研修は、ホームステイでハワイの生活にとけこみ、英語とハワイの歴史・文化を学びます。午前中は英語集中授業を受けます。ハワイ大学の学生が会話の練習相手もします。午後は歴史・文化に焦点を当てフィールドスタディーで真珠湾アリゾナ記念館や博物館を訪問し、ハワイの歴史と文化に触れます。

モスクワ大学 短期語学留学

ロシア最高峰の大学であるモスクワ国立大学ロシア語・ロシア文化研究所において、ロシア語の集中講義を受講します。課外授業として、美術館や博物館、ロシアの日本企業を訪問し、“近くて遠い国・ロシア”への理解を深めるとともに、世界各国からの留学生との交流を通して国際的な視野を養います。



西南大学 短期語学留学

学術交流協定大学である西南大学の国際学院で、中国語の授業を受講します。中国南部の長江上流に位置する重慶市は広島市の姉妹・友好都市で、自然豊かな美しい街です。参加者はレベルに合ったクラスで、中国語だけでなく中国の歴史や文化も学びます。世界各国からの留学生や現地の学生との交流を通して、国際感覚を磨きます。



オルレアン大学 短期語学留学

学術交流協定大学であるフランス・オルレアン大学で、フランス語・フランス文化の集中講義を4週間にわたって受講します。ホームステイをしながら一般のフランス人の日常に接し、異文化を体験します。オルレアン市内見学、ロワール古城やモンサンミッシェルへのフィールド・トリップもあり、フランスの歴史、文化、言語を総合的に学べるプログラムです。



学部派遣 海外インターンシップ (ドミニカ共和国／ルワンダ共和国)

国際学部生は、ドミニカ共和国にある「カーブアカデミー」での企業インターンシップ(写真)や、ルワンダ共和国にあるNPO法人「ルワンダの教育を考える会」へのNGOインターンシップに参加し、単位を取得することもできます。いずれも、それぞれの組織の業務を補佐しながら、現地の人々と直接触れあい、自分の「知りたいこと」「やってみたいこと」を積極的に探求できる貴重な機会です。



Voices (在学生)



国際学部 国際学科 4年
山本 綾香
島根県立松江南高等学校出身

周りのおかげでかなった留学の夢。伝えたい思いが高まり、自分の意見に自信が持てるように

大学生生活で一番心に残っているのは7カ月間のケニア留学です。在学中の長期留学はあらかじめいたため、文科省の「トビタテ！留学JAPAN」の支援を受けられた時の驚きは今でも覚えています。留学のきっかけを与えてくれたゼミの目黒先生のサポートと指導にも、とても感謝しています。留学中は楽しいことよりも苦しいことの方が多かったように思いますが、学生の間にそういった経験ができたのは大きな財産です。帰国後は以前に比べて自分の意見を口に出すことに抵抗を感じなくなりました。以前は

聞いた人がどう思うか、自分の意見は間違っているのではないかなどと考えこんでしまい躊躇する場面が多かったのですが、今はいい意味で周りの目が気にならなくなり、自分の思いをみんなに知ってもらいたいという感情が増しました。市大は5つのプログラムが用意されているので、まだ学びたいことが決まっていなくても、学ぶうちにやりたいことがきっと見つかるはずです。自分の興味に基づいて行動できるのも大学生のうち。悔いのないよう全力を注いでください。先生方もきっとサポートしてくれます。



国際学部 国際学科 4年
牧野 衣里
広島市立安佐北高等学校出身



落語研究会で高座名は「満腹亭エリゼ」

大好きな広島、忘れてはならないヒロシマを、自分らしく伝えられる放送人を目指して

私は中高6年間放送部に所属しアナウンス部門全国3位などの経験を通して、自分の言葉で伝える楽しさを知りました。そこで大学では声を使って新たな挑戦をしたく、落語研究会に入部。声に芝居を乗せるのに苦戦しましたが、動画を繰り返し見てプロの高座をお手伝いするうちに上達し、商店街や高齢者施設などに呼ばれることも増えました。落語の魅力は手ぬぐいと扇子一本でいろいろなものや人物になれるところ。これから多岐を通してさまざまな世界をお客さんにお見せしたいです。ほかにハワイ大学留学で

取り組んだ折り鶴プロジェクトも貴重な経験でした。原爆による白血病で亡くなった佐々木禎子さんについて英語で説明しながら、アリゾナ記念館の来場者と一緒に鶴を折るという企画です。国際学部に入り「やっぱり広島が好き！」と再認識し、私ならではの魅力発信ができる放送人になりたい、ヒロシマの記憶を引き継ぐ役割を担いたいと、報道の仕事を目指しています。自分だから役に立てることを考え、できるかできないかではなく、できることを行動に移し、充実した大学生活を過ごしてください。



国際学部 国際学科 3年
實延 大二郎
天理高等学校出身



高校時代の部活動

心身を鍛え健康で充実した毎日。部活で鍛えた「全力でやりきる」強さを受験でも発揮して

大学で学んでいると、得た知識が日常生活に反映される時があります。たとえばテレビで流れている国際情勢のニュースについて完璧に理解していたら、家族に説明できます。逆に、学んだことを人生で生かせなければ、もったいないと思います。授業以外では、先輩が立ち上げたフィットネスサークルで活動しています。大学に入って運動する機会が激減していたのですが、心身健康に過ごしています。私は現在友だちとシェアハウスで生活しているのですが、ルームメイトは家事が得意で、いつも家の中はピカピ

力。当たり前のことを何も言わずにやってのける彼らを、私も見習いたいです。私は高校生活を部活に捧げた受験生の一人でした。大学受験において部活を引退してからの受験はハンデだと思われがちですが、そんな人には「部活を最後までやりきった」というアドバンテージがあります。これは推薦入試で大きく評価されますし、部活で養った精神力や胆力は、受験を乗り越える大きな糧になるでしょう。今は目の前の勉強や部活に、全力で取り組んでください。その結果、自分にとって最良の道が開けるはずです。



2年の夏休みベトナムで



国際学部 国際学科 3年
寒川 清志郎
広島県立高陽高等学校出身

トライアスロン部で現在キャプテン

ベトナム一人旅で得た行動力。部活で得た生涯の仲間。全ては主体的に動くことから始まる

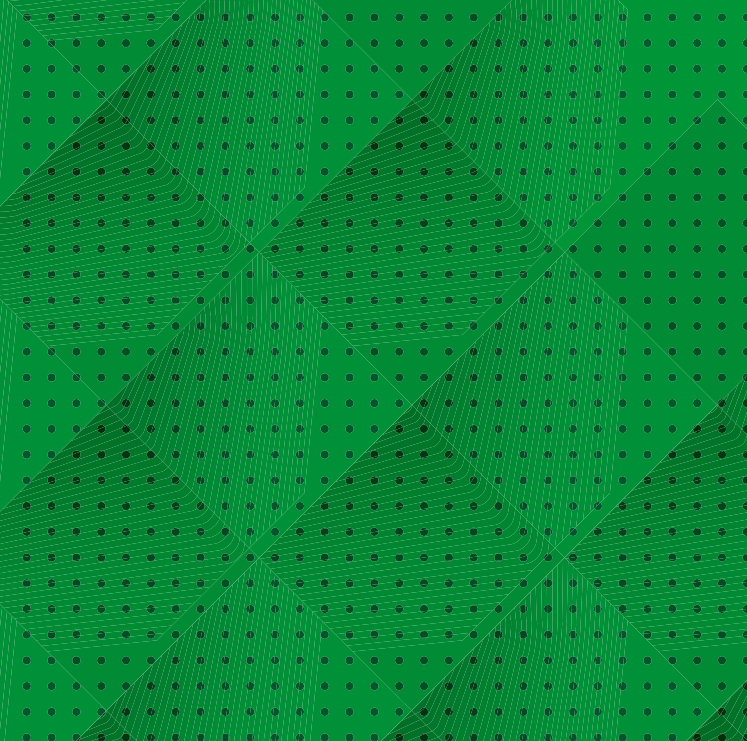
2年次の夏休みに一人でベトナムを縦断しました。移動は全てバス。中継地点でさまざまな人と出会い、中部の都市フエでは日本語を勉強している学生と友達になって家へ招待され、ベトナム料理を堪能しました。ベトナム縦断後は陸路でカンボジアへ移動し観光を楽しんで帰国。この体験で私は行動力を身に付けました。与えられる課題を解決していけば卒業はできるかもしれません。しかし大学では主体的に行動しないと何も生まれないと私は思います。市大では自分がやりたいことは早い段階で実行することをお

勧めします。後回しにするときっと後悔するからです。失敗も貴重な体験になるはず。リスクを恐れずに全力で取り組んでください。また大学ではクラブやサークルに入った方がよいと思います。私はトライアスロン部で現在キャプテンを務めています。決して楽なスポーツではありませんが、その分ゴール後の達成感は計り知れず、部活を通じて努力と仲間の大切さを知りました。受験で辛い時は自分を支えてくれる人に感謝の気持ちを忘れず、未来の友人と一緒に頑張っていると思って乗り越えてください！



情報科学部

Information Sciences



情報科学部

Information Sciences



最先端情報技術を創るプロになろう

情報科学部長 前田 香織

情報の伝達と処理の技術革新によって進んだ社会の情報化。その象徴的なものとしてAI(人工知能)があります。広島市立大学情報科学部はAIが世に広まるずっと前から高速コンピュータ、インターネット、情報検索、画像処理、セキュリティなど情報化社会を支える技術を研究してきました。情報科学部の4つの学科、情報工学科、知能工学科、システム工学科、医用情報科学科の技術の結集が情報化社会を創っています。情報科学部では各学科の専門の学識・技術を身につけるとともに、関連する情報工学・情報科学の技術を知ることができる学びの環境を用意しています。

社会は情報技術の進歩の後押しにより、国や地域の垣根を超えたグローバル化が進み、ますます複雑化していきます。次の時代に求められるのは情報化社会を支える技術を身につけている人です。情報科学部は最先端技術を創ることを目指す意欲ある人を育てていきます。

高度情報化社会を支える「情報通信技術」の分野をリードする能力を養う

「情報科学の分野で

自分の適性を見つけ

十分な学力や技術力を身に付けて

科学技術の進歩に貢献することを

目指す気概がある人」の入学を

期待しています。

求める人物像

◎関心・意欲

情報工学・情報科学に関心があり、自ら積極的に情報工学・情報科学を学修する意欲を持つとともに、学んだことを活用して国際社会や地域社会の発展に貢献したいという大志を抱いている人。

◎知識・技能

情報工学・情報科学を学ぶうえで土台となる高等学校等で修得すべき数学、理科および語学の知識・技能を有している人。

◎思考力・判断力・表現力

- ・物事を多面的にとらえ、総合的かつ論理的に思考して合理的に判断することができる人。
- ・自らの考えを分かりやすく説明するよう努力できる人。

◎主体性・協働性

- ・国際社会や地域社会で起こっている情報工学・情報科学に関連する課題を意識し、その課題の本質を理解し、自ら率先して解決しようとする熱意を持っている人。
- ・共通の目的を達成するために、他人の価値観を尊重し、他人と協調して活動する主体的なコミュニケーション力を身に付けている人。

教育方針

◎学生が興味関心、適性に基づいて専門分野を選択できる仕組みの提供

入学後、情報科学の基礎知識を修得した後に、学生一人ひとりの興味関心、適性に基づいて専門分野を適切に選択できる仕組みを提供します。

◎情報科学に必要な基礎学力の育成

情報科学を専門的に学ぶ上で基礎となる数学、プログラミング、英語などの学力を十分身に付けます。

◎情報通信技術を活用できる技能の養成

先端的な情報通信技術(ICT)を知的生産の道具として活用できる能力を身に付けます。

◎専門分野に関する体系的な知識の修得

教育内容を厳選、体系化した上で、効果的な専門教育を行います。これにより、専門分野に関する体系的な知識を修得します。

◎体験的・総合的学習を重視した教育プログラムの実施

21世紀の知識基盤社会で問題解決ができる人材を育成するため、実験、実習、演習、口頭発表など体験的・総合的学習を重視した教育プログラムを実施します。

◎知識や学力の多様化した学生への効果的な教育の実施

知識や学力の多様化した学生への効果的な教育を実施します。少人数教育を推進するとともに、習熟度別クラス編成、グループ学習などを導入します。

◎イノベーション人材育成プログラムの実施

本プログラムは、数学およびプログラミングの重点的な教育を通じて、高度情報化社会においてイノベーションを生み出すための高度教育プログラムを実施します。

情報科学部
Information Sciences

コンピュータコース

情報工学科

ネットワークコース

コミュニケーション
基盤コース

知能ソフトウェアコース

知能メディアコース

知能工学科

人間・ロボット
共生コース

システム工学科

知能サイエンスコース

医用情報科学科

インタフェース
デザインコース

情報科学部

情報工学科

コンピュータコース
p.062

ネットワークコース
p.063

コミュニケーション基盤コース
p.064

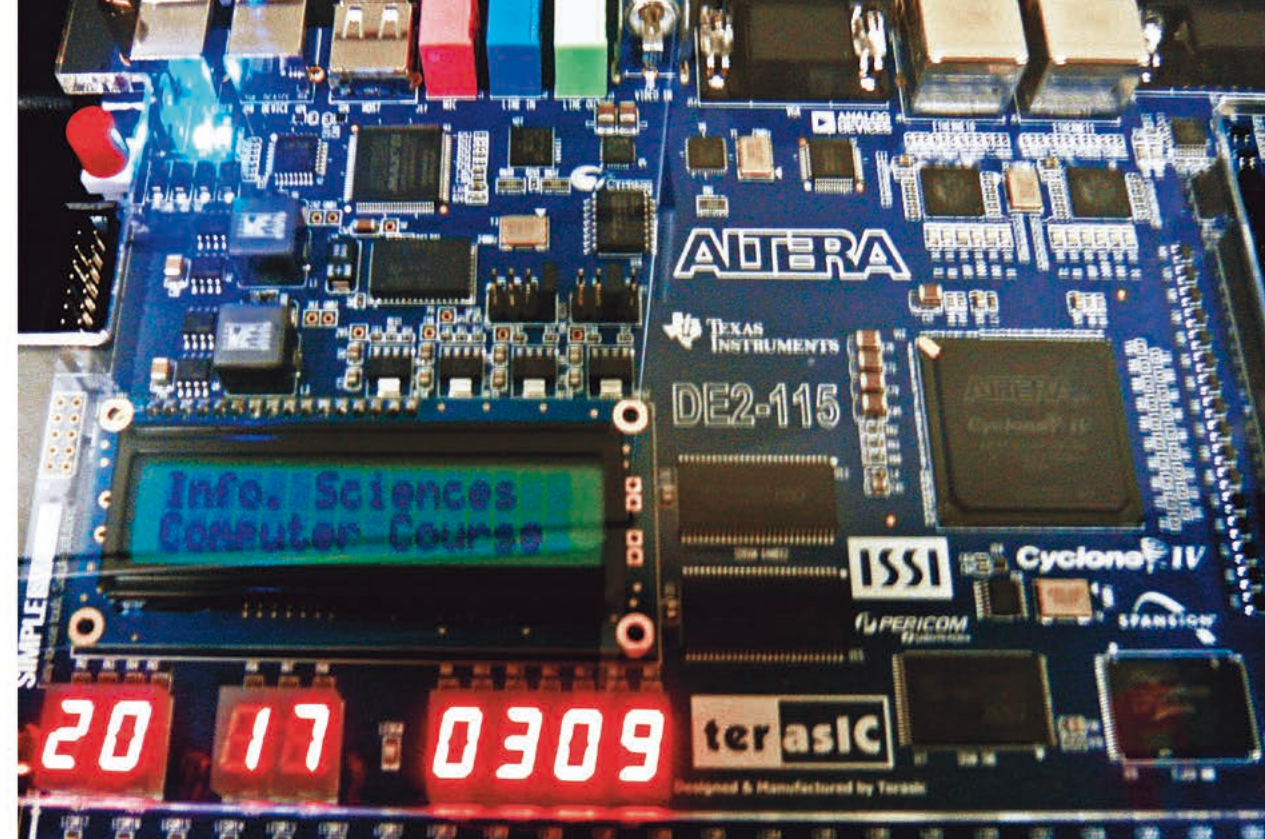
さまざまな情報通信システムの基本となるハードウェア(回路など)とソフトウェア(プログラムなど)の仕組みや作り方を勉強します。

情報工学科では、コンピュータとネットワークに関するハードウェア技術およびソフトウェア技術を広範囲に勉強します。これらの技術をベースに、コンピュータとネットワークの融合技術や新しいコミュニケーション技術を開発したり、効率的に使用したりできる人になります。

●年次チャート



※情報科学部の募集は学部一括で行い、学科への配属は2年次開始時に行います。
※科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。



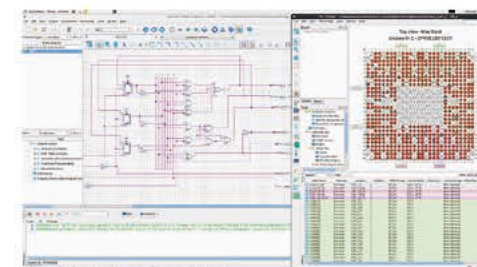
情報科学部 情報工学科

コンピュータコース

「ナカミ」を学ぶ

ハードウェアとソフトウェアの基礎を学び、めまぐるしく変化する情報化社会の中で即戦力として活躍するための勉強をします。

コンピュータはハードウェアと呼ばれるものとソフトウェアと呼ばれるものから作られています。ハードウェアとはコンピュータを構成する回路などを指します。このハードウェアが高速に動作することで人が計算すると何年もかかってしまう計算を一瞬で計算することができます。一方、ソフトウェアはハードウェアに対して指示を与える指令書です。このソフトウェアが賢くなることで、高い計算能力を持つハードウェアを効率的に使うことができます。これらのハードウェアとソフトウェアの両方がそろって、現在のような高度な情報化社会が実現できています。コンピュータコースではコンピュータを構成するハードウェアとソフトウェアについて深く勉強します。

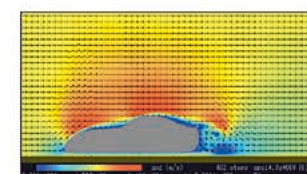


パスワード照合回路をツールを用いて設計している様子

研究紹介

エンジン動作を速く 正確にシミュレート

自動車やそのエンジンの開発では、今日では主にコンピュータ・シミュレーションが行われます。昔は実際に自動車を試作しテストすることで、改良を繰り返していたのですが、その場合よりずっと費用を抑えて短期間でできるからです。しかしながら、そのためのシミュレーションは、たとえコンピュータであっても、上手にやらないと時間がかかったり多くの誤差が生じたりします。例えば、1秒間のエンジンの動作を一般的なパソコンでシミュレーションすると、2000秒以上かかることがあります。私たちの研究では、その1秒間の様子を10秒以下でシミュレーションするためのハードウェアとソフトウェアの研究をしています。



自動車の周りの空気の流れをシミュレーションしている様子



情報科学部 情報工学科



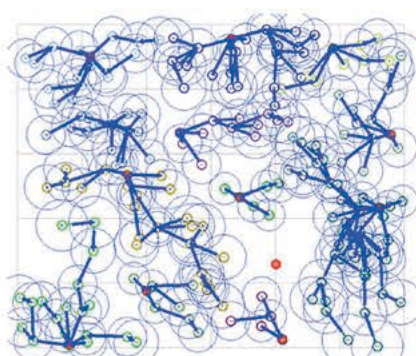
情報科学部 情報工学科

ネットワークコース

「つなぐ」を学ぶ

コンピュータ同士をつなぐ技術について学び、ユビキタスネットワークなど、最新のネットワークに対応するための勉強をします。

現在のコンピュータは単独で使われることはほとんどなく、ネットワークを通じてお互いつながっています。例えば、自動車の中には数百個以上のコンピュータが搭載されていますが、それらはネットワークを通じて接続されていて、お互い必要な情報を交換することで自動車の運転を快適にしています。このコンピュータをつなぐ技術は元々は線と線を直接つなぐ有線方式が主流でしたが、現在では電波を使っ



スマートフォンや車など移動するコンピュータ間のネットワーク接続が変化する様子を可視化

研究紹介

ネットワークにつながる自動車の安全を確保

自動車に関する研究としては自動運転が有名ですが、自動運転は、エンジンや前方の様子などの情報を取得するセンサーが車内のネットワークを通じて集められることで実現されています。このように、いろいろなモノがネットワークにつながることで便利になる反面、遠隔からネットワークを経由して自動運転の車が乗っ取られるようなリスクも増えてきます。そこでネットワーク通信の暗号化や信頼できる情報のみ取得する認証の仕組みを確立することで、安全・安心な社会の実現に向けて研究や実験を行っています。



車内ネットワークと外部との通信車内ネットワークの実験環境

コミュニケーション基盤コース

「伝える」を学ぶ

価値の高い情報を効率的に伝える技術について学び、さまざまなモノがつながる情報化社会に対応するための勉強をします。

インターネットの登場によって「コミュニケーションの高度化」が始まりました。例えば、それまでは人と人が文章でやり取りするには手紙を送る必要がありましたが、インターネットによってメールという形で一瞬で文章を送れるようになりました。現在でも、このコミュニケーションの高度化は進んでおり、現在のインターネットにはコンピュータだけでなく、センサーや冷蔵庫など、ありとあらゆるモノがインターネットでつながれた社会になっています。このような社会では「何を」伝えるのが大事になります。コミュニケーション基盤コースでは、ネットワークを通じて伝える技術について深く勉強します。



ネットワークを介して、遠隔会議をしている様子

研究紹介

移動中でも動画をスムーズに再生

人のつながりのみならず、身の回りのすべてのものがつながるのが前提のインターネット。インターネットでは情報を小さな単位(パケット)に分割して送りますが、家、移動中、学校や職場など使うネットワークが変わるとそのたびにパケットが少しずつ消失し、通信が切れてしまいます。つまり、移動中に動画を再生していると、動画の再生が止まったりしてしまいます。そこで、使うネットワークが変化しても一瞬たりともつながりが切れず、快適・安全に通信する方法を研究しています。



どこでもつながるネットワーク

情報科学部

知能工学科

知能ソフトウェアコース
p.066

知能メディアコース
p.067

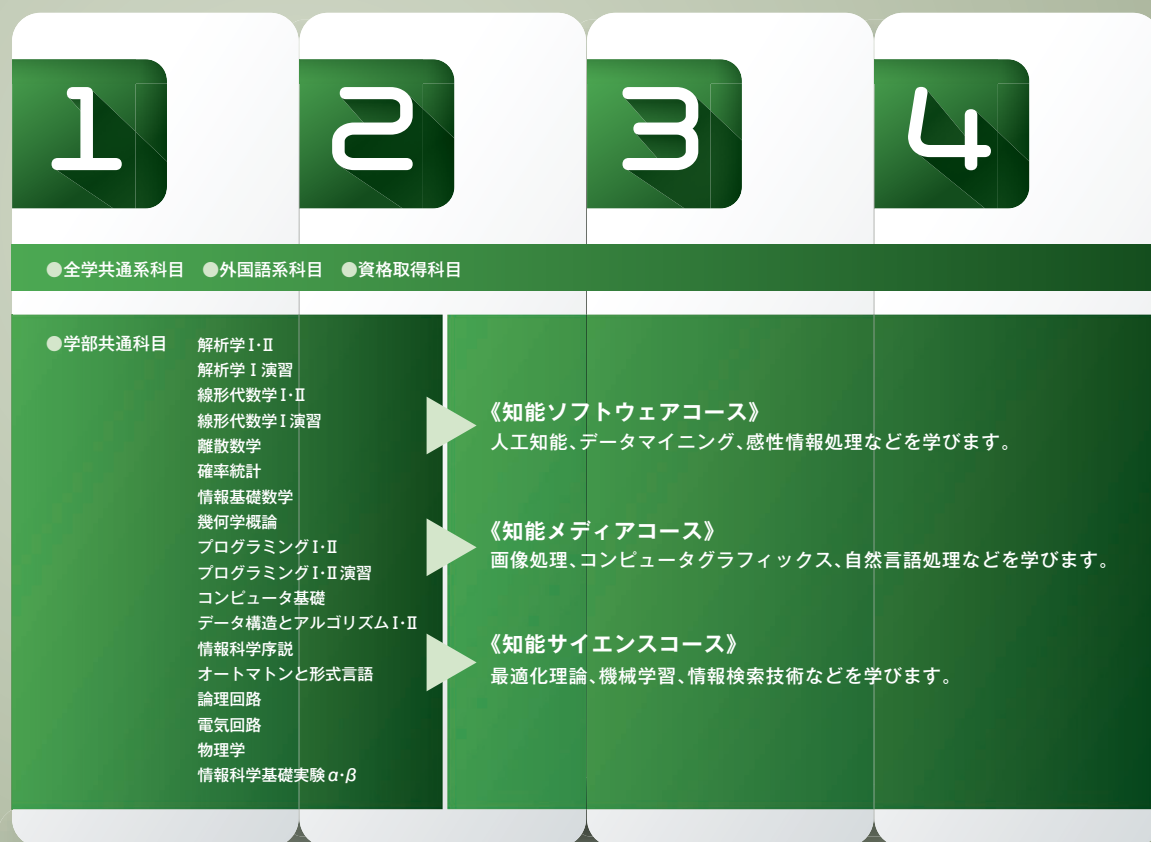
知能サイエンスコース
p.068



人と人、人と機械のコミュニケーションを円滑にしたり、創造的活動の手助けをしたりするための、人工知能などの知的なシステムの仕組みについて学びます。

知能工学科では、人が目で見えたものや話し言葉を理解するのと同じようにコンピュータに五感を備えるための音声・画像認識技術や、囲碁や将棋の棋士のように高度な思考ができる人工知能技術、膨大なデータから法則性を見つけ出すビッグデータ解析技術などの基礎を学ぶことができます。

●年次チャート



※情報科学部の募集は学部一括で行い、学科への配属は2年次開始時に行います。
※科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

情報科学部 知能工学科

知能ソフトウェアコース

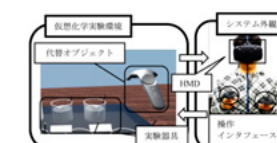
知能をつくる

知能ソフトウェアコースでは、コンピュータを鍛えて
どんどん賢くするための機械学習や、私たちの勉強やトレーニングを
楽しく効果的なものにするための学習工学などについて学ぶことができます。

人間の知的能力をコンピュータで実現するため、人間の脳に対応する知識・思考・学習などに着目した知能情報システム技術の教育研究を行っています。例えば、インターネットで買い物をすると他のお薦め商品を紹介してくれるようなシステムでは、上手に推薦するために、過去の膨大な販売履歴から法則性を見つけ出すビッグデータ解析技術が用いられています。このように社会の中の非常に多くのデータから重要な知識や規則を抽出する、問題解決のためのさまざまな解決方法の中から効率的に適切な解を見つけ出す、コンピュータ自身が自分で問題解決のための知識を獲得する、人間の持っている感覚や経験をコンピュータで実現して社会に役立つ有用な規則を発見することなどを対象としています。そのため、これらの知識情報処理に必要な人工知能、データマイニング、機械学習、知的情報検索エンジン、エージェント、発見的探索などを学びます。

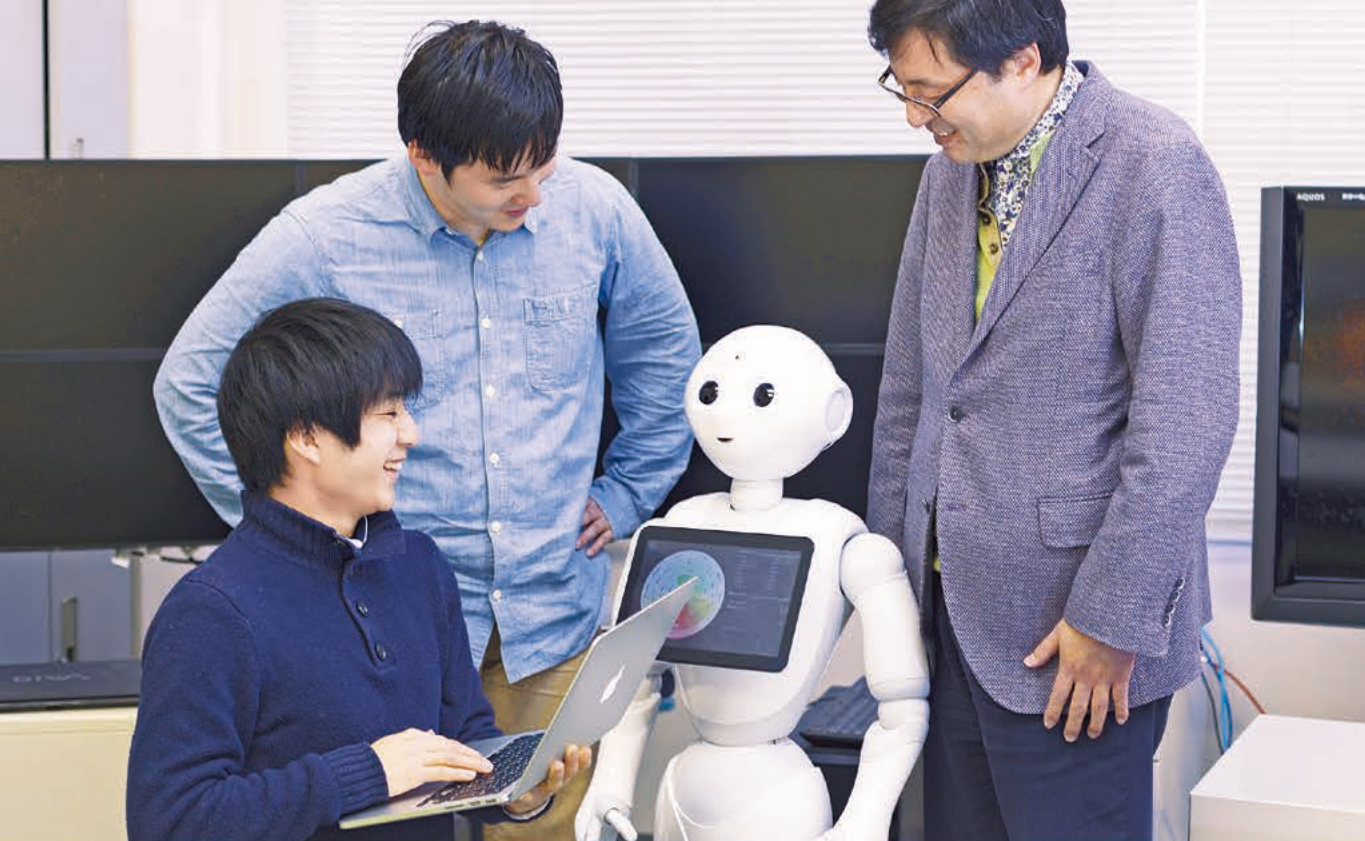
研究紹介

VR／AR技術を用いた
先進的な学習支援システム



VRやARの技術を活用して仮想空間の中で能動的に学習活動が行えるシステム開発を研究しています。学習者がいつでもどこでも楽しく安全に化学の実験をしたり、その他の科目のスキル学習を自発的、能動的に行えたりできることを目指しています。





情報科学部 知能工学科

知能メディアコース

コンピュータに「五感」を

知能メディアコースでは、画像や話し言葉・書き言葉の認識・理解技術のほか、リアルで魅力的な映像を自由に作り出すコンピュータグラフィックス技術について学ぶことができます。

前の車にぶつかりそうになったら自動的にブレーキをかけてくれる自動車が增多、いよいよ自動運転車の実現も近づいています。これには私たちの代わりに歩行者や周りの車をしっかり見てくれる「機械の目」が必要です。

人間の知的能力の中でも人間の目や耳などに対応する人間の感覚や知覚、人間とコンピュータ間のコミュニケーションなどに着目した知能情報システム技術の教育研究を行っています。具体的には、画像、映像、幾何データ、音声、文書などのメディア情報処理を中心とします。例えば、画像や映像から物体を抽出・計測する、実際の映像と違和感のない人工的な映像を作り出す、人間とコンピュータが自然な言語で会話することなどを対象としています。そのため、これらのメディア情報処理技術に必要な画像情報処理、コンピュータグラフィックス、自然言語処理などを学びます。

研究紹介

CGで世界を豊かにする技術、AR(拡張現実感)

原爆ドームにスマートフォンのカメラを向けると、画面の中に被爆前の建物がCG(コンピュータグラフィックス)により浮かび上がるアプリを開発しています。このように、CGを用いて現実世界を豊かにする技術をAR(拡張現実感)といいます。昔の建物が本当にその場によみがえったように見せるには、高精細な映像を作り出すCG技術が必要になります。さらに、カメラの向きが変化しても現在の原爆ドームとCGがずれないようにするために、カメラに写った画像を高速に処理し、画像の中のドームの位置を求める画像認識技術が用いられます。



情報科学部 知能工学科

知能サイエンスコース

コンピュータの賢さを支える

知能サイエンスコースでは、ぴったり同じでなくとも似たものを見つけ出すパターン認識技術、動物の群れから発想された計算法、さらにその基礎となる統計学や微分方程式などの数学を学ぶことができます。

コンピュータは正確に計算するのは得意ですが、あいまいな判断や動物のように動的に変化する行動は不得意だと思いませんか？このような人間の知的能力を理解し実現するために必要となる数理モデル、解析モデル、アルゴリズムなどに着目した知能情報処理に関する基礎技術の教育研究を行っています。例えば、アリは個々は単純でも集団になると高度な仕事ができます。このような動物の群れから発想された計算法や生物進化のモデルを理解し知能情報システムの機能や性能を最適化するために応用すること、データを解析し有用な知識を抽出するためのアルゴリズムを考案すること、解読しにくい暗号化や効率の高い符号化のための数学的な基礎を学び安全で効率的な通信に応用すること、渡り鳥の影響と病原体の進化を考慮した感染症のシミュレーションモデルを構築して感染予防のために利用することなどを対象としています。そのため、これらの知能情報処理に必要な数理モデル化、最適化アルゴリズム、統計的情報処理、確率的情報処理、シミュレーションなどを学びます。

研究紹介

自分の好みが発見できる「対話型進化計算」

人には好みがあり、好きな絵、音楽、配色などは人それぞれです。コンピュータと対話しながら自分の好みに合うものを探すのが「対話型進化計算」です。例えば、スーツ・シャツ・ズボンの好みのカラーコーディネートを決定できます。まずコンピュータが複数の候補を表示します。人はそれらを評価し好みをコンピュータに伝えます。コンピュータは生物進化のメカニズムにより評価が良いものを組み合わせて新しいコーディネートを生成し表示します。人とコンピュータが協力し、評価と進化を繰り返すことにより好みのものを発見できます。



情報科学部

システム工学科

人間・ロボット共生コース
p.070

インタフェースデザインコース
p.071

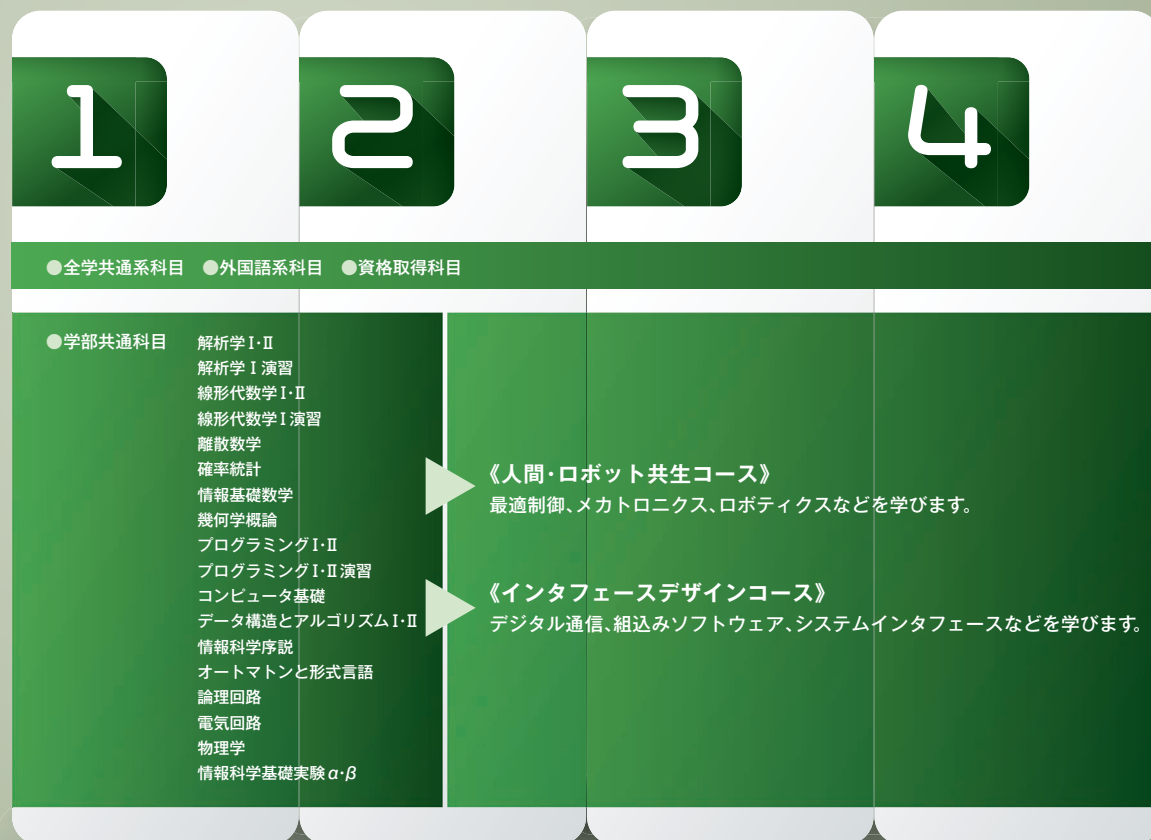
人間・コンピュータ・情報システムの調和を図りユビキタス社会を実現

システム工学科では、人間が安全・安心・快適・便利に生活するための社会システムの実現を目指し、今後ますます重要となるロボットを開発するためのシステム化技術ならびに、人間がロボットや情報機器をより快適に使うためのインタフェースデザインに関する技術を広範囲に教育・研究します。



情報科学部 システム工学科

●年次チャート



※情報科学部の募集は学部一括で行い、学科への配属は2年次開始時に行います。
※科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

人間・ロボット共生コース

人間・コンピュータ・情報システムの調和を図り 人間・ロボット共生社会を実現

人間が安全・安心・快適・便利に生活するための社会システムの実現を目指し、今後ますます重要となるロボットを開発するためのシステム化技術ならびに人間とロボットが共生する社会を実現するためのさまざまな要素技術を広く教育・研究します。

深刻な少子高齢化社会を迎える我が国では、労働者人口の激減や高齢者支援に対応するため、人間社会のあらゆる場でロボットが活躍する時代がもうすぐ到来します。本コースではこのような「人間・ロボット共生社会」の到来を念頭に、家庭・介護福祉施設・病院・オフィス・工場等で活躍するさまざまなロボットを開発するためのシステム化技術と、それらの基礎学問であるメカトロニクス・制御工学・ロボティクス・プログラミング・数理科学等に関する教育・研究を行います。ロボットを教材にソフトとハードの両方を修得することができ、自動車・家電・機械・IT・ネットワーク機器等のメーカーをはじめ、さまざまな情報技術業界で即戦力として活躍可能なエンジニアを育てます。



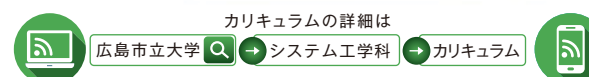
研究紹介

実世界クリッカー

体の不自由な被介護者が周りの実物体操作に関する意思を簡単かつ正確に介護支援ロボットに伝達するための介護支援システムです。実世界にある物体を、パソコン内のアイコンと同様に、クリックやドラッグ&ドロップすることでロボットに簡単かつ正確に指示を出すことができます。



カリキュラムの詳細は





インタフェースデザインコース

人間・コンピュータ・情報システムの調和を図り
人に優しいインタフェースをデザインする

技術的に高度化し続ける現代社会において人が快適に機械と共存するための
さまざまな形態の専門分野で、インタフェースデザインの方法論を確立し、
具現化するためのさまざまな技術を広く教育・研究します。

世の中に無数に溢れる機械や情報機器は誰でも使えるほど優しい設計にはなっていません。本
コースでは、人間・機械・コンピュータを有機的に結び付けることで、「いつでも、どこでも、だれ
でも」直感的に使うことができるような優しいインタフェースの実現を目指し、それに必要な
デザイン技術を学びます。特に、障がい者・弱者・高齢者支援、環境（自動車など）への応用を狙
い、ヒューマンインタフェース・人間工学・音
響工学・リアルタイムシステム・セキュリティ
等の基礎技術を修得します。それらを基に、
リアルな音質に迫る人工的音響空間のデザ
イン、直感的で効率的なコンピュータ操作
インタフェースデザイン、情報機械を効率
的に動かすためのプログラムデザイン等の
研究を進める中で、技術とデザインの両者
を理解する骨太な人材を育成します。



眼球運動測定装置

研究紹介

電力線通信 (PLC)

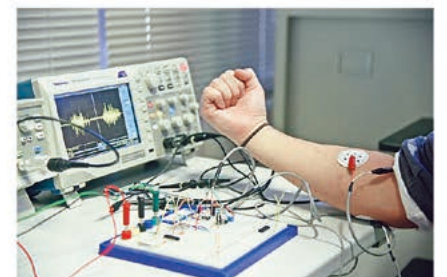
スマートグリッドは情報通信技
術(ICT)を活用した次世代の送電
線網であり、電力線通信(PLC)は
それを支える通信方式の1つで
す。電力線通信では既存の電力線
を通信路として使用するため、導
入コストが極めて低いという利
点があります。ところが、電化製
品の稼働状況により通信路特性
が変動するため、高効率な通信は
困難です。本研究では家電モニ
タリング機能を利用することで、安
定かつ高効率な電力線通信の実
現を目指しています。



医用情報科学科

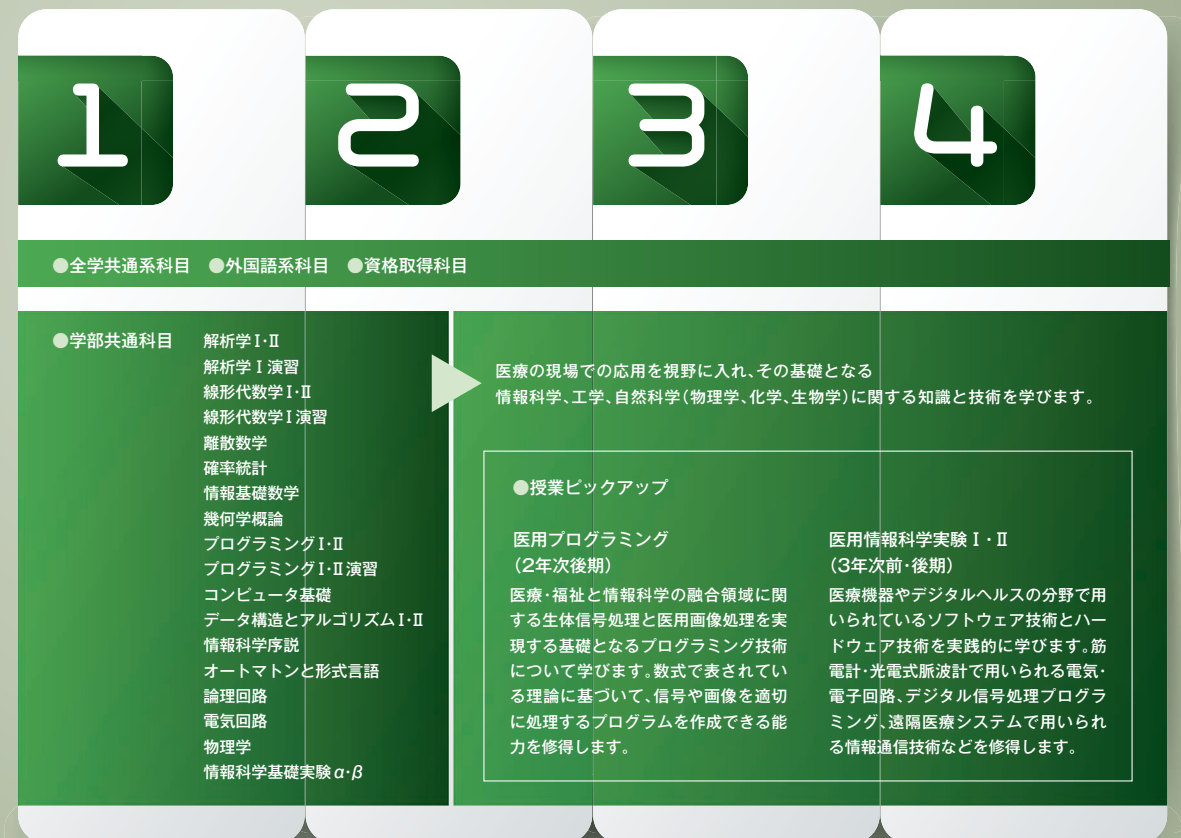
情報科学・自然科学・工学に関する十分な教育とそれを越えた学際色豊かな専門教育

医用情報科学科では、豊かで安心・安全な社会の実現を目指し、情報科学・自然科
学・工学に関する学問を基礎とし、その上でバイオインフォマティクス、医用画像
処理、医用ロボット工学、生体情報工学、医用情報ネットワークといった融合領域
の専門知識・技術を学びます。これにより医療、生命、環境など、現代社会に係る諸
問題に対し、既存の学問体系の枠を超えて俯瞰的に取り組むことができる人材を
育成します。



医用情報科学実験の様子(筋電計の製作)

●年次チャート



※ 情報科学部の募集は学部一括で行い、学科への配属は2年次開始時に行います。
 ※ 科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。



情報科学部 医用情報科学科

医療の未来を情報科学で切り開く

「バイオ情報学」「医用画像工学」「医用ロボット」「脳情報科学」「医用情報通信」の5つの研究室で、医用情報科学、生体情報科学に関する最先端の研究を行っています。

研究室紹介

バイオ情報学



計算と実験の両方のアプローチで、情報科学と生物学の学際・融合領域の教育・研究を行っています。タンパク質、酵素などの分子レベル、微生物などの細胞レベル、植物やヒトなどの個体レベルの広い範囲の生物を対象に、生物の持つさまざまな能力を利用し、生命現象の解明と人間生活への利用を目的とした研究開発を目指しています。

医用ロボット



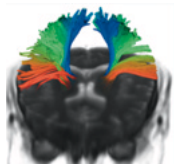
機械・電気電子・情報の融合を図り、かつその出口として医療を見据えることで、これまでにない新たな医療・福祉システムの実現を目指しています。具体的には、マイクロ・メカトロニクス技術を用いた超小型医療デバイス、無痛薬剤投与デバイス、高齢者見守り支援システム、ウェアラブルデバイス等の創成に挑戦しています。

医用情報通信



情報通信技術と医療・医学の融合による新たな医療・医学ヘルスケア技術による社会の創生を目指します。具体的にはBody Area Networkを用いた医療・ヘルスケアネットワークシステム、生体センサシステムによる医療・ヘルスケアシステム、多機能ウェアラブルバイタルセンサとウェアラブルマルチ伝送システム等の実現を目指します。

医用画像工学



脳情報科学

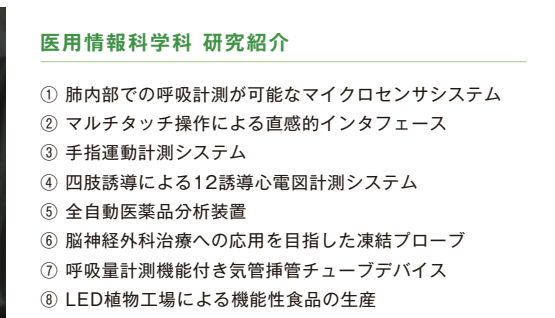
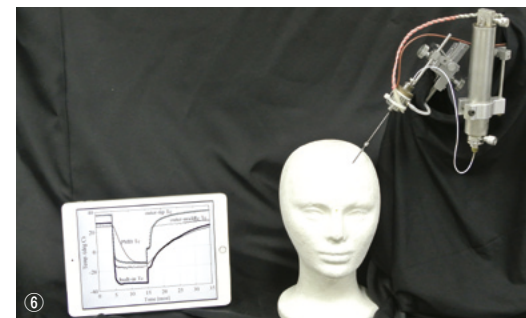
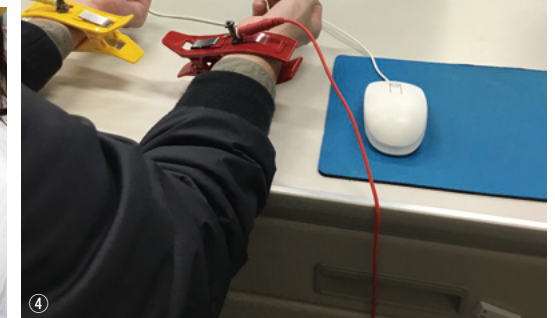
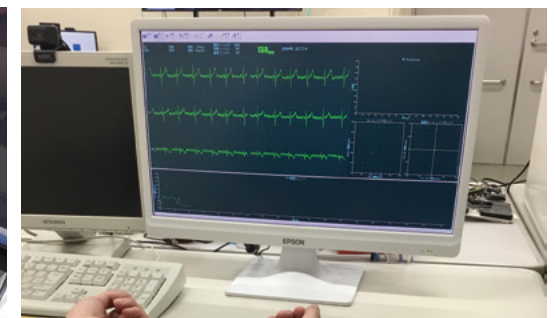


X線CT、MRIなどの医用画像により、生体の形や動き、その個体差、疾患による変化を捉え、医療や医学をサポートする技術の研究を行っています。解剖学的知識などの計算機内での数値表現に基づく医師と同等以上の観察眼や知能、学習能力を持つ機械の実現、および基礎医学に役立つ技術・知見の創出を目指しています。

先進的な脳機能計測解析技術を開発し、それを医療・福祉・アミューズメント・脳科学等の分野に応用展開することを目指します。脳活動に伴う光や電磁気などの物理現象を斬新な手法で捉え脳信号を高精細で可視化する技術や脳神経系と外部機器とのインターフェースにより身体機能の拡張やアシストを実現する技術を開発します。



医用情報科学科
ホームページ



医用情報科学科 研究紹介

- ① 肺内部での呼吸計測が可能なマイクロセンサシステム
- ② マルチタッチ操作による直感的インタフェース
- ③ 手指運動計測システム
- ④ 四肢誘導による12誘導心電図計測システム
- ⑤ 全自動医薬品分析装置
- ⑥ 脳神経外科治療への応用を目指した凍結プローブ
- ⑦ 呼吸量計測機能付き気管挿管チューブデバイス
- ⑧ LED植物工場による機能性食品の生産



カリキュラムの詳細は

広島市立大学

医用情報科学科

カリキュラム





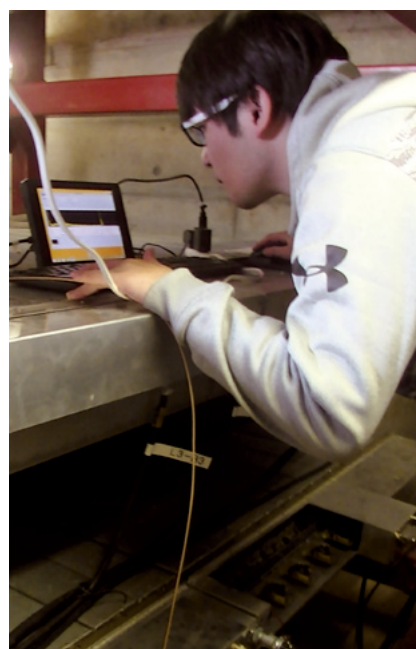
宇宙から来る粒子の観測

情報工学科 コミュニケーション基盤コース
センサシステム研究室
教授 田中 公一

宇宙からは可視光だけでなく、陽子、電子、ガンマ線とさまざまな目に見えない粒子が地球に飛び込んで来ます。これらは宇宙からの情報を伝え、これを読み解くことによって、超新星、ガンマ線天体など魅力溢れる天体からやってきているのかもしれないと思いを馳せます。さらに、太陽活動や地球近傍での磁場の理解が深まり、社会インフラや情報通信などに悪影響を及ぼす現象の予測にも役立ちます。

このような粒子を人工衛星で測定する方法のほかに、粒子が降った影響を地上で観測する装置が世界各地にあります。その一つにインド南部のウーティ市に日本とインドの国際共同研究施設であるGRAPES-3があります。この地での観測の利点は、赤道に近く北天と南天の両方を観測できること、より宇宙に近い2200mの高地にあることです。これまで太陽フレアによって起こるフォアッシュ減少などを観測しています。

本研究室では2012年から参加をし、大学院生もインドに長期滞在して装置の維持と粒子の観測や大量データの解析に従事しています。



精度の良い観測をするためには、センサのメンテナンスが欠かせません。慎重にセンサとなる比例計数管をチェックしています。

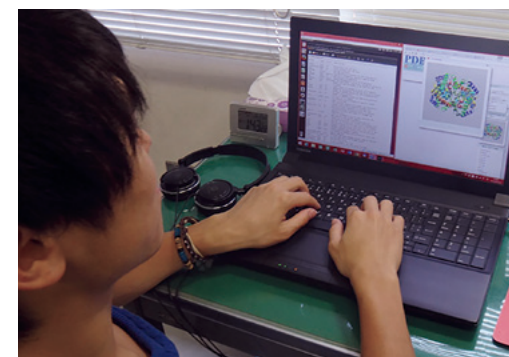


コンピュータシミュレーションを使って タンパク質のはたらくしくみを明らかにする

医用情報科学科
バイオ情報学研究室
教授 鷹野 優

タンパク質は生命活動に必要なはたらきをする生体分子です。例えば、酵素とよばれるタンパク質は温和な条件で生命維持に欠かせない生化学反応を助けます。もし酵素無しで同じ反応を行おうとすると、高温・高圧などの非常に危険な条件が必要となります。また、免疫ではたらく抗体というタンパク質は非常に高精度に病原体の出す物質を見分けることができます。

このように、タンパク質はとても優れたはたらきをする分子です。そのはたらくしくみを理解するためには、「はたらく瞬間の姿」を見ることが重要になります。コンピュータシミュレーションには、現実には確かめることが困難な「はたらく瞬間の姿」を理論的に追跡し、見ることができるという他にない利点があります。そこで、私たちはコンピュータシミュレーションを用いて、「タンパク質のはたらく瞬間の姿」を見ることで、そのはたらくしくみを明らかにしようとしています。また、そのしくみを利用した新しいタンパク質や薬剤の開発を目指しています。





情報科学部 情報工学科 4年
松岡 杏奈
広島県立祇園北高等学校出身

主体的に取り組むことで考える力を鍛える。国際感覚や語学力を身に付けるにも最適な環境

4年に上がり、授業で興味をもった電子物性に関する研究室に入りました。実験で多く利用したセンサについても深く学べます。今は研究内容を決めるために過去の卒論を読み、光工学の本で基礎知識を得ています。最初は自分でプログラムを組み込んで思うように動かないことがほとんどでしたが、試行錯誤を重ねて成功した時はやりがいを感じました。演習を解いたりプログラムを書いたりするには多くの方法がありますが、その中でより簡潔に解ける方法を模索し、最適な別解を先生に質問しながら考え、より簡

単な方法で解けると大きな達成感が得られます。こうして数々の実験などを通して考える力が身に付きました。学びで得た情報の知識や考える力を生かし、多様な考え方を持てるSEになりたいと思っています。市大には国際学部があるため、外国語の勉強や留学がしやすい環境が整っているのも魅力です。TOEIC対策授業や外国人の先生と会話する授業もあり、英語を聞く力や話す力が楽しく身に付けられました。市大は情報に関する技術や知識はもちろん外国や留学に興味がある人に最適の大学だと思います。



情報科学部 システム工学科 4年
向井 真優理
広島県立廿日市高等学校出身

地道に試行錯誤を重ねた結果が報われる喜び。懸命に知恵を絞った企画が笑顔を生む達成感

3年次のシステム工学実験では、これまで学んだ知識や技術を生かし、二輪走行ロボットの遠隔制御・自立制御システムを構築しました。プログラミングだけでなく基板のはんだ付けに始まりシステム構築まで全てを手がけます。試行錯誤を繰り返しましたが、その過程をまとめたレポートやプログラムが評価され、最優秀賞をいただきました。授業以外では環境ボランティアサークル「ねっこ広島」で活動しています。「ごみゼロ・クリーンウォーク」やフラワーフェスティバルでのゴミ拾いなどの環境保全や、公民

館などでのイベントが主な活動です。一から企画し何度もリハースルを重ね、参加した子どもたちが「楽しかった!」と笑顔で喜んでくれた時の達成感は忘れられません。私が市立大学の受験を決めた理由は教員免許が取れるから。情報やプログラミングの知識ありませんでした。そんな私も今、入学してよかったと心の底から思います。情報化社会において世界的に必要とされる知識や技術を身に付けられることはもちろん、新しい自分をたくさん発見でき、充実感に満ちた大学生活を送れているからです。



情報科学部 知能工学科 3年
寺本 ちひろ
滋賀県立河瀬高等学校出身

特待生に早期卒業。向上心を応援してくれる制度が充実。ボランティアでも成長を実感

今は学部を3年で卒業する早期卒業を目指して頑張っています。上位学年の科目を先取りで履修できたことで、2年で習うことが3年の授業につながっていることを実感しやすくなりました。市大には特待生や早期卒業など、自分を高めたい人にうれしい制度がたくさんあります。私も特待生に選ばれたことが早期卒業を目指すきっかけになりました。大学生活で心に残っているのは学内の公式学生支援ボランティア「いちピア」のピア・サポーター活動。最初は活動の方向性や具体的な内容が決まって

おらず大変でしたが、約2年間の活動を通じて少しでも形にできたことは自信になっています。いちピアでは自ら活動を企画することが多く、主体的に動く習慣が身に付きました。培ったチームマネジメントの経験を将来生かしたいです。今いる場所や今の自分が全てではありません。これからどうなりたいかを少しでも考えながら、いろいろなことに一生懸命取り組んでみてください。いつか後輩になって道を切り開いてくれることを願いつつ、応援しています。



情報科学部 医用情報科学科 4年
田中 康平
島根県立松江南高等学校出身

未知の世界に踏み込む面白さ。学業に部活に、積極的に行動した分だけチャンスが広がる

医用ロボット研究室に配属され、今は研究テーマを決める段階です。3年次の学生実験では生体信号を検出するシステムなどハードとソフトの両方を扱う実験に取り組み、講義では情報、工学、自然科学などの幅広い分野を学びました。世の中の仕組みや原理など、知らなかったことが理解できるようになるのが面白いです。部活は茶道部表千家とラグビー部を兼部。茶道部では大学内のほか宮島や百貨店などでお茶会を催し、ラグビー部では未経験ながら1年次の頃から試合に出場して経験を積みました。どち

らの部活も入学後に始めましたが、先輩や先生の指導のおかげで上達できました。部活では他学部や他大学など学外の人とも接することができ、自身の成長につながる貴重な機会です。市大の魅力は図書館や自習室、食堂が快適なこと、少人数教育で質の高い授業が受けられること、親切的な先生が多く、分からないことがあっても丁寧に教えてもらえることなど、主体的に学べる環境が整っているところ。学業以外にも部活やサークル、ボランティア活動、留学など、知見を広げるチャンスがたくさんあります。



芸術学部

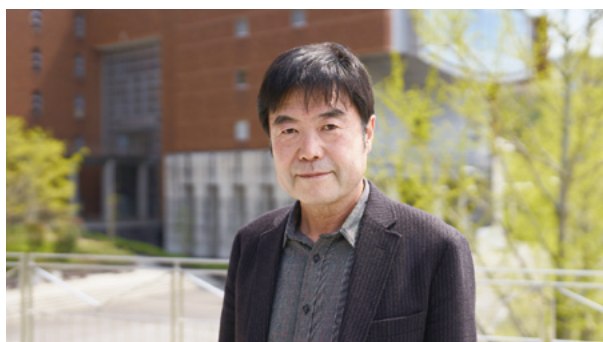
Arts



自己表現の可能性を追究するために、理論と実技を身に付け、感性を育む

芸術学部

Arts



芸術の力

芸術学部長 伊東 敏光

世界のグローバル化が急速に進む状況下、東京オリンピックや大阪万博を控えた今日の日本社会において、言葉の壁を越え私たちの日常に感動と潤いを与える芸術は、世界の人々に日本人や日本文化を理解してもらうために重要な役割を担っています。そしてまた成熟社会を迎えた現在、個人の嗜好やセンスが表れる美術やデザインは、精神的な豊かさと生活の質を向上させるツールとして今後ますます必要となって行きます。

芸術学部では、芸術の力によって次の時代を切り拓く人材の育成を目指し、美術、デザイン工芸の基礎的な知識や技術の習得を重視するとともに、高い専門性に基づいた独創的な表現を身につけるための教育環境を整えています。そのために、通常のカリキュラムに加え、アートによる地域連携事業や海外の学術交流協定校と連携した国際交流等を積極的に教育に取り入れ、実践的、国際的な体験学習の機会を提供します。

これら恵まれた教育環境を積極的に利用して、高い創作能力を培い、これからの社会を芸術の力によって豊かにしていってください。

求める人物像

豊かな感性と創造力を持ち

時代の変化に柔軟に対応できる

多様な技術を修得したいと考える

学生を求めています。

創作活動を通じて、

地域社会と国際交流に貢献する

意欲を重視しています。

◎関心・意欲

芸術に関心があり、創作・表現に意欲を持ち、創作を通じて国際社会や地域社会の発展に貢献したいと考えている人。

◎知識・技能

高等学校等で修得すべき知識・技能を持ち、創作・表現を学ぶための基礎的な技術・感性を備えている人。

◎思考力・判断力・表現力

関心を持ったことを深く思考し、自らの考えを作品や言葉によって表現できる人。

◎主体性・協働性

創作、協働に対して積極性、主体性を持って取り組み、創作を通じて国際社会や地域と関わりたい人。

教育方針

創作活動の基本となる基礎実技を

しっかりと修得し

多様な技術を多角的・総合的に学んだ上で

地域社会や国際交流でも

アートを通して活躍できる

能力を育んでいきます。

◎創作活動を続けるために基礎実技を重視

自己の表現を追究する創作活動を続けていくために必要な観察力と造形力を養う基礎実技の修得を重視した教育を行っています。

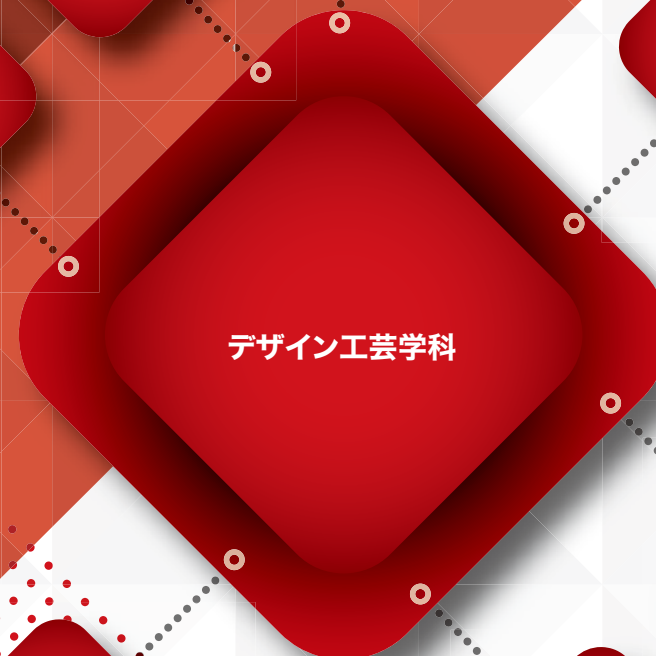
◎多様な技術修得のための多角的・総合的な教育

独自の表現方法と出会うために、過去から現在に至るさまざまな分野の素材や技術を学ぶことができる、多角的で総合的な教育を行っています。

◎地域と国際を軸に芸術の社会的役割を学ぶ

地域社会との連携や海外との学術交流などを通して、社会の中で表現活動を行い、芸術の社会的な役割を知る実践的な機会を提供しています。

芸術学部
Arts



芸術学部

美術学科

日本画専攻
p.086油絵専攻
p.087彫刻専攻
p.088

基礎技術修得と幅広いカリキュラムで、創造者としての感性を養い、時代に貢献する人材を育成

美術学科は、純粋芸術の専門的な教育・研究を行います。芸術の創造者としての基盤となる感性を養い、的確な造形表現をするための能力の充実を図ることができる基礎教育を重視します。日本画・油絵・彫刻は、それぞれの分野において造形の体系を形成した歴史や哲学、科学などがあり、人文学的な要素についても学ばなければなりません。それらの確固たる造形性を修得した創造者を目指して、実技演習のみならず教養の充実を図ります。それとともに、現代を思考し、専門領域のみならず幅広い視野で芸術を理解できるようなカリキュラムを組み込み、これからの社会に創造者として発表する上で必要な能力を育て、新たな時代を形成し貢献する人材を輩出することを目指しています。

● 年次チャート



芸術学部 美術学科

日本画専攻

基礎教育から独創的な表現に至る指導で、
創造性に富んだ人材を育成する

● 目標

日本画の伝統的絵画表現という側面と、現代を生きる芸術家としての自由な表現とを両立した、広い視野を持ち、芸術表現の可能性を追求する21世紀に生きる現代日本画作家の輩出を目標としています。4年間の多彩で多様な授業を通して、高い知識、確かな技術を修得すると同時に創造性、独自性に富んだ卓越した人材を育成することを目標に、これからの文化芸術の創造・発展に貢献することを理念としています。

● 卒業後の展望

日本画専攻では、優秀な作家の育成とともに、教職課程、学芸員資格等の取得にも積極的に取り組んでいます。教育機関や研究施設における指導者、研究者として芸術文化の振興に携わり、地域の文化に貢献しています。より専門的な技術や高い芸術性の修得を求める学生は大学院への進学を希望します。進学、就職と進路はさまざまですが、多くの卒業生が公募展や個展等で積極的に作品発表を続け高い評価を得ています。

● 授業概要

4年間の授業の中で、写生、技術研究等の基礎教育から、独創的な表現に至る段階的な指導を行っています。1年次では材料の扱い方や制作を主に基礎力を高め、2・3年次では写生旅行や古美術研究旅行等によるスケッチ取材や文化財の実地見学の体験を通じ創作の幅を広げます。4年次には、今までの授業の集大成となる卒業作品を制作。各学年とも表現者としての基礎を身に付けるため、デッサンや写生を重視。また、古典模写や、専門的な裏打ち技法や金、銀箔の授業も随時開設するなど、効果的な教育プログラムとなっています。



アトリエ紹介

日本画専攻では1年間を通して各学年1つの教室で学びます。同級生と日々研さんを重ねて課題に取り組んでいきます。また大学祭の準備や展示など学生生活を通じて最も長い時間を過ごす場所です。課題は主に50号から80号の作品を制作し、4年生になると卒業制作として150号の大作に取り組みます。お互いが刺激し合いながら送る学生生活は、きつとかけがえのない体験となることでしょう。

カリキュラムの詳細は

広島市立大学 → 美術学科 → カリキュラム



芸術学部 美術学科

油絵専攻

絵画技術の的確な修得をそれぞれの強固な基盤に。
そして芸術の新しい造形と表現の可能性を探る

●目標

油絵は西洋の伝統的絵画造形の代表です。油絵を学ぶことは、その根底に流れる西洋の歴史や多様な精神文化も学び知ることになります。西洋の絵画を本質的に理解するため、造形基礎としての写実のみならず、芸術の多様性を知り、やがては新たな自己の表現を目指すことができる教育を目標にしています。油絵を学ぶことで自ら現代を広い視野で見ることができる人材の育成を理念とします。

●卒業後の展望

作家として高い評価を得る卒業生も多く輩出していますが、卒業生が自立する道はそこだけにあるわけではありません。さらに専門性の高い研究の機会を求める者は大学院進学や海外留学を検討します。また、専任・非常勤の教員や学芸員として教育・研究分野へ従事することの他に、培った造形力を生かせるデザインやCG、アニメ業界など多くの選択肢があります。他にも数え切れないほどの社会参加の形はあり、たとえ芸術とは関係のない業界への進路を選んだとしても、卒業生がその根幹として生涯もち続けられるものは、絵画修練で培った思考力と技術力です。

●授業概要

油絵を中心に据えながら西洋美術の理解と研究成果を得られるよう、段階的なカリキュラムを編成しています。1～2年次は、デッサンと油絵制作により重点的に造形力を鍛え、銅版画・木版画制作と油絵材料・技法演習を通し、歴史に裏付けられた西洋美術の基礎を学びます。3年次には自由制作研究により表現者としての問題意識の萌芽を促します。古美術研究ではイタリアでの実地研修を経験し、西洋美術の生きた歴史に触れて専門性を高めます。そしてここまでに構成演習などで芸術の多様性にも見識を広げ、4年次に集大成としての卒業制作を行います。



版画工房紹介

版画は美術作品として以前に、複製を作り社会に情報を伝播するメディアとして古くから使われ、印刷技術と関係しながら発展してきました。版を介して間接的にイメージを作り上げる「刷る」という行為には、能動的に直接支持体へと描き出す行為とは違い、計画性を保ちながらも画面に現れた偶然性を受け入れるといった、絵画創作の思考を問い直す内容も含まれます。本学版画工房においては、木版、銅版画、リトグラフ、シルクスクリーンの基本四版種に加え、多様な版画技法へのアプローチを可能にする充実した設備をもって、専攻の枠を超えた工房制作の機会を提供しています。また、版画制作者の健康に配慮した「Non-Toxic技法」(ノン・トクシック技法)を導入しており、有機溶剤などの人体に有害な薬品を使用しない版画制作を行っています。

彫刻専攻

基礎実習と実材研究を通して
新たな彫刻表現を探究する

●目標

常に実在物や現実空間と対峙することを必要とする彫刻専攻では、塑造実習と実材実習(木・石・金属・ミクストメディア・セラミックス)を中心に、古美術研究旅行、彫刻論等を通して、素材や作品と時間や空間を共有しながら体験的に学ぶことをカリキュラムの核としています。また、古代から現代までの芸術表現を研究することで、現代社会における芸術の役割を認識し、国際交流・地域連携に積極的に取り組みながら、地域文化をリードする国際性豊かな人材を育成します。

●卒業後の展望

学部卒業後は、毎年多くの学生が進学を希望し、さらに高度な創作・研究を進めています。また、教職関連や造形力を生かせる職業に就きながら、作家としての自立を目指し、広島を中心に個展を開催したり、公募展やグループ展、プロジェクトに参加したりして、発表や活動の場を広げていきます。さらに、海外の芸術大学へ留学する学生もあり、国際的視野を持ち、併せて地域に根差したさまざまな方面で活躍しています。

●授業概要

彫刻の基礎となる塑造実習では、4年間を通して人体をモデルに骨格・構造などの仕組みを把握し、自然から彫刻芸術の基礎的な形態を学びます。また実材実習では、1・2年次に実材の基礎的知識と技術を身に付けることを目的として学習・制作に取り組み、3年次以降は各自がそれぞれの実材を選択し、課題に沿った制作活動の中から自己表現の方法を学びます。併せて東洋・西洋の古典、現代までの多様な芸術表現を学習することによって、自らの創造基盤をつくり上げます。

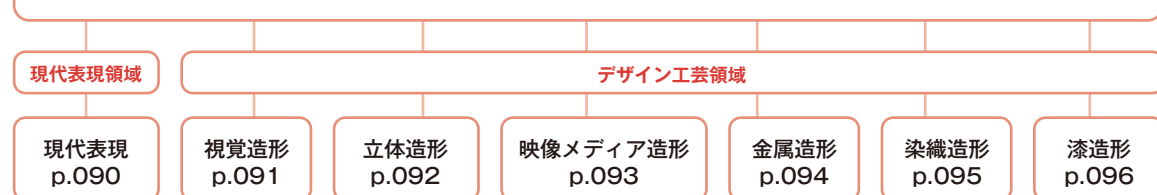


アトリエ・工房紹介

彫刻専攻では、学部棟内に各学年個別のアトリエや資料室を持つ他に、約2,500㎡の敷地内に木彫工房、石彫工房、金属工房、ミクストメディア工房の4つの専用工房を持っています。各工房内に2.8tクレーン(合計3機)が、野外には20tクレーン(1機)が設置され、常備する3tフォークリフトとの組み合わせで、大きな作品の制作にも対応できます。各工房には専用機械や電動工具を充実させ、学生の追加費用負担を軽減するよう努めています。また、3Dプリンターや3Dモデリングソフト等デジタルメディアの制作環境の整備にも取り組んでいます。

芸術学部

デザイン工芸学科



確かな造形表現のための基礎を重視しながら、創造的な活動および表現のできる能力を育てる

デザイン工芸学科は、社会と生活に関わる造形芸術の総合的な教育と研究を行うために、創造力、造形力を身に付け、確かな造形表現が行えるよう基礎教育を重視しながら、今日の社会における新しい表現と、長い歴史に培われた造形表現の双方を検証して、より専門的な造形表現へと展開していける学科です。7つの分野を設け、幅広い表現を展開する専門領域の特徴を効果的に教育体制の中に反映させることで、広範な活動領域において柔軟に対応し、創造的な活動および表現のできる能力を育て、新たな時代の形成と社会に貢献していくことができる人材の育成を行います。

●年次チャート



芸術学部 デザイン工芸学科

現代表現領域

現代表現

先端的表現の実践と理論構築を学び、
現代社会の要請に応える表現を創造する

●目標

現代表現分野では、先端的表現の実践と理論構築を学んで、現代社会の要請に応える表現者の育成を目指します。現代美術の作品制作に加え、作品を発表するために必要なキュレーション(企画展示)とマネジメント(管理運営)のスキルも学びます。世界の美術作品の大多数は、現代美術の領域で作られています。世界各国の美術大学で教えられているのも、現代美術の作品制作です。この分野では、将来、日本でも中心的な領域になる現代美術について専門的かつ体系的に学ぶことができます。また、現代美術の領域では、社会や政治、歴史の問題に積極的に取り組む作家が多く、現代美術を学ぶ場所は重要なポイントです。広島は、史上初の被爆を経験した都市であり、世界で最も知られた都市の一つです。現代表現領域は、日本と世界の諸問題に真剣に取り組む、国際舞台で活躍するアーティストの輩出を目指しています。

●卒業後の展望

海外への留学生が多い現代表現領域では、日本国内にとどまらず世界で広く活躍するアーティストを多数輩出しています。また、従来の作品制作やデザインの枠を押し広げる先端的な表現者としてキャリアを積む卒業生

●授業概要

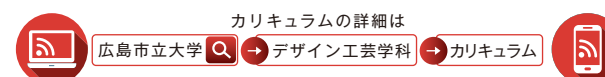
複数の教員による領域横断的な教育体制を通じて、実技(作品制作)と理論(企画展示、管理運営)の双方を学びます。2年次では、作品制作を主とした課題を通して、制作されたものとコンセプトの整合性を計る基礎を身に付けていきます。3年次ではアートプロジェクトの企画を行います。グループワークを中心としたリサーチから定期的なディスカッションを通して、展覧会やイベントを作り上げる一連のプロセスを修得します。4年次では、個々の学生に応じた表現の指導を行い、これまでの活動の集大成として卒業制作に取り組みます。完成した作品は公開プレゼンテーションを行い、外部の講師による公開講評も実施します。さらに、作品撮影からカタログのデザインまで実践することで、将来の作家活動を広範に支える取り組みも行います。

ラボ紹介

現代表現分野の「CA+Tラボラトリー」は、展覧会やレクチャーなど、多目的に使用できるホワイトキューブの空間に加え、学内外におけるプロジェクトの報告やディスカッション、ミーティングのためのプレゼンテーション・ルームも備えています。また、海外や国内で開催された現代美術に関する展覧会カタログや文献などを3,000冊以上収蔵しています。現代表現分野で学ぶ学生たちは、これらの蔵書を自由に閲覧することができます。



カリキュラムの詳細は





芸術学部 デザイン工芸学科

デザイン工芸領域

視覚造形

ヴィジュアルコミュニケーション・デザインで、
社会の課題を創造的に解決する

●目標

デザインとは、計画的に課題解決方法を考え、その実現のために必要な手法を選択し、実現する創造的活動です。今日その対象領域は、生産・製造業に限らず、私たちの暮らしそのものや、社会のあり方といった具体的な形がないものにも広がっています。視覚造形では、こうした広範なデザインの中で、特にヴィジュアルコミュニケーション・デザインを中心とした、課題解決方法とその新しい表現方法について探究しています。さらに、社会的な創造活動であるデザインには、実社会の中に主体的に課題を発見し、他人と協調しながら、その課題解決に取り組む能力も必要です。視覚造形では、さまざまな実習課題や学外デザインプロジェクトを通じて、こうした能力を身に付け、卒業時には、問題の本質を捉え、創造的な提案ができる人材を育成することを目標としています。

●卒業後の展望

卒業生は、広告代理店や印刷会社におけるアートディレクター、クリエイティブディレクターのほか、グラフィックデザイナー、パッケージデザイナー、

●授業概要

2年次には、写真撮影、ポスター、エディトリアルなどを通じて、グラフィックデザインの基礎を学ぶほか、関東・関西のデザインの現場を研修旅行で巡ります。3年次には、広告の企画・制作、公共デザイン、デザイン展の企画・実施など、より実践的な課題に取り組みます。4年次には、学生自らが選んだテーマで、ヴィジュアルコミュニケーション・デザインによる卒業制作に取り組みます。



ウェブデザイナー、アーティスト、イラストレーター、漫画家などとして活躍しています。

スタジオ紹介

VCデザインスタジオは、フリーアドレスのワークデスクと広大な壁面を有し、学生に自由な制作環境を提供しています。デザインワーク用コンピュータや高精細大判プリンターなどを備えています。隣接する2Dプリントルームでは、冊子印刷や製本加工ができるため、課題制作や各種デザインプロジェクトに利用されています。さらに、学内のフォトスタジオと連携することで、高品質なグラフィックワークも可能です。

芸術学部 デザイン工芸学科

デザイン工芸領域

立体造形

生活の中における人とモノの関係を追究し、
幅広い視野で本質的なモノづくりを創造する

●目標

立体造形分野は生活の中における人とモノの関わり合いをデザインすることに主軸を置いています。効率性や経済性を重視する現代社会においては、モノづくりに込められた心の大切さを見失いがちです。そこでデザインの本質を追究し、幅広い視野で本質的なモノづくりを創造します。「人とモノの本質的な関わりは何か」をキーワードに、生活と社会の中のモノづくりに対する、創造性豊かで自由な発想の導き出し方を学ぶことができます。

●卒業後の展望

自動車、家具、玩具・ゲーム、ファッション、Web、店舗設計などのデザインや企画開発といった生活に関わるさまざまな分野にデザイナーとして企業に就職し、身に付けたスキルを発揮する道があります。またアーティストやクリエイターとして独自に活動し、各方面で評価を受けている卒業生もいます。立体造形で培った創造性豊かで自由な発想をもとに、社会で幅広く活躍できる人材を輩出しています。

●授業概要

2年次では多様なテーマに対し、調査から構想、実制作までを通して、計画・造形・伝達などの表現に必要な基礎的な項目を修得します。3年次では機能と構造を軸に椅子のデザインと制作を実施、また各自が求めるモノづくりの領域を探る演習を実施し、その成果を公開展示します。4年次には各自が立てたテーマを軸に調査を行い、卒業制作に向けて具体化します。また、芸術資料館のコレクションに直接触れての調査、専門工房での専門技術の修得、地場産業の見学研修で知見を深め、デザイン能力、表現力向上を同時に進めます。



スタジオ紹介

3Dスタジオではデザインに関わるアイデア構築のための資料と、プレゼンテーションのために必要な空間と設備を学生に提供しています。またスタジオ内に3Dプリントルームを併設し、Shadeなどのソフトで製作された3Dデータを3Dプリンターで出力し、デザインの形や構造の検証を行うことができます。学生はここで練られたデザインを基に各専門工房を使用して作品のプロトタイプの制作に移ることで、基本的な素材の加工技術を修得することにも積極的に取り組んでいます。



芸術学部 デザイン工芸学科

デザイン工芸領域

映像メディア造形

情報メディアを駆使した表現は、
現代社会に新しい視覚体験を発信する

●目標

映像を使った情報ツールは、いまや日常の中に当然のように溢れています。それらをコントロールし情報発信することには、適切な技術と知識が必要です。映像メディア造形では、社会のニーズに応えるための多様な映像表現を、若い感性からなる可能性から新しい視覚体験を創造することを目指し、創作研究を行います。映像という媒体を、「光」「音」「時間」「動き」というエレメントに分解してそれぞれの特性を研究し、多彩なデジタル技術を利用して新しいコミュニケーション表現として再構築していきます。また、多くの映像資料を基に映像リテラシーを養うとともに、CGやアニメーション、そしてICT技術を修得し新しい映像媒体でのアートやデザインの表現を創造していきます。

●卒業後の展望

卒業後の進路としては、映像制作会社、TV放送局、Web制作・デザイン事務所、ゲーム制作業界などへの就職がメインで、身に付けた技術や表現力を社会に向けて発揮しています。また、アーティスト、映像クリエイターとしてフリーランスながら多くの映像コ

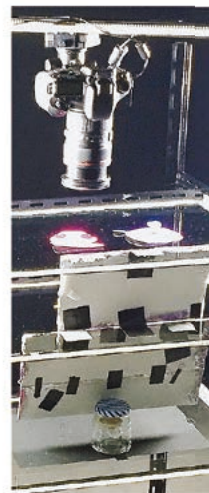
●授業概要

2年次では、映像の基礎的構造を理解するためにアニメーション技法を主に実習を行います。「動き」「音」「時間」などのモチーフをも使用して、映像を多様なアプローチで創造することを学びます。また、豊富な映像資料を基に映画の映像制作の実習も行い、総合表現としての制作も行います。同時にコンピュータでの各種アプリケーションソフト技術修得によるスキルアップも行います。3年次では、培った造形感覚を発展し、各自が目指す方向性を探る演習を行い、新しい視覚表現のための創作研究を行います。また、実践的なグループ制作での演習も課し、社会性のある制作を行います。4年次は、卒業制作に向けて、各自の感性とスキルに合わせ計画から試作・実制作へと取り組みます。また、カタログ制作や映像パブリッシュメディアの制作も行います。

ンペティションで受賞、活躍している卒業生もいます。4年間の映像メディア造形分野での研究制作を通して培われた先鋭的感性、情報処理能力、人間力を生かしさまざまな分野で活躍する人材を輩出することを望みます。

スタジオ紹介

コマ撮りアニメーションの専用スタジオや、専有のコンピュータスタジオなど、学生が存分に制作に打ち込める施設を有しています。また、200インチスクリーン、7.1ch音響システムを完備したプレビュールームでの映像作品の講評では、より実践的な視点で作品を観ることができます。



芸術学部 デザイン工芸学科

デザイン工芸領域

金属造形

金属素材との対話を通した確かな技術修得、
柔軟な思考が独自の表現を生む

●目標

人類が金属素材に出会って以来、金属の可能性への探究は、モノづくりへの挑戦から始まったと言えます。わが国の金属工芸には、先人たちが残した世界に誇れる素晴らしい表現技法が多く存在します。金属造形では、「彫金」「鍛金」「鋳金」といった金属工芸の伝統的技法の基礎を体系的に学び、応用技術を修得していきます。また素材や歴史的背景について理解を深め、自己の制作研究を通して感性を高め独自性を追求します。段階的に修得した確かな技術と柔軟な思考を基に、金属造形のジュエリー・クラフト・オブジェ・伝統的工芸といった幅広い領域の中から、現代における工芸、金属造形のあり方を考え、独自の表現と新たな方向性を探ります。

●卒業後の展望

卒業後の進路は、製品開発・製造を行う企業での企画開発、デザインなどの分野で才能を発揮する、あるいはジュエリーデザイナーや工芸作家として独自の表現を追究する作家として、また中学・高等学校の教員、専門学校の講師として学んだ技術を教える立場に立

●授業概要

2年次は、手仕事を中心とする金属工芸の伝統的基礎技法を修得しながら、金属工芸の基本的な知識と技術を学びます。3年次は、課題制作を通じて、複合技術の修得と共に深い知識と高度な技術を学び、高い専門性と応用力を身に付けます。また3学年共通のテーマ制作では、制作から展示までのプロセスを総合的に学び、4年次の卒業研究に備えます。4年次では、各自の卒業制作について綿密な検討を重ね、予備研究・習作を経て4年間の集大成としての卒業制作を完成させます。



つなどさまざまな道に進むことができます。金属工芸を学び磨いた感性を生かし、すでに社会で活躍する多くの卒業生に続き、これから幅広い分野で自己の創造力を社会で発揮することを期待しています。

工房紹介

ジュエリー作品をはじめ、彫金技法による繊細な制作を行う「彫金工房」、金属の絞り加工（塑性加工）を可能にした「鍛金工房」、鉄材の鍛造（熱間加工）を行うことができる「鍛造工房」といった3つの工房を設置しています。隣接する「金属加工室」では、機械による切削加工、曲加工、切断が行える各種大型機械や遠心鋳造機等を設備しさまざまな金属加工を可能にしています。また「鍛金工房」「金属加工室」にはホイスト（2.8tクレーン）も配備され大型作品の制作や移動にも対応しています。



芸術学部 デザイン工芸学科

デザイン工芸領域

染織造形

染織造形に関わる多様な素材や技術を修得し、
現代社会における新たな表現を探究する

●目標

染織は古来より人間の生活において基本的なものであり、生活を豊かにするものとして、身体や暮らしを華やかに彩ってきました。染織の素材である繊維と染料は、他の素材にはない光沢のある美しい色彩と優しい質感と秀でた可変性を併せ持っています。そしてテーマ、構成、色彩、素材、染色技術、織技術が融合した染織芸術が世界各地で創造されてきました。中でも日本の民族衣装である「着物」は他国に類を見ない高い水準に達しました。現在も日本の染織およびテキスタイルデザインやスーパー繊維の開発による新しい繊維造形は、その独特な美意識によって世界から注目されています。本学の染織造形分野では、日本の伝統技術から現代技術までを研究した上で、現代社会においてより重要になっている染織芸術の可能性を素材、技術、知識といった多角的な視野から考え、染織造形の未来を切り開くことを目標としています。



●授業概要

2年次では素材(繊維と染料)に関わる基礎知識を学び、染基礎実習(腸染・捺染)、織基礎実習(綴織・拵織)を通して染織造形の基礎技術を修得します。3年次は浴衣(型染)と浴衣帯(組織織)、染織プロジェクト、テーマ制作を経て、染めと織りの専門性を深め、創作活動を広げます。4年次は各自が卒業制作のテーマについて研究し、卒業作品を完成させ、自己表現の確立を目指します。なお3年間を通して公募展などにも積極的に出品しています。

●卒業後の展望

染織造形分野では、繊維、染色、織物に関わる知識と高度な造形力を体得し、現代社会における国内外の多様な分野で活躍できる人材を育成しています。すでに本分野からテキスタイル、グラフィック、インテリア、ジュエリーなどの各デザイナー、染織造形作家、染織文化保存、教員など幅広い分野で活躍する人材を輩出しています。

工房紹介

染織造形では、染色を行う染色調合室、染の制作を行う染工房、織の制作を行う織工房、デザインを作成するパソコン室、プロジェクトを進める制作室を完備し、日本の芸術大学において最も優れた染織工房の一つとなっています。染色調合室には染料と器具を備え、染工房には各種の防染ができる設備と広い洗い場などを併設し、織工房には京都西陣において特別に製作された綴織機(50cm巾・90cm巾・200cm巾)18台などを設置しています。また、空間造形を制作するための展示設備や植物染料園があります。学部生、大学院生、留学生、社会人講座受講生、教員は、各工房を自由に使用して創作活動を行い、活気のある環境となっています。

芸術学部 デザイン工芸学科

デザイン工芸領域

漆造形

ものづくりの必然性を追究し、
創造性豊かな表現を目指す

●目標

戦後の日本は高度成長により先進国として世界にも認識されてきましたが、合理的な経済を推し進めるなかで価値観の画一化が進行しています。その結果、個々の「心の豊かさ」が軽視され、さまざまな社会問題が生じています。漆造形分野では、9千年以上におよぶ人と漆の関わりや技芸を学ぶことで、自然との共生をコンセプトに指導しています。現在も受け継がれる漆の表現技法は自己を覚醒させ、現代人が失いかけている自然との関わりから「ものづくり」の本質まで、多くのものを導き出してくれます。大学での3年間では学びきれない奥の深い世界ですが、ここでの経験を活かして現代社会に「心の豊かさ」を呼び戻す創造力ある学生を育成します。

●卒業後の展望

作家、保存修復師、デザイナー、漆工関連企業就職者、写真家、高等学校講師、専門学校講師など幅広い分野で活躍する多くの人材を輩出しています。今後もより多くの分野において漆を学んだ学生が活躍することを望んでいます。

工房紹介

漆造形では大学機関として、中国地方唯一となる漆塗り専用の部屋を完備した工房を設置しています。その他共通の木材加工室やプラスチック塗装工房があり、実習や各自制作に応じた多様な加工設備を有しています。特に木材加工室では宮島式轆轤機械を導入し、木材の製材から鋼を鍛造した刃物制作、轆轤加工、漆塗りまでの一貫制作を実習に取り入れるなど本学独自の設備環境と指導を行っています。また、広島漆の植栽や漆採取ができる実験林もあり、「ものづくり」の本質となる素材の知識と経験を深めた創作研究の指導を行います。



ユニークな研究紹介

デザインとアートの狭間で考えてみる

立体造形

講師 藤江 竜太郎

デザインと表すとなんととも使いやすくシンプルなものと思われるだろうか。アートと表すと使い道にとらわれることのない素敵なものと捉えられるだろうか。私は作品を作るとき必ず、どの様な性質のものがこの空間に必要とされているか、どの様なものをこの環境にいつらえたいかという問いから制作イメージを開始します。モノの善し悪しはその形状や機能性のみにあるのではないと考えているからです。

2017年に広島市中心にある地下街、紙屋町シャレオに設置したベンチ「BEYON」は子供やお年寄りにはずいぶん座りにくいものとなっています。しかし、それが悪いデザインだとは考えていません。このベンチは若者が軽く腰をかける様にデザインしています。またシャレオの雰囲気を壊さない様に、空間を軽やかに演出するための造形と配置に気を配ったアート作品としての一面を同時に持たせています。



広島漆の復興から 新たな文化を生み出す

漆造形

教授 大塚 智嗣

広島では「漆」と聞いてさまざまな商品や芸術作品をすぐに思い描く人は少ないでしょう。まして本物の漆碗で毎日食事をするような事も…。しかし広島においても京都や金沢に匹敵する、またそれ以上の漆産業、文化が発展していたことが多くの史料や今も残る諸職、産業より推測することが出来ます。これら現在失われつつある多くの伝統産業のなかでも漆は9000年前から利用され、日本の文化に多大な影響を及ぼしてきました。漆造形分野ではかつて生産が行われていた「広島産漆樹」を

育成から漆液の採取まで行い、さらに地元宮島の伝統産業である宮島轆轤(ろくろ)の技術習得をしながら器などの素地制作、そして最終的には漆塗りから蒔絵や螺鈿などの加飾技法まで施した一貫制作を行います。これら地元の産業と結びつきながら実体験をする事で自然の恩恵を受けて生きて来た人と自然との関わりや、「もの」を育て形にすることの難しさを感じながら、創造豊かな新しい「漆文化」が生まれることを願い、実践しています。



「日本画制作の現場」展

日本画専攻

准教授 荒木 亨子

日本画専攻では、「日本画制作の現場」と題し、第一線で活躍する日本画家を招き展覧会を開催しています。この展覧会は、作品だけでなく構想段階でのスケッチやエスキースもあわせて展示し、作品ができあがるプロセスも紹介しています。完成作品とは異なり、本来見せることを前提としないスケッチやデッサンには、作家の衝動や眼差しがそのまま表れます。エスキースや小下図では、修正や検討の痕跡から作家の意図やこだわりが垣間見えます。制作過程をあわせて展示することで“創作”について考えるきっかけになるのではと考えます。

2018年度は「菅原健彦展」を開催しました。7mを超える巨大な風景作品は、目の景色を体感させる臨場感にあふれています。展覧会場に入り切らず部分展示となった板に金箔地の「雲龍図」などスケールの大きな日本画作品とともに数十点におよぶデッサンやスケッチも合わせて展示されました。



ヒロシマだからこそできる映像表現

映像メディア造形

教授 笠原 浩

NHK広島放送局で制作されている夏の特別番組に『ヒバクシャからの手紙』があります。これはNHKに寄せられた被爆体験記を基に、さまざまな思いを映像化し幅広い世代に伝えるプロジェクトです。ここ数年、映像メディア造形分野では、このプロジェクトにアニメーションコンテンツ制作として参加しています。

広島で映像を学ぶ学生たちにとって、この地域の抱えた歴史的テーマを題材に映像制作に携わり、エリア放送はもとより全国、全世界にTV放送されるコンテンツ制作の機会を得られることは非常に光栄であり有意義なことと考えます。

大学で学んだスキルを活かして、実践的な制作現場を体験するだけでなく、その制作プロセスの中で表現する意味、伝えることの意義を考えながら、教育の一環としてこのプロジェクトに取り組んでいます。





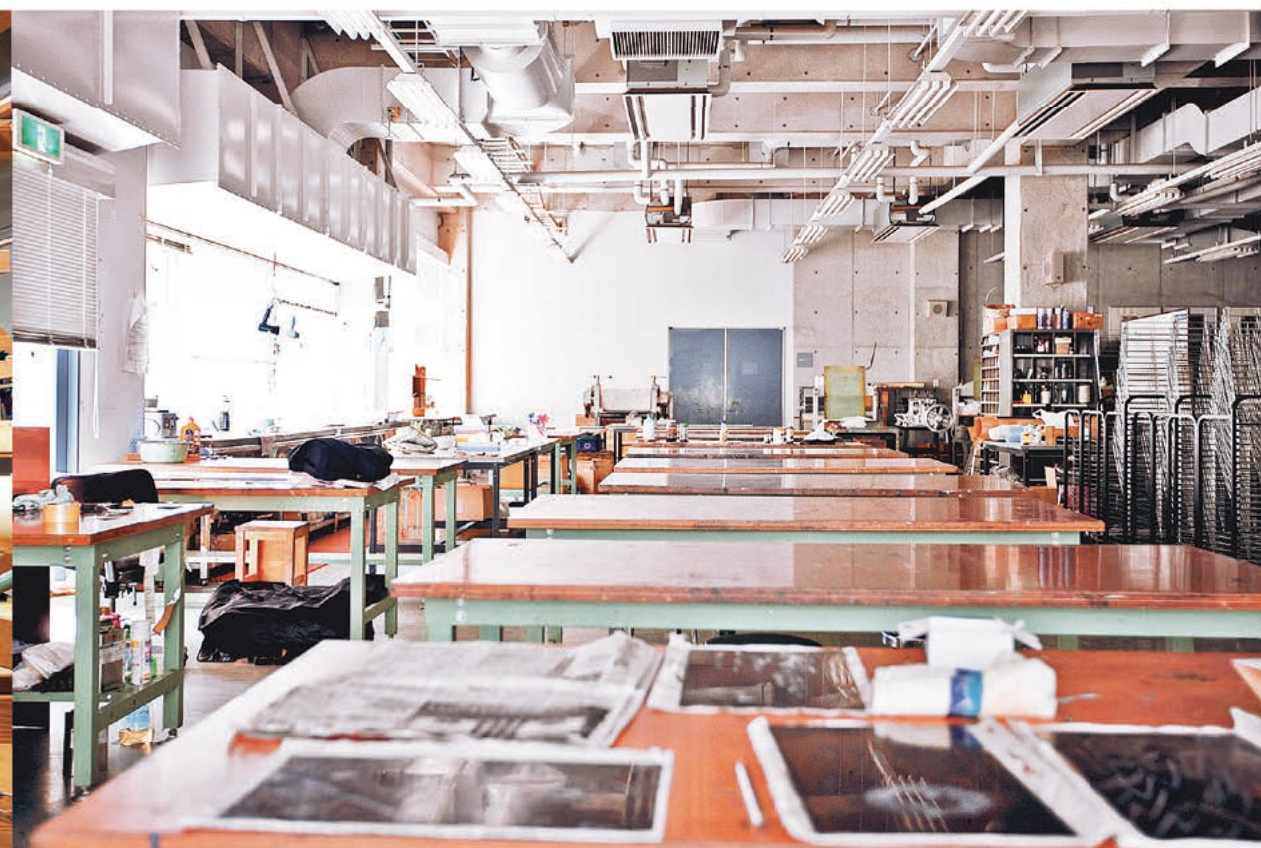
創作工房

- 石彫工房 ● テラコッタ窯場 ● プラスチック塗装工房 ● 漆工房 ● 石膏デッサン室 ● CA+Tラボラトリー
- 木彫工房 ● 鍛金・鍛造工房 ● 織工房 ● 版画工房 ● 金属加工室 ● VCデザインスタジオ
- 金属工房 ● 彫金工房 ● 染工房 ● フレスコ室 ● 木材加工室 ● 2Dプリントルーム

- 3Dスタジオ ● アニメーションワークスタジオ ● アートシアター
- 3Dプリントルーム ● コンピュータールーム
- メディアワークスタジオ ● フォトスタジオ

実習アトリエ

- 日本画アトリエ ● デザイン工芸実習室
- 油絵アトリエ
- 彫刻アトリエ





芸術学部 美術学科 彫刻専攻 4年
三松 拓真
大阪府立港南造形高等学校出身

描いた思いが形になる喜び。数々のプロジェクトでの経験を生かし、ずっと創作を続けたい

市大の彫刻専攻は広い視野を持っている教授陣が多いと感じたので、自分の可能性を広げるためにここで教わりたいと思いました。今は主に木彫やテラコッタなどの作品を作りドローイングも手がけています。彫刻はさまざまな素材に触れられる点が面白く、自分が思い描いた作品が立体として空間の中に存在することにやりがいを感じます。アートプロジェクトにも積極的に参加し、野外で作品を制作し設置するといった経験は大変勉強になりました。中でもお手伝いとして参加した瀬戸内国際芸術祭は心に

残っています。市大にはさまざまな分野にわたりプロの作家がいるので、多様な意見やアドバイスをもらえますし、工房も充実していて自由に制作できる環境が魅力です。大学で常時制作に勤むようになってから、自分が何をしたいのか、どのように作品を作るのかをしっかりと考えるようになり、成長を実感しています。大学で学んだことや数々のプロジェクトで得たことを制作に生かし、これからもずっと作品を作り続けたいですね。皆さんも自分の好きなことを続ける方法を考えて、夢をかなえてください。



芸術学部 デザイン工芸学科 染織造形 4年
浅岡 知里
愛媛県立松山南高等学校砥部分校出身

右上:制作した浴衣と帯 右下:振袖の制作の様子

学びをさらに発展し共有する楽しみ。展示会で声を聞き、交流を深め、さらなる高みへ

デザイン工芸学科は1年次に全分野の課題を体験した上で分野を決められるので、入学時には何について研究したいか明確でなくても、課題を通して常に自分の進路と向き合うことができるのが魅力。私は大学の課題プラスαで自主制作やグループ展に取り組み、大学生活で得た学びを発展させ共有することに楽しみを見いだしています。特に展覧会に参加することは大事だと思っていて、心に残っているのは、東京ビッグサイトで開催された「NIF／YOUNG TEXTILE 2019」への出展です。全国24の染織を学ぶ

大学から1点ずつ作品を出展できるもので、ギャラリートークや数日間の在廊を通して、他大学で染織作品を制作している学生と交流できた貴重な機会となりました。国内最大級の国際インテリア見本市のワンブースで開かれるので、企業が発表するホームファッションの最新作に触れることもでき、将来を考えるきっかけにもなりました。ここで出会った学生とは今でも互いに作品を見せ合う関係で、モチベーションを高め合っています。皆さんが市大に入学し、共に高め合える日を楽しみにしています！

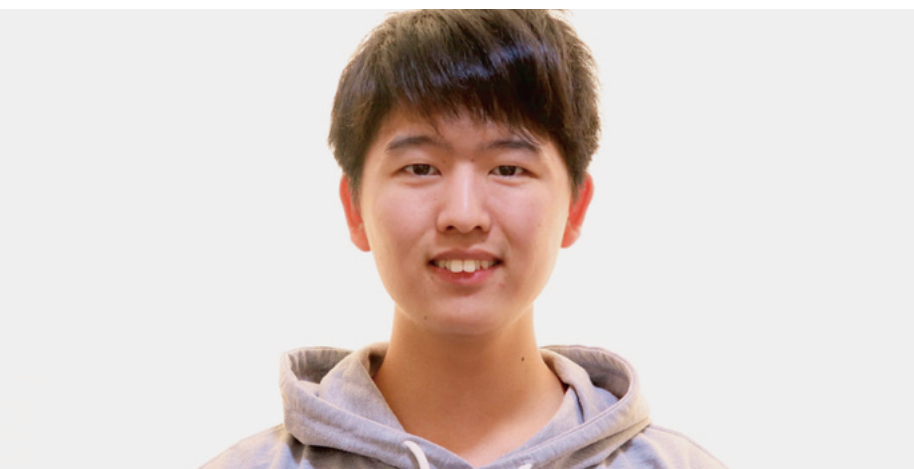


芸術学部 美術学科 油絵専攻 2年
川崎 もも
岡山県立総社南高等学校出身

仲間に刺激され、先生に救われながら、自分の強みを見つけ、ここからできることを楽しむ

高校の先生や先輩の出身校ということもあり市大の話を聞く機会が多く、自分が学びたいことを教えてくれる大学かもしれないと興味を持ちました。さらにオープンキャンパスやサマースクールなどの公開講座を受け教授陣と話うちに、この大学に通いたい、ここで学びたいと強く思いました。大学生活では日々周りに刺激されることが多く、それに面白味を感じます。技量の差を強く感じることもありますが、自分なりの解釈や強みを見つける良いチャンスと考えるようにしています。心に残っているの

は、同専攻の先生や先輩と企画したワークショップ。子どもたちと一緒にアートと触れ合うというもので、とても楽しく過ごすことができ良い経験になりました。こういった経験をすることで将来、自分が本気で取り組みたいと思うものを見つけるヒントを得られるのではないかと思います。自分がやりたい！と思ったことは案外どこの大学でもできるかもしれません。しかし、その大学にしかない、その大学でしかできないことや魅力を見つけることが大事だと思います。



芸術学部 デザイン工芸学科
映像メディア造形 3年
原 彰吾
岡山県立岡山工業高等学校出身

心ときめく出会いに満ちた毎日。まずはチャレンジ！自分の可能性に全力でぶつかってみよう

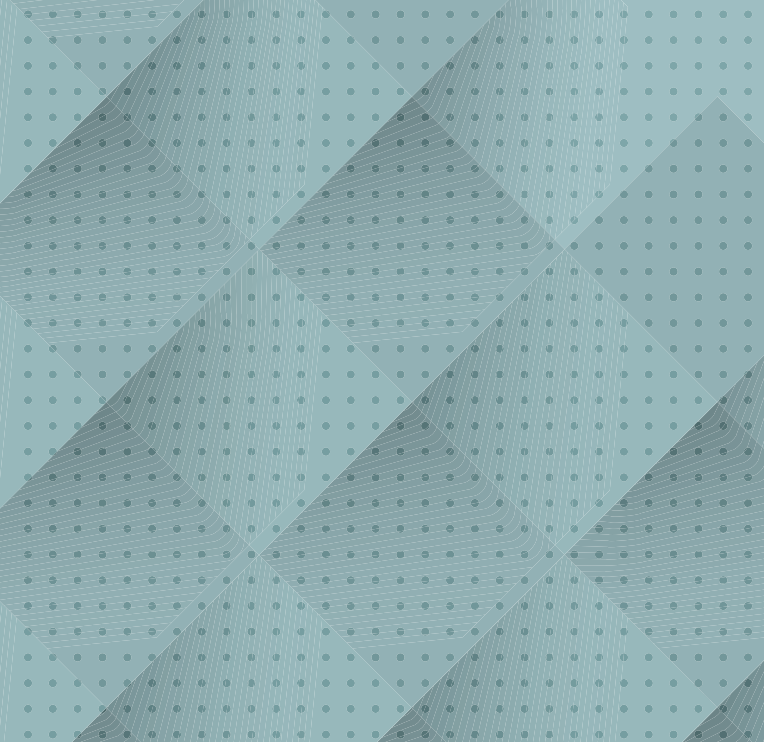
アニメーション制作が好きで、映像という表現媒体を通じてもっと突き詰めて勉強したいと思い、自由に映像表現が学べる環境が整っている市大を志望しました。仲間から刺激を受け、今までできなかったことができると本当に楽しいです。心がけているのは、目標を立て、少しでも将来に生きると思えば一度は挑戦してみる。大学の取り組み「知のトライアスロン」を活用して図書や映画、美術作品に親しむのも、学びをより豊かにする工夫です。その成果が「知の鉄人」として表彰され、学長対談という貴重

な経験もできました。カナダでの留学生活も大変印象に残っています。いろいろな国の人と文化や考え方を共有し、クリエイティビティーやモチベーションを維持するきっかけになりました。大学や学生のレベルが高く、家族のような仲間と学ぶことができ、3カ月という短期間でしが非常に有意義でした。「とりあえず一度はやってみる」だけで、大学生活はきっと楽しいものになるはず。まずはできるところまで自分でやってみましょう。信頼と感謝の気持ちさえあれば、必ず先生や仲間が協力してくれます。



大学院・広島平和研究所

Graduate Schools・Hiroshima Peace Institute



大学院

Graduate Schools

大学院の目的と特色

■大学院の目的

- ① 高度な学術知識や能力を修得した研究者および専門職業人の育成
- ② 21世紀の地球社会の多種多様な課題を発見、解明、解決するとともに、世界平和の構築に貢献する人材の育成
- ③ 最先端の学問領域を究め、社会の多様性と変化に即応しうる知性と感性と創造性を併せ持つ人材の育成
- ④ 地域と連携し社会に開かれた教育・研究の推進によって、多様化する地域社会の充実と発展に貢献する人材の育成
- ⑤ 高度な学際的関心と旺盛な知的好奇心を持ち、専門的学術研究を志向する社会人のための生涯学習の支援

■教育・研究の特色

1

高度な専門的教育・研究

- 専門領域諸分野についての最新の研究成果と研究手法を取り入れた教育・研究を行います。
- 最新の学術情報に接するとともに、学問の深奥に触れ、活発な問題意識を育む教育・研究を行います。

2

高度な専門教育に相応した学際的教育・研究

- 高度な専門性を維持しながら、既存の縦割りの専門分野や研究領域を超えた、広範な横断的視野からの学際的な教育・研究を行います。
- 物事を広範な視野から考察し、総合的視点からの判断力と理解力を養う教育・研究を行います。

3

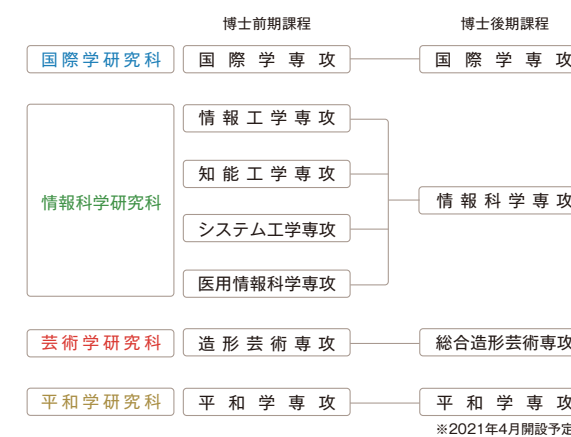
論理性、創造性、独創性を涵養する教育・研究

- 論理的な思考力を養い、幅広い学識と豊かな人間性を育む教育・研究を行います。
- 研究意欲を高め、高度な専門的学術知識の修得を目指すとともに、創造性と独創性を涵養する教育・研究を積極的に進めます。

■大学院組織図

自己の研究をより深め、 視野・思考の幅を広げる大学院の研究

最先端の学問領域を究め、知性と感性と創造性を研ぐための学問の場である広島市立大学大学院。4つの研究科のそれぞれが、専門分野の高度な研究につながる授業科目群を設置するとともに、学際的な知識を修得して調和のとれた人間形成を図る科目群「21世紀の人間と社会」を開設。社会の指導的役割を果たす能力と人間力を育てていきます。



全研究科共通科目群

学際的な視野から、明日の地球社会を見つめる

全研究科共通の選択必修科目群「21世紀の人間と社会」は、人文科学、社会科学、自然科学、芸術学など、既存の縦割りによる学問領域を超えて、より広範な学際的領域で編成されています。これらの科目群を通してさまざまな分野の本質に触れることで、学問研究に対する調和のとれた思考と柔軟な批判精神を養うと

■開設授業科目

<p>◎国際関係と平和</p> <p>特任教授 吉川 元</p> <p>20世紀初頭から今日に至るまでの国際平和と国際安全保障の実現に向けた国際社会の取り組みについて講義します。難民は7000万人(国内避難民を含む)を超え、世界各地で自由化は後退し、民主化も滞っています。東アジアの国際関係は過去、最も緊張しています。世界はどれだけ平和になったのでしょうか。どれだけ安全になったのでしょうか。国際社会の平和への取り組み、および安全保障政策とその諸問題の分析を通して、今日の平和と安全保障の危機の構造を探ります。</p>	<p>◎日本論</p> <p>准教授 山口 えり</p> <p>グローバル化が進む現在、これまでの「日本」のあり方を検討することによって、これから生きていくための知見を探っていきます。諸外国のさまざまな文物を柔軟に取り入れて、日本独自の文化へと発展させてきた日本の思考について学びます。2020年度は特に「疫病」をめぐる心性に着目します。</p>
<p>◎HIROSHIMA and the Nuclear Age(ヒロシマと核の時代)</p> <p>教授 ロバート・ジェイコブズ</p> <p>核兵器開発、ヒロシマ・ナガサキでの使用、冷戦中の核実験など、さまざまな観点から核の歴史について学び、核兵器問題について考察します。特に、核実験と植民地主義の関係性や放射線被曝の影響などを取り上げ、冷戦終結後から21世紀にまで続く核の脅威について学びます。</p>	<p>◎人間論A(人文・社会科学)</p> <p>教授 柿木 伸之</p> <p>人間とは何か。この問いは、ヨーロッパ思想史において中心的な問題であり続け、「人間らしさ」の実現は、文明発展の目標とされてきました。しかし、文明の発展史において想定されてきた「人間」像が歴史的に作られたもので、その歴史が「人間らしさ」とされてきたものを破壊し、人間の生命を脅かしてきたことを忘れることはできません。本講義では、ヨーロッパ思想史の中で「人間」がどのように捉えられてきたかを検討し、人間とは何かを探っていきます。</p>
<p>◎道具論</p> <p>教授 吉田 幸弘 ほか</p> <p>広島から、道具がどのような存在であるかを論じます。道具存在論、道具が開く文明と文化の歴史、過去と現在、未来論、形態と機能、美意識の国際比較、美術、工芸とインダストリアルデザインとの違いなど、道具を使う立場、つくる立場、考える立場、商う立場にとっての道具のありようの見方を論じます。</p>	<p>◎科学技術と倫理</p> <p>非常勤講師 八重樫 徹</p> <p>倫理学の基本を学んだ上で、市民として科学技術とどう付き合っていくのかに重点を置きながら、科学技術にまつわる現代のさまざまな倫理的問題を考えます。</p>
<p>◎人間論B(自然科学)</p> <p>非常勤講師 戸田山 和久</p> <p>人間の大きな特徴は「心」を持っていることだといわれてきました。一方で、人間は動物であり、さらに究極的には物質にすぎません。こうした唯物論的な見方に立った上で、人間の心をどのように捉えていけばよいのか、心の科学と心の哲学の交差する領域の問題を考えていきます。</p>	<p>◎都市論</p> <p>教授 吉田 幸弘 ほか</p> <p>グローバル化やマルチメディア技術の普及とともに、都市はますます不可視となってきました。機械化、ネットワーク化する都市は、他方で生命体としての人間のエコロジー回帰を促してもいます。そもそも都市とは何だったのか、歴史の原点に遡り、かつ、未来都市を構想しつつ、また、視野を広く地球規模に広げて、世界に知られる都市広島においてこそ論じなければならない、21世紀の都市像とそのデザイン方法について実践事例や現地見学を含めて講じます。</p>
<p>◎情報と社会</p> <p>非常勤講師 神野 新 ほか</p> <p>情報通信技術(ICT)の急速な進化は、電気通信や放送の枠を大きく超えた社会経済全体に波及しつつあります。すなわち、コンピュータおよびネットワークシステムが重要な社会インフラとなり、私たちの日々の生活や社会情勢、企業活動を大きく変革しつつあります。本講義ではICTの発展を俯瞰した上で、社会、経済、消費者、および企業行動、国際関係等与える影響と問題を把握し、今後、どのように対処すればよいかを検討します。</p>	

大学院での教育・研究

国際学研究科

国際学研究科(大学院)では、高度な研究を発展させる、あるいは実務的に活躍するためのスキルを磨くことができます。博士前期課程(2年間)と、博士後期課程(3年間)があります。国際学研究科の基本理念は、深い学識と広い視野に基づいて、専門的な立場から国際社会や地域社会に貢献できる能力や技能を育成することです。国際関係、公共政策、経営政策、社会文化、言

語文化等に関わる課題の分析・研究を通じて、国際社会とそれを構成するさまざまなコミュニティが直面している問題点や課題を自ら発見し解決できる実践的な人材の養成と、独自性の高い研究や諸活動に携わることのできる教育者・研究者・実務者の養成を目指しています。

■博士前期課程

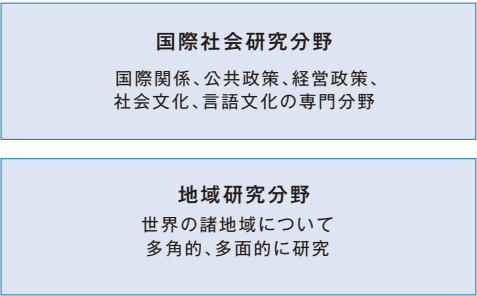
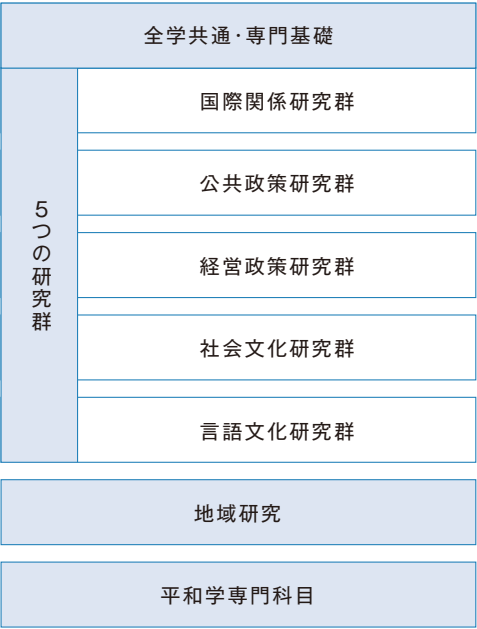
全研究科共通科目、専門基礎科目、専門科目を学んだ上で、修士論文または課題報告書を提出し審査に合格すれば、修士(国際学、学術、または平和学)の学位が授与されます。専門科目は次の5研究群および地域研究と平和学科目で構成されています。

国際関係研究群: 国家、国際組織、市民や非政府組織などの相互関係を、世界各地域の国際関係史や政治外交史等を通じて歴史的・理論的に学ぶ。公共政策研究群: 経済・社会のさまざまな課題と、公的組織や企業等の役割・機能・関連政策について理論的・実践的に学び、実践する能力を養う。経営政策研究群: グローバル社会の企業経営について、経営学を通じて理論的・実践的に学び、長期的・多角的視野をもち実践する能力を養う。社会文化研究群: 複雑化・多様化する社会と文化のさまざまな面について、歴史学、社会学、文化人類学、哲学など通じて歴史的・理論的に学ぶ。言語文化研究群: 言語と文化に関わるさまざまな課題と人々の社会的営みに果たす役割について、専門的な理論や方法に基づき学ぶ。

地域研究では、既存の学問、またはそれを横断する視点から地域を観察します。このほか平和学専門科目として、平和を学ぶためのコア科目やピース・インターンシップなども用意されています。

■博士後期課程

さらに専門性が高い教育、指導を受けながら研究を進めます。所定の学修を終えて、博士学位論文を提出して審査に合格すれば、博士(国際学、学術または平和学)の学位が授与されます。教育課程は、政治、経済、文化の基本的枠組みの上に「国際社会研究分野」と「地域研究分野」の二つの研究分野で編成されています。「国際社会研究分野」ではグローバル化時代において国際社会と多様なコミュニティが抱える諸課題を各専門分野の理論や方法により研究し、「地域研究分野」では日本をはじめ世界各地域を対象として政治・経済・文化・言語などについて多面的に研究を深めます。



情報科学研究科

情報科学研究科は、21世紀の「情報技術」の先端的専門分野・情報科学と諸学問との学際分野において柔軟な発想と開発力で貢献する人材養成が目標です。そのために、創造性、自立性を養う

自主プロジェクト演習など、科学技術の高度化と多様化に対応したカリキュラムを編成しています。情報科学研究科における人材育成の目標は以下の4つです。

1 コンピュータおよびネットワークについて深く、 広い知識を身に付けるとともに、 コンピュータとネットワークの両者が融合した 新たな情報環境の創出を担える人材	2 知能ソフトウェアや知能メディアに基づいた 高度な知的情報システムの 研究開発能力を持った人材
3 広範な価値観のもとでシステム全体の 高機能化と協調を図る広い視野を持った 研究開発能力を身に付けた人材	4 分野間研究に横断的に取り組み、 柔軟に境界領域、応用領域を開拓する 問題発見・解決型能力を持った人材

■博士前期課程

情報工学専攻、知能工学専攻、システム工学専攻、医用情報科学専攻の4つの専攻からなり、①コンピュータとネットワークの要素技術の研究とその応用、そして次世代のコンピュータとネットワークを創生する能力、②知識基盤社会におけるさまざまな形態のコミュニケーションに対応する知識情報処理を理解し、それをシステム化する能力、③人間、コンピュータ、機械が有機的に結合した人にやさしい高機能システムの開発・実現能力、④さまざまな分野間の研究に横断的に取り組み、柔軟に境界領域、応用領域を開拓できる問題発見・解決型能力、⑤自主プロジェクト演習を通し、自ら独創的研究を計画推進できる実践能力を養うとともに、独立して専門的ないし学際的研究を行える総合的な分析力、企画力、判断力さらに国際的視野を身に付けた人材を養成します。
全研究科共通科目、専門基礎科目などを学んだ上で修士論文を作成し、それが認められれば修士(情報工学または情報科学)の学位を取得できます。

■博士後期課程

情報工学系、知能情報科学系、システム科学系、医用情報科学系の4つの系から構成され、以下のような教育・研究を行っています。
●情報工学系:次世代の情報科学の技術的基礎となるハードウェア・ソフトウェア開発やネットワーク工学の教育・研究
●知能情報科学系:人間の知的活動の原理を解明し、情報処理の高度知能化や人間とコンピュータの協調を目指した教育・研究
●システム科学系:複雑化・巨大化するコンピュータシステムの統合技術や計測・制御技術の専門的分野の教育・研究
●医用情報科学系:情報科学および医用生体工学に関連する学際融合分野における専門的教育・研究
前期課程と同様に所定の科目の単位を修得し博士論文が認められれば、博士(情報工学または情報科学)の学位が授与されます。

芸術学研究科

芸術学研究科は、高度な文化芸術の創造・発展に貢献することを理念とし、美術、デザイン、工芸に関する卓越した創作・研究能力を培い、地域文化振興と国際文化交流において指導的な役割を

果たす、理論を踏まえた高度な専門性を有する人材を養成することを目的としています。芸術学研究科は、人材育成の目的を達成するため、次のような特色を持った教育・研究を行っています。

1 古典研究を重視しつつ現代の視点に立って、伝統的な文化芸術を継承・発展・創造する専門の人材を育成する教育・研究を行っています。	2 新しい素材や技法への研さんを深め、電子メディア社会に即した先端表現を推進する教育・研究を行っています。
3 現代社会に対応する芸術領域の研究として、創作への深い理解に基づいた理論や歴史の教育・研究を行っています。	4 理論の習熟を基にした創作を探究し、創造表現およびその応用に必要な高度な技術と理論の教育・研究を行っています。
5 地域文化振興と国際文化交流等、社会における文化芸術の振興において指導的な役割を果たすことのできる人材を育成する教育・研究を行っています。	

■博士前期課程

博士前期課程では、美術、デザイン、工芸に関する幅広い知識と高度な技術、深い感性を体得させ、その基礎となる豊かな学識を養うことにより、将来、作家、デザイナー、教育者、研究者、学芸員(キュレーター)、ギャラリストなどの領域において指導的な役割を果たすことができる、幅広い視野と高度な表現力を持った人間性豊かな専門家を養成することを目標としています。

■博士後期課程

博士後期課程では、芸術に関する高度な創造・表現の技術と理論を研究し、芸術文化に関する幅広い識見を有する芸術家および研究者を育成します。他領域との融合を重視し、学際的な識見を持ち、円満な人格と豊かな人間性に貫かれ、併せて時代に対応する創造性豊かで国際的視野を有する人材を養成することを目的としています。

平和学研究科 平和学専攻

人類史上最初の被爆地である広島の地に設立された総合大学として、1998年4月に附置研究機関である広島平和研究所を設置し、核兵器の廃絶に向けた学術研究を進めるとともに、世界平和の創造・維持、地域社会の発展に貢献することを目指して、平和に関する学術研究に取り組んでいます。

2019年4月に開設した平和学研究科は、平和学をはじめ国際政治学、国際法学、国際関係論等に関連する専門領域の分析手法を修得し、その上で、現実の諸問題を専門的かつ総合的に分析する能力を有するプロフェッショナルな人材を養成することにより、平和創造および平和維持に貢献することを目的としています。

研究科の概要

養成する人材像

- ① 国際関係の仕組み、および政治・ガヴァナンスの基本構造と人間の安全保障との関連を洞察できる能力を持ち、同時に、紛争予防と紛争解決に向けた有効な予防措置を考案できる研究者
- ② 平和創造および平和構築に向けた国際公共政策の立案・策定に貢献できる国際公務員、国際NGO・NPOの職員、および公共政策・国際関係の実務に携わる国家公務員・地方公務員
- ③ 今日の国際紛争およびグローバル問題などさまざまな事象を鋭くかつ科学的に分析する手法を修得し、市民社会や国際社会に向けて平和創造の視点から発信する力を有するジャーナリストおよびマスメディア専門家

- 取得できる学位：修士(平和学)
- 修業年限：2年
- 入学定員：10名

カリキュラムの特色

本研究科開設科目は、核戦争の脅威と悲惨さを学び、その上で、戦争と平和の歴史、およびこれまで人類が構築してきた平和創造の手法を修得することを目指します。これらを系統的に修得するため、開講科目を「研究基礎科目」、「平和の理論」および「グローバル／リージョナル・ガヴァナンス」の3つの科目区分で構成し、それぞれの科目区分をさらに小さな科目群に区分しています。

研究基礎科目

「分析・接近法」では現代社会の基本的な分析手法を学び、「広島と核」ではヒロシマの歴史と使命に基づき、被爆体験を軸としながら核の脅威を学びます。

科目区分	科目群	授業科目の名称
研究基礎科目	分析・接近法 (5科目)	平和学、グローバル・ガヴァナンス論、現代社会と平和、現代国際法と平和、日本国憲法と平和主義
	広島と核 (5科目)	核と歴史Ⅰ、核と歴史Ⅱ、被爆の記憶、核文化論、グローバル・ヒバクシャ

平和の理論

国際政治学や国際法学を中心とした平和理論の関連科目から構成され、基本的アプローチとともに、グローバル化時代の諸問題の解決に有効な分析アプローチを学びます。

科目区分	科目群	授業科目の名称
平和の理論	平和と軍縮 (4科目)	軍縮国際法、核軍縮と核軍備管理、国際人道法、科学と平和
	平和の創造 (6科目)	戦争裁判と国際刑事裁判、安全保障論、平和構築論、グローバル・コミュニケーション論、ジャーナリズム論、平和思想と平和運動

グローバル／リージョナル・ガヴァナンス

アジア、特に東アジア地域研究の関連科目を中心とした科目から構成され、現代アジアの国際関係の構造および政治・ガヴァナンスの基本構造と人間の安全保障との関連を洞察することができる視座と分析能力を養います。

科目区分	科目群	授業科目の名称
グローバル／リージョナル・ガヴァナンス	地域と平和 (6科目)	東南アジアの紛争と協力、韓国・北朝鮮外交と核問題、現代中国の政治と外交、現代中央アジアの政治と外交、日本の近現代史、日本の平和・安全保障政策
	国際機構と平和 (5科目)	国連論、国際組織と国際制度、地域機構と平和・安全保障、予防外交論、国際環境論



※2021年4月に博士後期課程を開設予定です。これにより、博士(平和学)の学位まで取得可能になります。

広島平和研究所

Hiroshima Peace Institute



広島平和研究所長 大芝 亮

広島平和研究所は、人類史上最初の核兵器による被爆を体験した都市としての歴史を背景に、公立大学法人広島市立大学の附置研究機関として、1998年4月に設置されました。

戦争はなぜ今も繰り返され、なにゆえに核兵器は廃絶されないのでしょうか。平和とはいかなるものなのでしょうか、またどうすれば平和な世界を創ることができるのでしょうか。広島平和研究所は、被爆地・広島における学術研究機関として、これらの課題の分析・考察に取り組み、国際平和文化都市・広島の「知」の拠点としての役割を担います。

本研究所は今年で設立後23年目となり、すでに3期目(1期10年)に入りました。本研究所および広島の市民によるこれまでの成果・取り組みをいっそう発展させるとともに、これらを確実に内外の次世代に伝えていくことが必要です。本研究所は、そのための一つの方法は、これまでの成果・取り組みを学問として体系化していくことにありと考へ、被爆体験に基づく「広島・日本発の平和学」を作ることを目指します。そして、さまざまな機関や人々と連携して、市民、そして世界への情報発信を展開します。

2019年度、立ち上げた大学院・平和学研究科において、平和の創造に貢献する人材育成に引き続き取り組んでいきます。教育への参画を通じて、研究所のメンバーもまた学んでいきます。

●国際平和文化都市・広島の「知」の拠点

人類史上最初の核兵器による被爆を体験した「広島」の地に生まれた総合大学として、本学では、世界平和の創造・維持、地域社会の発展に貢献することを目指し、附置研究機関である広島平和研究所を設置しました。平和に関する学術研究を通じて、核兵器の廃絶に向けての役割を担うとともに、世界平和の創造に取り組んでいます。

●市民、そして世界への情報発信

広島平和研究所の活動状況は、随時ウェブサイトやニュースレターなどにより世界に向けて情報発信しています。研究成果は、「国際シンポジウム」や「研究フォーラム」および「連続市民講座」等の開催や、紀要『広島平和研究』、『広島平和研究所ブックレット』等の出版物、論文などにより市民に広く公開しています。

●教育への参画

大学院・平和学研究科の教育を担当するとともに、学部教育では、「平和研究Ⅰ/Ⅱ」、「広島・長崎講座」として開講している「平和と人権A(ヒロシマと国際平和)」、「広島からの平和学:実践の方法」、「平和インターンシップ」、「国際化時代の平和」、夏期集中講座「HIROSHIMA and PEACE」、そして「歴史学」、「法学(日本国憲法)」の各講義を研究所教員が担当しています。



学部担当科目紹介

◎平和インターンシップ

広島市周辺に存在する資料館、美術館、広島城をはじめ、平和や戦争、原爆被爆などについて学べる施設、史跡等に足を運び、実際に見学しながら専門家から講義を受けることで、平和に関する問題を多角的に学びます。本インターンシップはもともと前期集中講義「広島からの平和学:実践の方法」の後期日程として実施していましたが、2018年度からは両科目の実施時期(前期と後期)を入れ替え、内容も大幅に新しくなりました。

◎広島からの平和学:実践の方法

広島における平和の取り組みは、被爆体験を出発点としつつ、世界の多様な課題にも目を向けてきました。本講義は、広島の平和の取り組みに関心を持つ1、2年次を対象とし、広島の経験を生かして平和活動を実践するための具体的な方法論を学ぶことを目的としています。広島平和文化センター主催の市民向け平和講座「ヒロシマ・ピースフォーラム」と連携し、被爆体験の継承や平和の実践活動を行っている学外の専門家から学びます。最終レポートでは、自ら参加可能な実践活動案に関する提言をまとめます。

◎平和研究Ⅰ/Ⅱ

広島平和研究所教員による国際学部向けのオムニバス形式の講義です。[Ⅰ]では、現代の世界において平和を創造するために何が求められているのかを学問的に追究するために、平和研究に関する基本的な概念や枠組み、方法論を修得するとともに、当分野における問題点、課題などを学びます。広島・長崎をはじめとして戦争体験に根差している地域の視点を主眼に据えつつ、国家から個人に至るさまざまなレベルから平和を創造するためのアプローチを考察していきます。[Ⅱ]では、平和および紛争研究の具体的な事例について、広島平和研究所各教員の研究成果を参考にしながら学び、現代の国際社会が直面する課題について考えます。



附属施設

Facilities

附属施設

Facilities



附属図書館

附属図書館長 塩田 芳文(特任教授)

図書約34万冊、雑誌約400誌、視聴覚資料約1,700タイトルをコンピュータで集中管理。必要な所蔵資料をスピーディーに手に入れることができます。館内には無線LAN環境が整備されており、Web情報や所蔵資料を活用しながら学習することもできます。また、ラーニング・commons「いちコモ」では、ディスカッションもでき、多様な学習や交流に役立つ場となっています。地域にも開放された、多彩な空間を持つ図書館です。



窓口対応の様子

国際交流推進センター

国際交流推進センター長 松本 良徳(特任教授)

学生の海外留学派遣および留学生受け入れに関わる企画・広報・実施・相談などのサービスの提供に加え、国際化の面から大学の教育や研究の活性化を広範にサポートする活動に取り組んでいます。また、グローバル人材育成に向けても、熱意のある学生を親身に応援する体制を充実させ、将来を切り拓いていこうとする学生を後押ししていきます。



窓口対応の様子

キャリアセンター

キャリアセンター長 西 正博(情報科学研究科教授)

学生自らがキャリア(進路)について考え行動できるように、求人情報などの就職関連情報を随時提供することに加え、就職支援セミナーの実施や企業の採用担当者を多数招く「大学説明会」の開催など、さまざまな支援を行っています。また、経験豊富なキャリアアドバイザーが常駐しており、随時個別相談に応じ、模擬面接やエントリーシートの添削を行うなど、一人ひとりに合わせてきめ細かく丁寧に支援しています。

語学センター

語学センター長 李 在鎬(国際学部教授)

各教室にCALL(コンピュータ支援による言語学習)システムを備え、英語や第二外国語の授業が行われるとともに、eラーニングを利用した自学習型英語授業「CALL英語集中」や「eラーニング英語」の教室としても利用されています。自習室では、約4,750点の視聴覚教材や各種語学雑誌、NHK語学講座のテキストやCDが利用可能です。語学センター入口のランゲージラウンジは、ホワイトボードやソファを備え、リラックスした雰囲気の中で留学生と母国語を教えあったり会話練習をする「ランゲージチューター」プログラムも行われています。



情報処理センター 情報処理センター長 藤坂 尚登(情報科学研究科教授)

高性能なネットワーク通信機器を備え、さまざまなネットワークサービスを提供しています。実習室にはパソコンを約160台設置し、「一般情報処理科目」等の教室や自習スペースとして活用されています。教育環境は仮想化されており、自宅のパソコンや学内の貸出パソコンなど実習室以外でも実習室内と同じ環境が利用できます。実習室以外では、学内のあちこちでメールやWeb閲覧ができる無線LAN、休講・補講情報が確認できるデジタルサイネージ、他大学の講義が受講可能となる遠隔教育設備も整備しています。



芸術資料館

芸術資料館長 南 昌伸(芸術学部教授)

教育・研究のための参考資料として、平山郁夫、野田弘志、淀井敏夫、イサム・ノグチほか、国内外の作家の作品を収蔵しています。また、研究成果としての作品群「光の肖像」シリーズ、デザイナーズチェア約70点など、幅広い分野の収集を行っています。企画展や研究発表展の開催、国内外の美術館への作品貸出により、コレクションを一般に公開しています。学生は授業や展覧会でこれらの作品を鑑賞することにより自らの制作に生かし、創作の水準を上げるよう努力しています。

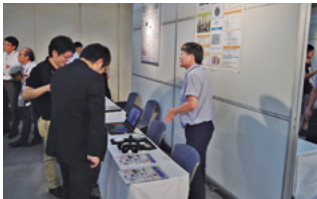




県立広島大学・広島市立大学連携公開講座

社会連携センター 社会連携センター長 竹澤 寿幸（情報科学研究科教授）

広島市立大学では、教育や研究だけでなく社会貢献にも積極的に取り組んでいます。その対象は、地域住民、地元企業、広島市をはじめとする行政機関などさまざまです。「社会連携センター」は、大学と社会、人と人をつなぎ、国際、情報科学、芸術、平和のそれぞれの分野で活躍する教員の研究成果を社会に還元する取り組みや、学生の社会貢献活動の支援を行っています。



産学連携研究発表会



地域貢献事業発表会

◎社会連携センターが支援する産学連携・地域連携の取り組み事例

研究成果の
産業界への還元

研究成果の社会還元を推進するため、企業等と連携した共同研究や技術相談を実施しています。

- 産学連携研究発表会
- 共同研究・受託研究の促進
- 企業等からの技術相談

地域連携の推進

地域住民や広島市等と協力しながら地域の活性化を目指します。

- 行政課題解決への協力
- NPO、市民等との協働事業
- 大学と行政の協働による創造的な文化芸術活動や地域交流等
- 基町プロジェクト活動拠点施設「M98」での地域再生事業
- 市大生チャレンジ事業の実施

知的財産の管理と活用

知的財産の権利化、管理、技術移転を行います。

公開講座の開催

市民を対象としたさまざまな公開講座を開催します。

- 一般市民向けの講座、中学・高校生向けのサマースクール、社会人向けの技能講座
- 県立広島大学・広島市立大学連携公開講座

◎2019年度公開講座

学部	対象	講座名・内容
国際学部	一般向け	世界の中の「日本/JAPAN」 企業論・ジェンダー論・伝統文化論 (公財)広島平和文化センターが主催する「国際フェスタ」の中のプログラムの一つとして開催した講座です。 異なる文化が出会う場所で ソマリア、マレーシア、広島での試み 映画の上映会と講演会を通し、難民問題をより広い視点から考える連続公開講座です。 ・UNHCR WILL2Live Cinemaパートナーズ上映会「イージー・レックス-児童婚を逃れて」 ・講演会「多様な社会に向けての『Food Diversity』の可能性と課題について」
	一般向け (高校卒業程度の英語力がある方向け)	市大英語eラーニング講座 (5コース) ・「リーディング・リスニング・文法プログラム」 ・「スピーキングプログラム」 ・「ライティングプログラム」 ・「小学校英語教育指導者養成プログラム」 ・「通訳ガイド養成プログラム」
情報科学部	小学生・中学生	ひろしまコンピュータサイエンス塾
	高校生	高校生による情報科学自由研究 大学提供のテーマが参加者が提案するオリジナルテーマで、夏休みに行う自由研究です。
	一般向け	講演会 「コンピュータによる医薬品、工業原料の設計」 「データによる統計的な比較」
芸術学部	一般向け	芸術学部公開講座 (日本画、油絵、版画、彫刻、染織造形、メディア造形) 初心者の方から経験者の方までを対象とした講座です。
	中・高校生	サマースクール (日本画、油絵、彫刻、デザイン工芸)
	社会人	社会人向け工芸・版画技能講座 (金工、染織、版画、漆) 1年間を通して、新たな表現技法を習得し、研鑽を深めることを目的とした講座です。

◎2019年度県立広島大学・広島市立大学連携公開講座

県立広島大学・広島市立大学が連携し、双方の特色を活かして実施している講座です。

言語を通じて世界を知る	●発信する英学:日本の文化をどう伝えるか ●スペイン語はどのようにして世界に広まったのか? スペイン帝国の言語政策と文書主義について考えるー ●国際化する社会の中でー日本語のこれから ●戦間期における亡命ロシア人:言語・ネットワーク・創造力
ひろしま学を考える	●お地藏さんを地域の宝に ●基町の新しい魅力をつくる基町プロジェクト ●7つのエピソードで読み解く広島の都市空間 ●スタジアムと都市



高校生による情報科学自由研究ポスター発表会

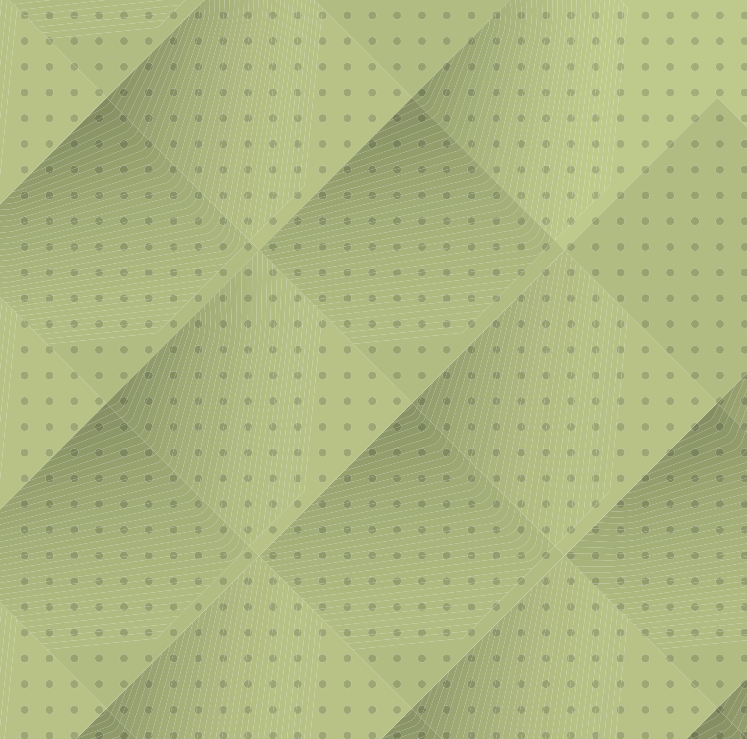


国際学部公開講座「異なる文化が出会う場所で ソマリア、マレーシア、広島での試み」



キャンパスライフ

Campus Life



学生座談会

テーマ

「広島市立大学での大学生活について」

国際、情報科学、芸術、各学部の学生3人それぞれの視点で、
各学部の学びや特徴、大学生活、広島市立大学の魅力について語ってもらいました。

今年度は新型コロナウイルス感染防止の為オンライン座談会を行いました。



—新型コロナウイルス感染拡大の影響で、本日の座談会はオンラインでの開催となり、大学でも異例の新学期となりましたが、どのように過ごしていますか？

原 今回のところ全学部、前期の授業は原則としてオンラインで受講となっています。私は4年次なので授業はほとんどありませんが、研究室のミーティングや、就活では面接や説明会もオンラインで実施されています。

鄭 オンライン授業は目が痛くなりますね（笑）。友達に会えないのはさみしいのですが、ビデオ通話などで話しています。

竹松 私はパソコンがあれば制作はできるのですが、油絵や彫刻などほかの専攻は大変そうです。これからスタートする就活にも、いろいろと不安はありますね。

—市大の志望動機や現在学んでいる内容は？

鄭 私は台湾出身です。通っていた高校と広島県の高校が姉妹校で、ホームステイで日本に来るなどつながりがありました。そこで日本と広島に魅力を感じ、来日して通っていた日本語学校の先生からアドバイスを受けて市大に進学することに。今は「国際政治・平和」「多文化共生」の両プログラムを中心に学び、ゼミでは哲学を研究しています。

竹松 幼い頃から絵を描くのが好きで、中高と美術部に所属し、自然と芸術方面を目指すように。絵や工芸などさまざまな芸術に触れる中で、コンピュータグラフィックスに興味を持つようになりました。自分の世界で完結するのではなく、相手に伝えたいことをどのように表現するか、コミュニケーションのツールとして考えるのが面白いです。私は広島出身で、県外への進学も考えましたが、市大は充実した環境の中でやりたいことが学べますし、地元という安心感もありました。芸術だけでなく国際や情報などの学生から刺激を受けられるのも大きな魅力です。

原 情報分野というより医療に関わるものづくりに興味があって、市大の医用情報科学科ならそれが学べると思いました。地元の島根県は高齢化が深刻で、介護職に従事する母の姿を見て、高齢者や医療や介護で働く人を手助けできるシステムや機器を作りたいと。一人暮らしは不慣れなことが多くて最初は大変でしたが、



徐々に自分でできることが増えて今は楽しんでいます。

—部活やサークル、アルバイトなどは？

原 コンビニで早朝6時から9時までアルバイトをしているのですが、大学と違って幅広い年代の人と多く関わるので、とても良い経験になっています。

鄭 ワンダーフォーゲル部とS2（エスツー）というサークルに所属しています。S2（エスツー）は2つのグループに分かれていて、1つは毎年の8月6日に向けて平和活動に取り組む「国内」、もう1つはフェアトレードに貢献する「TFT」。僕は主に国内グループで活動しています。広島は平和のまちで知られていますが、平和を考える機会は8月6日だけではありません。かつて毒ガスの製造工場があった大久野島でもフィールドワークを実施しました。いろいろな情報を得ることで、戦争に勝った負けたという二元の考えではなく、戦争で傷ついた人やトラウマを受けた人などに話を聞く中で、平和や戦争へのイメージが変わりました。毎年8月6日に平和記念公園で碑巡りをするのですが、一つひとつの碑をきちんと見て、そこに込められた意味を感じ取るようにしています。ワンダーフォーゲル部では学校の裏山を中心に、長期休暇には県外の山にも登ります。大学の裏山から見下ろす風景もとても素晴らしいですよ。

竹松 私は普段は創作活動に専念しているので、部活やサークルなどには所属していないのですが、長期休暇などを利用して短期でアルバイトをしています。夏休みにWEB広告デザインの仕事を手伝わせたもらったのですが、将来社会に出たらこんな形で仕事を進めるのだ

学生座談会

大学は自分で講義を選び学んでいくので、自主性が鍛えられます。



と分かり、とても良い経験になりました。大学の授業でもターゲットなどを想定して作品を作るのですが、いざデザインの現場に携わると現実味があって、その仕事の向こう側に誰かがいる実感が湧き、やりがいを感じられました。市大出身の先輩もいて交流できたこともうれしかったです。

—他学部メンバーに聞いてみたいことは？

鄭 原さん、同じ部活に医用情報の人がいて、話を聞くと勉強が大変そうなイメージがあるのですが、どうですか。

原 確かにレポートの課題は多い方なのかもしれませんが、学生の人数が少ないので、先生にとっても丁寧に教えてもらうことができます。そのおかげで、私もレポートを乗り切ることができました。

竹松 国際学部はいろいろな国に旅行や留学をしている人が多いイメージですが、鄭さんは大学に入って海外に出たことはありますか。

鄭 私の場合は帰省だけで、ほかの国には行ったことがないのですが、学内でも第二外国語など他言語に触れる機会もあり、留学生とふれあうこともでき、国際交流の機会はたくさんあります。

竹松 私も大学ではまだ海外に行ったことがないのですが、時間のある大学生のうちに行きたいと思って、今年の夏にタイに旅行を計画していたんです。でも新型コロナウイルス影響で断念しました…。機会があればいろ

いろな国を見てみたいです。

原 芸術学部は座学よりも圧倒的に作業が多いように見えます。

竹松 今年になってから座学はほとんどなく、課題が出て、作品を作って、先生から講評をもらうという流れを繰り返しています。

—高校生活と大学生活の違いは？

原 高校は決められた授業が時間割通りに進みますが、大学は自分で講義を選び学んでいくので、自主性が鍛えられます。私の場合、医療に関わるものづくりを学ぶのが目的なので、関連の講義を1年次から取っていました。自ら実験して出た結果をレポートにまとめるという作業を通じて、物事についてより深く主体的に考えるようになったと思います。

竹松 私も、原さんが言われたことが一番大きいと思います。大学は時間の使い方も自由。高校ではクラスが決まっていて、必要なことは先生が伝えてくれましたが、大学では基本的に自分で掲示板やメールをチェックして行動や予定を管理しなければなりません。自分に委ねられる部分が多いところが高校と大きく違います。時には楽しみたいと思うこともあります。そこは自分との戦い。先のことまで考えて、今怠けると後で苦労するのは自分だと思って頑張るようにしています。

鄭 大学は髪型も自由です（笑）。

原 就活の時は髪型や服装には気を遣いますけどね。

いろいろな学部が集まっている大学ならではの魅力だと思います。



—入学して実感している市大の魅力は？

竹松 いわゆる「芸術大学」とは違って国際学部も情報学部もあって、芸術学部以外の人とも交流できるので、自分にはない知識に触れて幅が広がります。ほかの学部の人と共同で作品を制作している先輩もいますし、いろいろな学部が集まっている大学ならではの魅力だと思います。

原 竹松さんにもいわれたように、学部にとどまらず幅広い知識や分野に触れられるのが魅力。私は情報科学部ですが芸術系や国際系の科目、平和科目も取れますし、広場などに芸術学部の作品が飾られているので日常的に芸術に親しむこともできます。

鄭 豊かな自然に囲まれていて、キャンパスの芝生も美しい。秋になるとイチョウも。規模は大きくありませんが、すてきなキャンパスです。学生証を提示すれば広島県立美術館とひろしま美術館の入館料が無料になるのもうれしいところ。その制度も有効活用して、私は「いちだい知のトライアスロン」で図書60点、映画40点、芸術鑑賞20点、合計120点の読書と鑑賞を達成し、それぞれについてのコメントを大学の図書館ページに書き込んで「知の鉄人」に認定されました。入学時は日本語力が足りず講義の内容が理解できないこともありましたが、新書をたくさん読むうちに専門用語も分かるようになり、知識が付くにつれて講義の内容も理解できるようになりました。

—将来の夢は？

鄭 今ゼミで研究している哲学にはまっています。大学院に進学するつもりなので、卒業後は台湾に戻り、高校や中学で子どもたちに哲学の素晴らしさを伝えたいと思います。

竹松 今学んでいることを生かせる仕事、特にグラフィックデザイナーに憧れています。自分に何ができるかまだ分かりませんが、作品を見てくれた人に何かしら影響を与えられるようなデザインをつくりたいですね。やりたいことを思いついても、実力不足だったり苦手分野だったりして形にしきれないことがあるのですが、アイデアを出すのがとても好きなので、自分の良さを生かし、ほかの人の力も借りながら、自分一人だけでなくチームで得意分野を発揮できるような仕事ができたらいいと思います。



原 これまでの実習や就活などを通じて医療に関わるシステムや機器を扱う企業を見て、いずれそのような会社に入社し困っている人を助けられるものづくりに携わりたいという思いが強くなりました。授業の一環で病院実習に参加した時、実際に機器やシステムを使う現場の看護師さんやお医者さんの立場に立ってものづくりをしなければと感じました。

—これから入学する人へのメッセージ

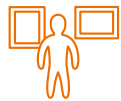
原 大学では自由な時間も増えて、やりたいことに取り組める時間も増えますが、高校生の今しかできないこともあります。今のうちにいろいろな経験を積んでください。

竹松 大学に入ったら専門の勉強が中心になります。たとえば私なら芸術の実習がほとんどです。でも何をするにしても知識があればあるほど役に立ちます。高校の時は芸術以外興味がなく、早く大学に入って思う存分絵を描きたいと思っていましたが、大学に入った今、高校の時にもっと歴史を学んでおけばよかった、英語を勉強しておけばよかったと思うことがあります。ですから、受験のためだけでなく自分の糧になると思って、高校生のうちにいろいろなことに興味を持って幅広い知識を吸収してください。

鄭 台湾の高校生へ。留学には勇気があるかもしれませんが、今言語力が足りないからと自信をなくさずに、一歩を踏み出して頑張ってみよう！最後に、原さん、竹松さん、今は大学に行くことができませんが、通常の授業に戻り大学で会ったら、いつでも声をかけてくださいね！

Q 「COC+エリア」って？

本学では、文部科学省の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」(2015～2019年度)により、広島・山口両県にまたがる25市町を「COC+エリア」(事業協働地域)として、「地域に愛着・誇りを持ち、地域に根付いて、その発展に貢献する人材」の育成を進めています。広島市立大学の「COC+エリア」には、にぎわいのある都市部をはじめ数多くの観光地、瀬戸内海や中山間地の自然や田園など、たくさんの魅力があります。「こんな所があるんだ!」「今まで知らなかった!」など、気になる場所をどんどんチェックして、お気に入りの場所を見つけてみませんか？

COC+エリアの
美術館

- ① ウッドワン美術館
マイセンやゴッホ、ルノワールなどを収蔵。
隣接する温泉・スキー場なども魅力。
- ② 泉美術館
日本近代の洋画、日本画、中国陶器、彫刻、
古美術、木彫などを落ち着いた空間で堪能。
- ③ ひろしま美術館
フランス印象派を中心にゴッホ・モネ・ルノワール・
ピカソなどの巨匠の作品を常設で展示。
- ④ 広島県立美術館
広島にゆかりのある画家の作品を中心に
収蔵。隣接する縮景園の四季折々の景観も
楽しむことができる。
- ⑤ 広島市現代美術館
デザイン・建築・映像などの作品も積極的に
収集した、現代美術の総合的な美術館。
- ⑥ 東広島市立美術館
日本の近現代版画、現代陶芸を柱にし、
郷土ゆかりの作家の作品も多数収蔵。
- ⑦ 蘭島閣美術館
日本の近代絵画を中心に収蔵している、
本格的木造建築の美術館。
- ⑧ たけはら美術館
竹原出身の池田勇人元内閣総理大臣が愛蔵
していた「池田コレクション」などを収蔵。
- ⑨ 耕三寺博物館
耕三寺耕三氏が母の菩提寺として建立した
お寺の一部を博物館として公開。

市大生は鑑賞無料

《美術館キャンパスメンバーズ制度》

学生により多くの芸術作品に触れてもらうことを目的に、「広島県立美術館」および「ひろしま美術館」のキャンパスメンバーズ制度に加入しています。本学の学生は、学生証の提示でこれら2つの美術館の常設展・特別展(広島県美術展を除く)を**無料で鑑賞**することができます。



広島県立美術館



ひろしま美術館



- ⑩ 平山郁夫美術館
広島出身の画家、平山郁夫の貴重な
少年時代からの絵画やスケッチなどを展示。
- ⑪ 尾道市立美術館
しまなみ海道を一望できるロケーションで、
芸術・文化に接することができる空間。
- ⑫ 和木町立和木美術館「アート・ウィング」
絵の展示だけでなく、
家族向けのイベントも開催。
- ⑬ 岩国美術館
戦国時代から幕末までの武士の武具や
武家の生活を彩ってきた芸術品などを収蔵。
- ⑭ 平生町歴史民俗資料館
遺跡や古墳が多い平生町で発掘された
縄文時代の遺物が数多く展示。
- ⑮ 久賀歴史民俗資料館
町の伝統文化を後世にも伝えていくため、
町民が使っていた民具などの資料を展示。
など



広島県は比較的温暖な気候で、
年間を通じて晴天が多く、ス
ポーツに適した環境です。

瀬戸内海沿岸では海水浴やマリ
ンスポーツ、サイクリングなど、
北部ではキャンプ、スキー、ス
ノーボードなどアウトドアレ
ジャーが楽しめます。

COC+エリアの
スキー場

- ① スノーフィールドもみのき森林公園
広くて、なだらかな傾斜のゲレンデ。
初心者や中級者に最適のスキー場。
- ② 女鹿平温泉めがひらスキー場
スキー場に、温泉・宿泊施設が隣接。
最長滑走距離2,300mのロングコースが特徴。
- ③ 恐羅漢スノーパーク
西中国山地国定公園。冬はスキー、
夏はキャンプなど1年を通じて楽しめる施設。
- ④ 芸北国際スキー場
天然雪のスキー場。
西日本最大級の広さを誇る。
- ⑤ ユートピアサイト
日本最大級の人工造雪設備。
雪不足の心配なく、西日本最速でオープン。

COC+エリアの
海水浴場

- ① 包ヶ浦海水浴場
世界遺産・宮島の中にあり、歴史文化と自然を
一度に体感することができる。
- ② 県民の浜海水浴場
「日本の渚百選」「日本の水浴場」にも選ばれた
すばらしい景観を持つ。
- ③ 大久野島海水浴場
うさぎ島でもある大久野島の豊かな緑と
うさぎに囲まれたきれいなビーチ。
- ④ 瀬戸田サンセットビーチ
海水浴場のほか、キャンプ場などの施設が充実。
夕日スポットとしても有名。
- ⑤ 片添ヶ浜海水浴場
山口県内で最も早く海開きする海水浴場。
環境省選出の「快水浴場百選」にも認定。
- ⑥ 逗子ヶ浜海水浴場
青少年旅行村の中にある海水浴場。
キャンプやサイクリングなども満喫できる。



入学式(4月)



3学部合同新入生オリエンテーション(4月)



ごみゼロ・クリーンウォーク(6月)



交換留学生とのパーティー(4月)



オープンキャンパス(8月)



HIROSHIMA and PEACE(8月)



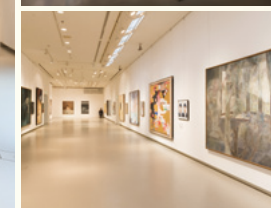
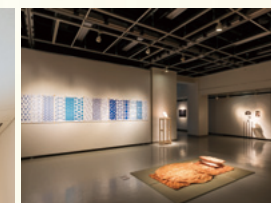
ホームカミングデー(8月)



大学祭(10月)



芸術学部卒業・修了作品展(2月)



卒業式(3月)



卒業・修了祝賀会(3月)

Campus Calendar

キャンパスカレンダー

毎年さまざまな行事やプログラムを実施しています。
※プログラムは変更になる場合があります。

4月

- 春季休業(～4月上旬)
- 入学式
- 全学オリエンテーション
- 3学部合同新入生オリエンテーション
- 前期・第1ターム授業開始
- 交換留学生とのパーティー

5月

6月

- 第1ターム定期試験
- 第2ターム授業開始
- ごみゼロ・クリーンウォーク
- プレ・オープンキャンパス

7月

- セタライブ
- 前期・第2ターム定期試験

8月

- HIROSHIMA and PEACE
- オープンキャンパス
- ホームカミングデー
- インターンシップ
- 夏季休業(～9月30日)

9月

10月

- 後期・第3ターム授業開始
- 通学路等クリーンキャンペーン
- 大学祭

11月

- 第3ターム定期試験
- 防火・防災訓練の日
- 第4ターム授業開始

12月

- 冬季休業(～1月上旬)

1月

2月

- 後期・第4ターム定期試験
- 学年末休業(～3月31日)
- 芸術学部卒業・修了作品展

3月

- 卒業式、卒業・修了祝賀会



Support 大学生生活サポート

学生の皆さんが安心して大学生生活を送れるように、大学としてさまざまなサポートを行っています。

1

経済面をサポート

●奨学金・入学料・授業料等

本学では「日本学生支援機構奨学金」をはじめ、自治体や民間団体などさまざまな奨学金を扱っています。大学を通して募集するものは、随時掲示して周知しています。日本学生支援機構奨学金は、大学に在学する優れた学生で経済的理由により修学に困難がある者に対して学費を貸与・給付するもので、貸与型には、無利子の「第一種」と、有利子の「第二種」があります。どちらも、出願者の中から、学力、人物、家計等を総合的に判断して、本学が日本学生支援機構に推薦します。さらに、本学は「高等教育の修学支援新制度」の対象機関に認定されており、「大学等における修学の支援に関する法律」に基づいて、奨学金の給付および授業料等の減免を行います。「高等教育の修学支援新制度」については、文部科学省のウェブサイトに詳細が掲載されていますので、確認してください。また、当該制度の対象外となる学生についても、基準を満たす場合は、本学独自の入学料・授業料の減免または授業料の徴収猶予を受けることができます。

●特待生制度

2年次以上の学部生を対象として、成績優秀で、かつ他の学生の模範となる学生に対して1人当たり年額200,000円の奨学金を給付する特待生制度があります。2年次から4年次の各学年10名の学生を特待生として選考し、奨学金を給付します。

2

生活面(住居)をサポート

●学生寮「もみじ」

他県出身であるなど、自宅通学ができない学生のための寮です。民間アパート等への入居が経済的に困難な学生に優先して住居を提供しています。学生寮は4棟からなり男女各48室の個室を整備しています。入居期間は2年間で、毎年、男女各24名の新入居学生を募集しています。使用料は月額5,900円(共益費、光熱水費、退居時のための清掃費は別途徴収)で、管理人も常駐していることから、経済的で安心できる居住スペースとして人気があります。また、1階はバリアフリーとなっており、車いすで生活している方も安心して寮生活を過ごせます。

●国際学生寮「さくら」

2018年4月に大学の国際化およびグローバル人材育成施策の一環として、日本人学生と外国人留学生が共同生活を行う国際学生寮「さくら」を新設しました。自宅の所在地にかかわらず、国際交流や留学生との共同生活に対する関心・意欲の高い学生に入寮を許可します。「さくら」では6人定員のユニットで日本人学生と外国人留学生とが共同生活をします。ユニットには6人それぞれの個室と6人が共用するラウンジ、キッチン、トイレ、シャワーなどの設備があり、「さくら」全体で16ユニットを整備しています。入居期間は日本人学生1年間、外国人留学生2年間で、使用料は月額20,000円(共益費、光熱水費、退居時のための清掃費は別途徴収)です。

3

課外活動をサポート

クラブ・サークル活動費や備品整備費、大学祭などの学生主催イベント経費をはじめ、学生が企画・参加して留学生や外国人と交流する国際交流事業、自主研究活動や展覧会などを行うための経費を大学後援会から助成しています。また、ボランティア情報も随時提供しています。毎年6月には、市内一円で行われるごみゼロ・クリーンウォークに大学として参加したり、秋には通学路等クリーンキャンペーンを実施したりするなど、幅広く活動機会を提供しています。その他、テントやクーラーボックスなどのキャンプ用品、ソフトボール用具やテニス用具などの運動用具等の無料貸出も行っています。

4

心身の健康と安全・安心をサポート

心と体の両面から快適な学生生活を過ごすことができるように、さまざまな配慮をしています。心と身体の相談センターでは、学生の「癒しの場」にもなっている「保健室」がケガや病気の応急処置と健康相談を、落ち込んだ時の「支え」になる「相談室」が心配事や悩みを聞いた後「自分探し」を手伝ったりする学生相談を行っています。また、セクシュアル・ハラスメントを含む、学内のハラスメントの発生防止を図るため、教職員10名をハラスメント相談員に任命し、苦情の申し出や相談に応じています。さらに、トレーニング方法などを体育教員がアドバイスする「スポーツ相談」も実施しています。他にも、通学中、授業中、またはクラブ活動中にケガをした場合などのために、傷害保険・賠償責任保険の加入手続きをしたり、個人ロッカーの無料貸出を実施したりするなどのサポートをしています。



軟式野球部 Message

こんにちは。軟式野球部です。私たちは現在選手 20人、マネージャー 3人で活動しています。

活動としては、春、秋に行われるリーグ戦に向けて、広島市立大学のグラウンドで毎週土曜日の朝9時から昼12時頃まで練習をしています。週1の練習で大丈夫なの？と思った方、ご安心ください。成績としては、2018年には全国大会と西日本大会、2019年には西日本大会に出場しています。2019年の西日本大会では、開会式が阪神甲子園球場で行われ、特別な体験もすることができました。

また、毎年6月には岡山県の美作市で、8月には山口県の柳井市で合宿を行っています。毎年、学年の境なくみんなでわいわい楽しんでいます。その他にも、毎年さまざまなイベントがあります！

高校で野球をやっていたけど大学でも続けたい方、野球はやったことないけど興味がある方、大学でも青春を追いかけたい方、選手、マネージャーを未経験、男女関係なく募集しています。

ぜひ一度見学に来てみてください！

Clubs & Circles

クラブ & サークル

Sports (体育系)

[クラブ]

- サッカー部
 - ラグビー部
 - 硬式テニス部
 - 軟式野球部
 - トライアスロン部
 - 男子バスケットボール部
 - 弓道部
 - アーチェリー部
 - バドミントン部
 - バレーボール部
 - 陸上競技部
 - ワンダーフォーゲル部
 - 水泳部
 - 合気道部
 - ダンス部
 - 女子バスケットボール部
 - 卓球部
 - T.A.S(ソフトテニス)
 - Olive(フットサル)
 - 空手道部
 - fit(トレーニング)
- [サークル]
- FC海人
 - レジャーサークルCamper

クラブ・サークルは、自分の可能性を広げるとともに新たな「つながり」をつくるきっかけにもなります。本学では、定番のクラブ・サークルに加えて、平和活動を行うクラブなど、ユニークなものも多数あります。学部学生の半数以上が大学公認のクラブ・サークルに所属しており、活発な活動を行っています。



サッカー部



バドミントン部



トライアスロン部



弓道部



アーチェリー部



陸上競技部



ワンダーフォーゲル部



バレーボール部



ラグビー部



Olive(フットサル)



ダンス部



空手道部



落語研究会落花生 Message

こんにちは。落語研究会落花生です。

落語は、高座と呼ばれる舞台上で上がり、観衆に向けていろいろな話をする日本の芸能の一つです。

始まりはなんと遡ること江戸時代になります。落語の話の内容は、話にオチがつく笑い話や、ほろりとくる人情話、思わず後ろを振り返りたくなるこわい話などなどさまざまです。

私たちは、落語を通して皆さんに笑顔を届けられるように日々練習に励んでいます。主な活動として大学内での年3回の落語会に加え、老人ホームや商店街からのご依頼を受け落語を披露しています。

また、NHKの生中継やRCCのラジオに出演したこともあります。

落語の魅力は、手ぬぐいと扇子さえあればどんな人にも物にもなれるところです。話すことが苦手な人も大歓迎！音響などの仕事もあります。

ぜひ私たちと一緒に寿限無寿限無五劫の擦り切れ海砂利水魚の水行末雲来末風来末食う寝る所に住む所…

Clubs & Circles

クラブ & サークル

Culture (文化系)

〔クラブ〕

- 茶道部表千家
 - 裏千家茶道部
 - 自主制作映画研究会
 - Music Art Club(軽音楽)
 - 電子音楽部
 - マンドリン・ギター部
 - 吹奏楽部
 - 演劇部
 - Table Game 研究会
 - 上田宗箇流茶道部
 - CREATIVE(創作活動)
 - マスコミ研究会
 - ねっこ広島(環境ボランティア)
 - S2(平和活動)
 - アカペラ部regalo
 - HIF(国際交流)
 - 天文研究会
 - 落語研究会 落花生
 - レゴマス部
 - Bird's eye view(鳥瞰図)
 - いちだい猫の会
 - 版画部
 - 市大書道部
 - プログラミング同好会
 - 8bit(電子ゲーム)
- 〔サークル〕
- Sign(手話)
 - Re.lic(ボランティア)
- 〔愛好会〕
- ポケモンGO同好会
 - 天地創造部
 - アイセック広島委員会
(海外インターンシップ)
 - 聖書研究会

- 大学祭実行委員会
秋に開催する大学祭の
企画・運営をする組織です。



茶道部表千家



自主制作映画研究会



HIF(国際交流)



Music Art Club(軽音楽)



レゴマス部



マンドリン・ギター部



演劇部



上田宗箇流茶道部



天文研究会



ねっこ広島(環境ボランティア)



S2(平和活動)



Sign(手話)



- | | | | |
|--|----------------|------------------------------|---------------|
| 1 本部棟・アドミッションセンター・国際交流推進センター・心と身体の相談センター | 5 エネルギーセンター | 10 国際学部棟 | 14 体育館 |
| 2 講堂 | 6 芸術資料館 | 11 情報処理センター | 15 グラウンド |
| 3 図書館・語学センター棟 | 7 芸術学部棟 | 12 情報科学部棟 | 16 トラック・フィールド |
| 4 学生会館 | 8 工房棟 | 13 情報科学部棟別館・広島平和研究所・社会連携センター | 17 国際学生寮 |
| | 9 講義棟・キャリアセンター | 18 学生寮 | |



- 4 講堂
壁面レリーフや舞台の緞帳などに芸術学部教員たちの作品を生かした、本学ならではの施設です。大小のホールと、国際会議も可能な同時通訳設備や大型スクリーンがあるなど、機能も充実しています。



- 11 心と身体の相談センター（保健室・相談室）
心身の健康上の悩みや相談に応じ、学生の「疾病の予防」と「健康相談」、「カウンセリング」を中心に健康の維持増進を図ります。

Campus Map

キャンパスマップ



喫茶

- 4 学生会館
学生食堂、喫茶、そして売店などがあります。売店は2016年度にリニューアルオープンし、いちだいいちば(愛称「いちいち」)と命名されました。



学生食堂



- 11 国際学生寮「さくら」
居住機能に加え、教育的な視点をふんだんに取り入れた学生寮です。



- 11 学生寮「もみじ」
他県など遠方からの学生に対して安価な住環境を提供する学生寮です。



- 4 体育館
バスケットコートが2面使用できるアリーナや、本格的なトレーニングルーム等を備えた施設です。授業やクラブ、サークル活動のほかにも、多目的な利用が可能です。



- 11 グラウンド、トラック・フィールド
全天候型のテニスコート4面と、野球、サッカーなどが可能なグラウンド、トラック・フィールドがあります。クラブやサークル活動以外でも利用することができます。

広島市立大学 サテライトキャンパス



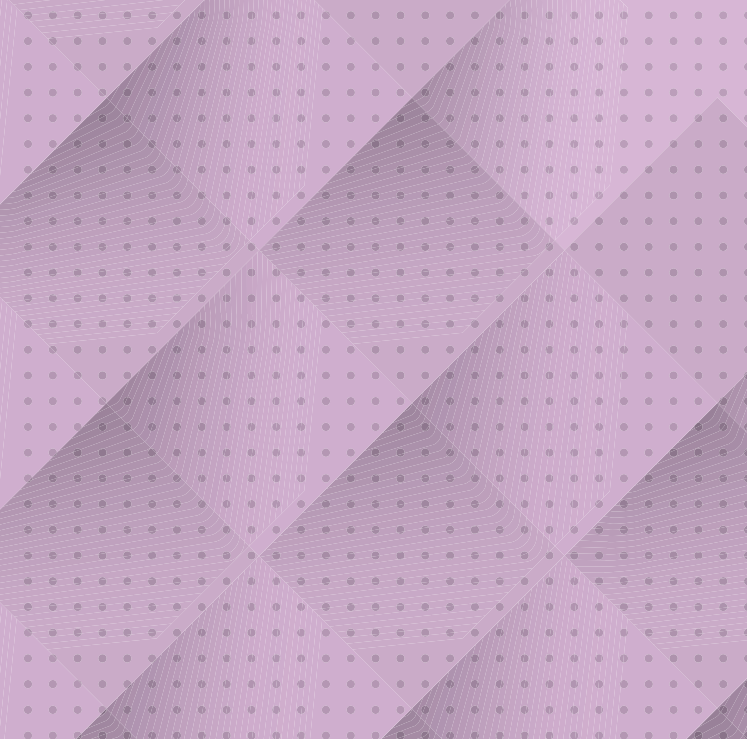
所在地：広島市中区大手町四丁目1番1号
大手町平和ビル9階

本学の市中心部における活動拠点機能強化と市民の生涯学習のさらなる推進のため、市中心部にサテライトキャンパスを開設しています。セミナールームやPCルーム、小教室などを備えており、各種講演会、セミナー、公開講座を実施するほか、学生と地域住民との交流の場としても活用しています。



就 職

Careers



就 職

Careers

進路支援の2つのポイント

1

大学をあげての支援

学生のキャリア形成支援・就職支援は、キャリアセンターが中心となって全学的に取り組んでいます。大学説明会・情報交換会、学内合同企業説明会の開催、大阪・東京方面の企業研究ツアーの実施、各種就職支援セミナーの開催、保護者対象の教育・進路説明会の実施など、さまざまな角度からの就職支援を、後援会と連携・協力しながら取り組んでいます。

2

きめ細かな個別指導

教員と学生の距離が近い本学は、就職支援でもその環境が生かされた細やかなサポートを実現しています。キャリアセンターでは、就職活動だけでなく個別の進路相談にも対応しています。志望や適性に沿って一人一人に合った指導を行い、キャリア形成を支援しています。

就職活動体験談



国際学部 国際学科4年

小西 沙耶



情報科学部 システム工学科4年

横本 勇希



芸術学部 デザイン工芸学科4年

深川 蒼依

就職活動の良きパートナー

私が就活を始めたのは、大学3年生の夏からです。その頃は、「就活って何だろう?」と疑問に思うほどの就活初心者だったため、キャリアセンターにある自己分析や就活の基本が学べる本を借りて知識を得ていました。就活が本格的に始まる冬からは、エントリーシートの添削や面接対策のためキャリアセンターを頻繁に訪れるようになりました。キャリアセンターの方たちは、就活に関するどんな些細な質問にも答えてくださり、就活に対する不安が徐々に薄れていったのを覚えています。また、エントリーシートや面接に対するアドバイスも的確だったため、客観的に自分を知る良い機会になりました。キャリアセンターには、頼れるアドバイザーがいるだけでなく、先輩方の就活体験談や企業情報など就活に役立つ情報がたくさんあります。キャリアセンターで得た情報が実際の就活で役立ったことも多かったため、ぜひキャリアセンターをうまく活用して就活を進めていってほしいです。就活では、悩んだり不安になったりすることもあると思いますが、1人で考え込まず、誰かに相談しながら自分らしい仕事が見つけれられるよう応援しています!

行動することで道は開ける

「とにかくやってみる」、これは私が就職活動を行う上で最も大切にしてきたことです。キャリアセンターを利用したのは3年生の夏の頃でした。当時の私は就職活動の右も左も分からない状況でした。そんな時、大学には就職活動をサポートしてくれる施設があると知ったのがきっかけでした。キャリアセンターの方たちはとても親切で、いわば就職活動のプロです。私が書いたエントリーシートを何度も丁寧に添削してもらったことで、エントリーシートで不合格になることはほとんどありませんでした。また、就職活動に関する有益な情報を提供してもらったり相談に乗ってもらったりしたおかげで、面接でも話すことに困りませんでした。

そのほかにも、筆記テスト対策やOB/OG紹介、面接対策などもあり有利に就職活動を進めることができます。またプログラミングやTOEICなどの本学で学んだことも大きなアピール材料となり、無事オファーを頂くことができました。

大学受験も人生におけるビックイベントですが、就職活動もそれと同様に今後の人生に大きな影響を与える重要なことです。広島市立大学には優秀な就職活動のプロがあなたをより良い方向へ導いてくれる素敵な環境が整っていると自信を持っています。

遅れを感じても大丈夫

私が就職活動を始めたのは大学3年の1月頃です。それまで、「制作やアルバイトで忙しいし」とインターンシップや企業説明会に行ったことがないまま、企業へエントリーを始めることになっていました。また、履歴書やエントリーシートに書くことは大体決まっていたものの、書き始めるときちゃんと企業に対してアピールができていたのかがわからなくなりました。出遅れ感を強く抱きながら、キャリアセンターの扉を叩きました。アドバイザーの方たちに履歴書を添削していただいて、文章の構成や言葉の選び方がわかってきただけでも、大きな自信につながりました。足を運ぶ度に、自分も他の就活生と同じラインにしっかり立っているという気持ちになり、あまり参加していなかった企業説明会にも積極的に参加できるようになりました。

私がキャリアセンターを利用した中で最も良かったと感じたことは模擬面接です。一対一でアドバイザーの方に、志望する企業の特徴に合わせた質問内容で練習をしてもらえます。

また、芸術学部にとって嬉しいのはポートフォリオも見てもらえることです。

ポートフォリオの作り方は専攻の先生に聞けましたが、面接の時にどのようにアピールし作品を見てもらえばよいのだろう、ということが私の中で1つの大きな疑問としてありました。自分の作品を知らない人にわかりやすく説明し、いかに魅力的にプレゼンするかは、何度も練習を重ねて掴めるものだとなりました。

就職活動に遅れを感じていても、まずは相談することが大切です。悩みや不安のタネを早めになくすことで、自信を持って就職活動に挑めるようになると思います。

キャリア形成・就職サポート

大学説明会・情報交換会

大学説明会では、約250社の企業の採用担当者を招待して、学生および教職員が一体となって本学の概要や各学部、研究科の特色などを紹介しています。情報交換会では、学内外で活躍している学生によるポスタープレゼンテーションや芸術学部卒業生・修士生作品のタペストリーの展示を通じて、学生の意欲や資質をPRしています。学生によるプレゼンテーションは企業の方から好評をいただいています。



学内合同企業説明会

企業の採用担当者と学生の情報交換の場として実施しています。「市大生を採用したい」と熱望される企業の方々にお越しいただき、毎年、多くの学生がこの説明会に参加した企業に内定し、就職しています。近年では本学卒業生が採用担当者として参加することが多くなり、人のつながりが広がっています。



OBOG交流会

学内合同企業説明会の開催日に合わせて、昼食時間帯に学生と本学卒業生、教職員との情報交換の場として2017年度から実施しています。同世代の社会人の先輩と昼食をとりながら、就職活動へのアドバイスをいただいたり、仕事や社会人生活について本音で話し合ったりするなど、楽しく有益な交流の場となっています。この場で築いた関係が継続し、「市大の絆」が広がっていくことを楽しみにしています。



キャリア形成・実践科目



「キャリアデザイン」、「キャリアサポートベーシック」は、キャリアセンターが提供するキャリアデザインのための全学共通科目です。進路や職業選択に向けて、大学で何を学び、大学生活をどう過ごせばよいかを考えながら、キャリアデザインを実現するため、特に働くことと就職に関わる具体的な知識・スキルを学びます。外部講師や卒業生を招いての講義も組み込まれています。他にも適職診断や礼儀・マナー講座などさまざまなセミナーを実施しており、これらが互いに連動して実践力を身に付けられるようになっています。

キャリアデザイン(i・ii)

「キャリアデザイン」とは、社会的・職業的に自立した自分らしい生き方を、主体的に構想・設計することです。この講義は、キャリアデザインの実現に向けて大学生生活をデザインするとともに、大学生活を充実させ社会で活躍するために必要になるスキルや有用な手法について学修します。

インターンシップ・ベーシック

企業や公的機関で実施されているインターンシップ(職業体験)に参加することを通じて、今後の大学生活での学び方や将来の働き方を考える力を身に付けます。事前指導として、インターンシップ先での目標設定やマナー研修を行ったのち、インターンシップへ参加します。事後指導では、インターンシップ先での取り組みの振り返りや自分の成長した点の確認を行い、将来の働き方について考えます。

キャリアサポートベーシック(A・B)

キャリアデザインの実現を支援する授業科目です。担当教員の講義だけでなく、自己分析、企業研究、職業適性診断や、企業に関する情報収集のポイント、履歴書・エントリーシート作成のポイント、面接対策等について専門的な知見を有した外部講師による講義・演習を行うほか、社会人として活躍している本学OBOGの講話等も取り入れて授業を展開します。また、夏季休業中のインターンシップ参加や本格的な就職活動を視野に入れた具体的・実践的な学修を行います。

その他のガイダンス・セミナーなど

4月	インターンシップ説明会	11月	地元企業経営者パネル討論会
6月	保護者対象教育進路説明会	12月	インターンシップ報告会
	インターンシップ事前研修		SPI模擬試験
8~9月	インターンシップ実習	2月	模擬集団面接・グループディスカッション実習
10月	進路説明会		
	SPI模擬試験		

■インターンシップ

企業などで職場体験実習を行う「インターンシップ」をキャリア形成の柱の一つに位置付けています。単に体験するだけでなく、事前研修と実習、報告会とを組み合わせることで実になるものを目指し、インターンシップの一層の充実を図っています。

企業・公的機関でのインターンシップ

毎年、多くの企業の方、公的機関の方にご協力いただき、本学と企業・公的機関の連携で数日間～2週間程度のインターンシップに参加することができます。低学年から積極的にインターンシップに参加することで、「働く」ということを意識することができ、学生生活での学びについてより一層目的意識を持って取り組むきっかけとなります。

学部や履修講義によっては、単位を取得することができます。

また、広島市教育委員会と連携して、教員志望者を対象とした広島市立学校での実習体験活動も行っています。

2019年度大学推薦インターンシップ実習先

(株)イズミ、NRIシステムテクノ(株)、(株)エネルギー・コミュニケーションズ、オタフクソース(株)、(株)オンワード樫山、呉市役所、(株)ジェイ・エム・エス、大進グループ、中国電力(株)、(株)NTTデータMHIシステムズ、デルタ工業(株)、(株)広島銀行、広島城、広島市農業協同組合、広島市役所、広島法務局、(株)広島マツダ、(株)Fabric Arts、法務局矯正管区、マツダ(株)、リコージャパン(株)

カーブアカデミーインターンシップ(ドミニカ共和国)

このインターンシップは、株式会社広島東洋カーブと本学が協定を結び実現したもので、本学の学生は1年に1人、ドミニカ共和国にあるカーブアカデミーでのインターンシップに参加することができます。マツダスタジアム内の事務所で国内研修を約1カ月、その後ドミニカにあるアカデミーで約5カ月現地研修を行います。

現地では、アカデミーでの業務のサポートをしながら、「ドミニカでしかできないこと・やりたいこと」について集中して取り組むことができます。日本とは異なる文化や言語に触れることで、より一層自身を成長させることができます。



■キャリアセンターサポート体制

キャリアセンターでは、次のようなサポートを行っています。

- | | |
|----------------------|------------------|
| ◎就職・進路相談 | ◎履歴書・エントリーシートの添削 |
| ◎求人票・会社説明会(セミナー)の案内 | ◎模擬面接の実施 |
| ◎就職支援プログラム(ガイダンス)の実施 | ◎就職活動報告書の閲覧 |
| ◎OB・OGの紹介 | ◎就職関係図書の閲覧・貸出 |

■キャリアアドバイザー

キャリアセンターには2名の経験豊富なキャリアアドバイザーが常駐しています。随時個別相談に応じ、模擬面接やエントリーシートの添削を行うなど、一人ひとりに合わせてきめ細かく丁寧に支援しています。



■就職支援パートナーシップ制度

本学は、「就職支援パートナーシップ制度」に参加しています。この制度は、在籍する大学がある地域とは異なる地域で就職(Uターン、Iターンなど)を希望する学生のために、各大学がサポート(地元の求人情報の閲覧、学内合同企業説明会の情報提供、就職相談、就職ラウンジの利用など)を行うものです。

パートナー大学

- ◎広島市立大学
- ◎大阪市立大学
- ◎北九州市立大学
- ◎国際教養大学
- ◎静岡県立大学
- ◎都留文科大学
- ◎東京都立大学
- ◎長野県立大学
- ◎名古屋県立大学
- ◎兵庫県立大学
- ◎福井県立大学
- ◎山梨県立大学
- ◎山梨大学
- ◎横浜市立大学

～保護者のみなさまへ～

キャリアセンターでは、保護者対象の教育・進路説明会を毎年6月下旬に開催しています。また、後援会に加入している学生に対しては、後援会からの補助を受けて、学生の就職活動の支援を行っています。

■保護者対象教育・進路説明会

広島市立大学では、毎年6月下旬に保護者の方を対象とした「教育・進路説明会」を開催しています。2部制となっており、第1部では全学年の保護者の方を対象に説明会を開催し、第2部では各学部ごとに分かれ、3年生の保護者の方を対象に懇談会を開催します。本学の就職状況や学部ごとの就職先・進学など、卒業後の進路について本学の支援体制を含めて説明を行います。また、キャリアセンターの紹介や外部講師による講演も行っています。

第1部 教育・進路説明会

全学的な取り組みについてご紹介します。

【主な内容】

- ◎本学の教育・進路について
- ◎キャリアセンターについて
- ◎外部講師 講演



第2部 3年生保護者対象各学部懇談会

各学部別で学部特色の進路や取り組みについてご紹介します。

【主な内容】

- ◎学部の教育について
 - ◎学部の進路、就職状況について
- 個別の相談も就職・キャリア担当の教員が対応しています(事前予約制)。

■市大業界ツアー(後援会加入者対象)

●交通費一部補助

インターンシップや会社説明会、選考試験などで遠方に行く場合に、交通費の一部を補助をすることができます。

●大阪バスツアー・東京新幹線ツアー

大阪や東京などで開催される大規模な合同企業説明会に団体で参加します。首都圏に在住している卒業生を招いてOBOG懇親会も行い、就職活動へのアドバイスや首都圏での仕事、社会人生活などについて学生と交流を深めてもらいます。東京新幹線ツアーでは、東京に在住している卒業生を招いてOBOG懇談会を開催しています。卒業生とご飯を食べながら、就職活動のアドバイスや社会人生活について楽しく交流ができます。



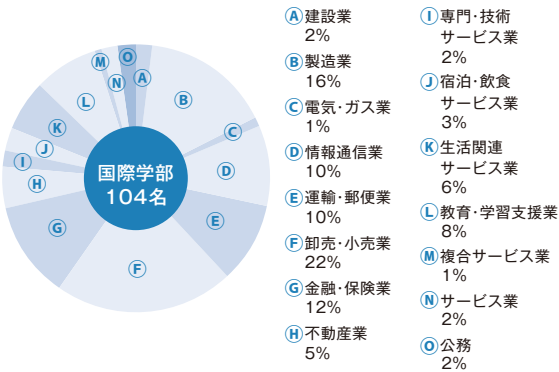
就職データ

2020年3月大学卒業者の学部別就職状況

区分	国際学部	情報科学部	芸術学部	合計
卒業生(名)	122	206	80	408
就職希望者(名)A	107	139	36	282
就職決定者(名)B	104	138	35	277
就職決定率 B/A×100(%)	97.2	99.3	97.2	98.2
(参考)進学者(名)	4	57	24	85

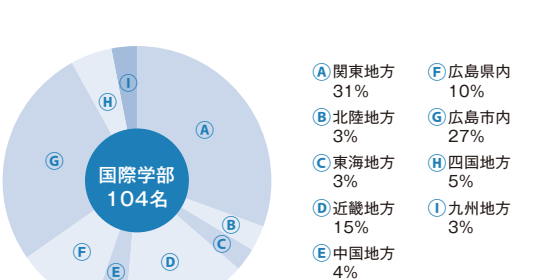
業種別就職状況

国際学部

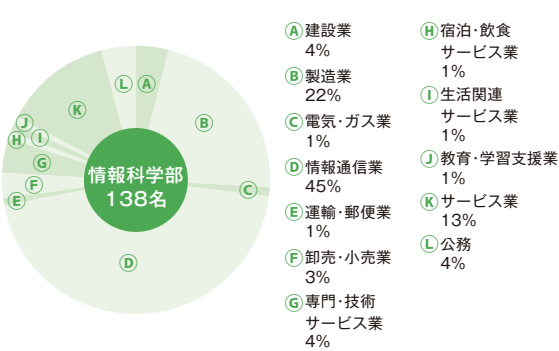


地域別就職状況

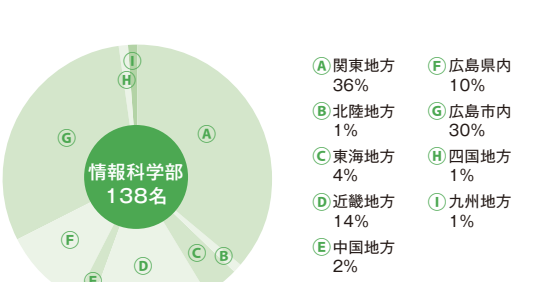
国際学部



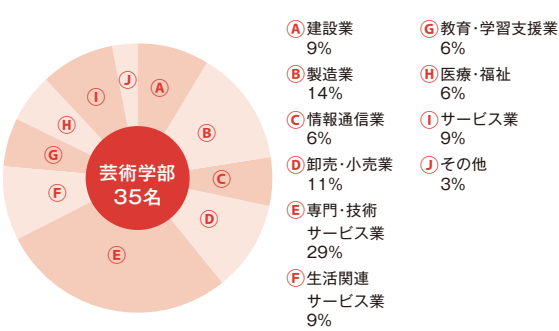
情報科学部



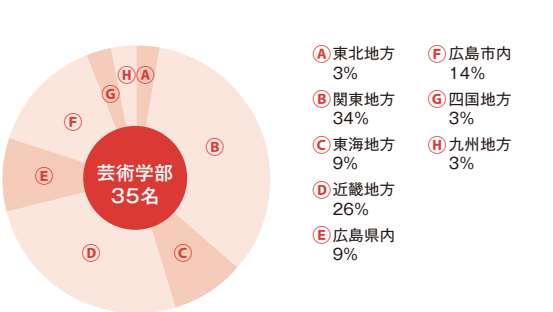
情報科学部



芸術学部



芸術学部



就職先・進路

国際学部

国際学部卒業生は、国際機関、企業、公務員、教員、国内外の大学院など、幅広い進路で活躍しています。

企業に就職

各プログラムから提供される専門科目、そしてそれらを複数のプログラムから選択して学修することにより、専門性と幅広い視野を兼ね備えた国際学部の卒業生は、国内外の数多くの企業で活躍しています。

主な就職先(五十音順)※過去5年間

- (株)アーキ・ジャパン

●アイオ(株)

●アイ・ティー・エックス(株)

●青葉出版(株)

●(株)アクシス

●(株)アドバンストクリエイト

●(株)穴吹トラベル

●アパルトマン(株)

●アビデ(株)

●(株)アミティー

●(株)イーオン

●イオンリテール(株)

●(株)イズミ

●伊藤忠アビエーション(株)

●伊藤忠マシンテクノス(株)

●井原精機(株)

●(株)ウッドワン

●(株)ull

●ANA関西空港(株)

●ANA福岡空港(株)

●(株)エスピー・リング東京

●(株)NTTフィールドテクノ

●(株)F・O・インターナショナル

●エムケイ(株)

●(株)鷗州コーポレーション

●大田鋼管(株)

●岡三証券(株)

●オタフクソース(株)

●オルビス(株)
- (株)KDDIエボルバ

●(株)合人社計画研究所

●広成建設(株)

●小林産業(株)

●(株)コメリ

●佐伯中央農業協同組合(JA佐伯中央)

●三光電業(株)

●山陽マシン(株)

●山陽三菱電機販売(株)

●(株)ジェイ・エム・エス

●ジュングループ

●住友生命保険(相)

●全日本空輸(ANA)

●(株)総合オリコミ社

●損害保険ジャパン(株)

●第一生命保険(株)

●(株)タダノ

●中国木材(株)

●常石造船(株)

●東京海上日動火災保険(株)

●(株)東京コンサルティングファーム

●トモテツグループ

●長沼商事(株)

●西川ゴム工業(株)

●西日本旅客鉄道(JR西日本)

●日本航空(JAL)

●日本生命保険(相)

●日本郵便(株)

●(株)広島銀行

公務員・教員

広島を中心に、公務員や教員として活躍している卒業生を多数輩出しています。

主な進路は、広島県内では

- 広島市 ●広島県 ●広島県警察 ●廿日市市 ●呉市 ●三次市 ●広島市公立学校教員 ●広島県公立学校教員

また、広島県外では

- 大分市 ●財務省関東財務局 ●札幌市 ●周南市 ●防衛省自衛隊 ●岡山県公立学校教員 ●島根県公立学校教員

- 福山市公立学校教員

など多岐にわたっています。

大学院に進学

より専門的な学修や高度な研究を目指す卒業生は、大学院に進学しています。

博士前期課程を修了した卒業生は、企業、国際機関、教育機関などで活躍しています。

また、博士後期課程に進学して大学教員として活躍している卒業生もいます。

Voices (卒業生)



Voices
(卒業生)

地球は広い。行くか、行かないか。

Princess cruise lines, Ltd.

吉田 郁生 2013年3月 国際学部国際学科 卒業

現在、寄港地観光を販売するクルーズ船員として30カ国以上で働いています。人生のアウトプットが仕事ならば、大学はインプットです。卒論(テーマは広島市長の平和宣言)を書いた吉田教授ゼミ、英語ディベート、多文化共生論等の学びが今に生きています。“外国人”として生き抜く語学力と討論力、多角的な思考法、異文化への関心等、人生の柱は在学中に形成されました。そのおかげで、几帳面なメキシコ人、路上で踊る日本人、コロンビアの安全で芳潤な文化都市、青白2色のアラスカ氷河等々、ステレオタイプを覆す光景や息をのむ空間に触れながら人生を謳歌しています。

行動するか否か、多くの選択は自身の意欲と覚悟次第です。未来の自分を信じ、地球を謳歌する土壌を培ってください。



2列目の右から2番目が畑中さん

実践的な学びの場

ボルドーモンテーニュ大学 アフリカダイナミズム研究科1年

畑中 直人 2019年3月 国際学部国際学科 卒業

今私はフランスのボルドーモンテーニュ大学で修士課程に在籍し、アフリカの開発について研究しています。アフリカの歴史・法律・地政学・環境問題など、開発についての学際的な講義のほかにも、実地調査も盛り込んだカリキュラムになっています。

広島市立大学では、HIROSHIMA and PEACE、フランスへの交換留学、ルワンダでのインターンなどさまざまなことに挑戦する機会があり、自分の知見を深め進学への土台を作ってくれました。先生と学生の距離が近く、先生方には自分の研究や進路について親身になって相談に乗ってもらい、目標実現の手助けをしてくださいました。ゼミの同時履修が可能で、5つのプログラムの中から興味のある科目を選択でき、幅広い視野を持てるというのも、広島市立大学の特徴だと思います。

就職先・進路

情報科学部

情報科学部卒業後は、大きく分けて2つの進路があります。会社員、公務員、教員として社会に巣立つコースと、さらに専門知識・技術を磨くため大学院に進学するコースです。

企業に就職

今、最も注目されている情報分野の知識や技術を修得した情報科学部の学生は、卒業後、情報通信、ソフトウェア、情報機器製造、コンピュータなど、時代の最先端の企業で活躍しています。これまで、次のような企業に就職しています。

主な就職先(五十音順)※過去5年間

- (株)アイ・エル・シー
 - アイリスオーヤマ(株)
 - (株)アスパーク
 - (株)アドヴァンスト・インフォーメーション・デザイン
 - (株)アルトナー
 - (株)アルプス技研
 - インターネットウェア(株)
 - (株)インタフェース
 - (株)ウッドワン
 - (株)エディオン
 - NECソリューションイノベータ(株)
 - NSウエスト(株)
 - (株)エヌ・ティ・ティ・データ九州
 - (株)エヌ・ティ・ティ・データ中国
 - (株)エヌ・ティ・ティ・ネオメイト
 - (株)NTTフィールドテクノ
 - (株)エネルギー・コミュニケーションズ
 - (株)カブコン
 - キャノン(株)
 - (株)熊平製作所
 - (株)呉電子計算センター
 - (株)コア
 - (株)コトブキソリューション
 - コンチネンタル・オートモーティブ(株)
 - (株)サタケ
 - 佐竹電機(株)
 - (株)サンネット
 - (株)ジェイ・エム・エス
- (株)新星工業社
 - 全日本空輸(株)(ANA)
 - (株)ダイセック
 - 中国電力(株)
 - (株)中電工
 - (株)ディスコ
 - (株)テクノプロ テクノプロ・デザイン社
 - テクノライブ(株)
 - デンソーテクノ(株)
 - (株)デンソーテン
 - (株)デンソーテンテクノロジー
 - 東海旅客鉄道(株)(JR東海)
 - (株)ドコモCS中国
 - 戸田工業(株)
 - (株)ドリームオンライン
 - 西川ゴム工業(株)
 - 西日本電信電話(株)(NTT西日本)
 - 西日本高速道路(株)(NEXCO西日本)
 - 西日本旅客鉄道(株)(JR西日本)
 - 日本電気(株)(NEC)
 - 日本アイビーエム中国ソリューション(株)
 - (株)ネクストビジョン
 - (株)ハイエレコン
 - (株)日立インフォメーションエンジニアリング
 - (株)日立ソリューションズ西日本
 - (株)広島銀行
 - 広島信用金庫
 - 富士ソフト(株)
 - 富士通(株)
- (株)富士通ソフトウェアテクノロジーズ
 - (株)富士通ビー・エス・シー
 - (株)マイティネット
 - マツダ(株)
 - (株)ミウラ
 - 三菱電機(株)
 - 三菱電機システムサービス(株)
 - (株)メイテック
 - (株)山口フィナンシャルグループ
 - 楽天(株)
 - リコージャパン(株)
 - (株)両備システムズ
 - ロート製薬(株)

公務員・教員

一般企業のほか、公務員や教員として活躍している卒業生もいます。

これまでの主な進路は、

- 広島市 ●広島市消防局 ●広島県 ●広島県警察 ●福山市 ●大竹市 ●尾道市 ●江田島市消防本部 ●竹原市 ●和泉市
 - 大阪府警察 ●京都府警察 ●静岡労働局 ●栃木県市町村職員共済組合 ●鳥取県警察 ●防衛省自衛隊
 - 警察庁中国四国管区警察局 ●広島県公立学校教員
- などです。

大学院に進学

情報科学部の卒業生のうち、例年約4割の学生が本学の大学院に進学しています。また、他大学の大学院に進学する学生もいます。

これまで、

- 大分大学 ●大阪大学 ●岡山大学 ●九州工業大学 ●信州大学 ●筑波大学 ●電気通信大学 ●豊橋技術科学大学 ●名古屋大学
 - 奈良先端科学技術大学院大学 ●鳴門教育大学 ●兵庫県立大学 ●早稲田大学
- などの大学院に進学しています。

Voices (卒業生)

Voices
(卒業生)



「情報」への学びとともに魅力を感じることもできる環境

日本アイビーエム中国ソリューション株式会社
足立 佳奈

2018年3月 情報科学部知能工学科 卒業

大学時代に初めてプログラミングに出会い、講義や実験、研究を通してその楽しさを知りました。業務でプログラミングをすることがありますが、今でも「楽しい!」と思う気持ちは変わらず、積極的に業務に取り組むことができています。

在学中も現在も変わらず持っているこの気持ちは、プログラミングの魅力によるものだと思います。「自分が作りたいものがソースコードを書くことで実現し、試行錯誤しながらどんどん動くようになる」これが私が感じるプログラミングの魅力です。

魅力の感じ方は人それぞれですが、広島市立大学には、「情報」への学びと共に魅力を感じることもできる環境と、周囲の人との関わりから人間力を伸ばす環境があり、今後の仕事にも生きてくると私は思います。

論理的に紐解き、説明する力

株式会社エィ・ダブリュ・エンジニアリング
小鐵 和昭

2012年3月 情報科学研究科(博士前期課程)
システム工学専攻 修了

Voices
(卒業生)



自動車用駆動部品の設計時や製品評価時に必要なシミュレーション環境の開発を行っています。この技術を活用することで、実際の製品やクルマがなくても、製品性能を簡易的に評価することができ、モノづくりの分野において、今やなくてはならない技術といえます。

大学時代にシミュレーションに関する研究を行っていたこともあり、当時の経験が現在の仕事に生かされています。具体的には、業務においてシミュレーション結果を物理法則にのっとり考察することが必要で、大学で学んだ物理に関する知識や、研究を通して習得した、結果を論理的に紐解き、説明する力が挙げられます。

論理的に紐解き説明する力は一朝一夕では身につけません。広島市立大学での6年間があってこそ、身に付いた力だと感じています。

就職先・進路

芸術学部

芸術学部で修得した知識と技術を生かして、さまざまなクリエイティブの現場で活躍しています。
また、さらなる表現を追究し、進学、留学、そしてアーティストへ。

➡ 創作活動・美術教育

作家やクリエイターを目指して、多くの者が卒業後も作品制作に励んでいます。

その活躍は、国内の公募展や国際的コンペティションなどで数多くの入賞実績を数え、多方面のメディアに取り上げられています。

個展やグループ展を開催するなど活躍の場を広げたり、新たな創作環境を求め海外に活躍の場を展開する卒業生もいます。

また、広島市公立学校教員、広島県公立学校教員をはじめ、大学、専門学校、高等学校、中学校などの教育現場で美術指導を行う教員となる卒業生も数多くいます。

➡ 企業に就職

ものを創り、その意味を伝える。芸術学部で培ったスキルと感性は、“今”という時代だからこそ、さまざまな業種で求められています。
自分の力を示す、あらゆる可能性がそこにはあります。

主な就職先(五十音順)※過去5年間

- | | | |
|--------------------|------------------------|----------------------|
| ●アート印刷(株) | ●(株)ケイテック | ●対馬デザイン事務所 |
| ●(株)アイ・エム・シーユナイテッド | ●(株)ゴジョウ | ●(株)土屋鞆製造所 |
| ●(株)アイ・エム・ジェイ | ●(株)コスモス薬品 | ●(株)テレコム・アニメーションフィルム |
| ●(株)アイガー | ●(株)コスモネット | ●(株)ドットゼロ |
| ●(株)アウトソーシングテクノロジー | ●東風美術工芸(株) | ●(株)俄 |
| ●安芸宣興(株) | ●コネクシオ(株) | ●(株)BANKANわものや |
| ●朝日スチール工業(株) | ●(株)コロブラ | ●(株)ビーエーシーウエスト |
| ●(株)井戸 | ●(株)彩高堂 | ●(株)日立システムズ |
| ●(株)イワタ木工 | ●(株)サクセス | ●(株)ピラミッドフィルム |
| ●(株)インフロント | ●(株)SAKURA | ●(株)MAPPA |
| ●(株)ウィークス | ●(株)ザラ・ジャパン | ●(株)やしま |
| ●(株)W e x t | ●三共ディスプレイ(株) | ●リディアミックス(株) |
| ●ウエル・ユーカーン(株) | ●(株)ジマス | |
| ●(株)絵広 | ●ジーク(株) | |
| ●(株)エコスタイル | ●(株)Gクリエイション | |
| ●(株)エディオン | ●(株)GKデザイン総研広島 | |
| ●戎屋化学工業(株) | ●(有)シービーシー | |
| ●(株)岡墨光堂 | ●(株)ジェイ・エム・エス | |
| ●(株)オガワ | ●(株)ジェイアールサービスネット広島 | |
| ●(株)オンワード樫山 | ●(株)シグマ | |
| ●(株)カブコン | ●七福タオル(株) | |
| ●(株)京都科学 | ●(有)島津漆彩色工房 | |
| ●(株)京ろまん | ●(株)しまむら | |
| ●(株)キリン堂 | ●(株)住宅デザイン研究所 | |
| ●(株)gumi | ●ジュングループ | |
| ●(株)グランドデザイン | ●瞬報社写真印刷(株) | |
| ●(株)クロステレビジョン | ●新日本印刷(株) | |
| ●(株)ケア21 | ●SOLIZE Engineering(株) | |
| ●(株)ケイ・ウノ | ●大昌工芸(株) | |

➡ 大学院に進学

芸術学部の卒業生のうち、例年約4割の学生が、自己の表現を追究し、探究するために本学の大学院に進学しています。

また、各々の専門性を高めるため、国内や海外の大学の大学院に進学する学生もいます。

大学院を修了した卒業生たちは、作家、クリエイターやデザイナー、キュレーターなどになり、表現活動を続けています。

Voices (卒業生)

多角的なもののづくりを学ぶ

株式会社龍村美術織物

山手 隆一郎

2019年3月 芸術学研究科(博士前期課程)造形芸術専攻 修了

私は龍村美術織物という織物会社で働いています。当社では帯やインテリアファブリック、小物、産業資材の生産や懸装品の復元などを行っており、日々の仕事では織物の設計をしています。

私がこの職場で学んでいることの一つとして、大学で取り組んでいた「制作」と仕事で行っている「製造」の違いがあります。プロダクトを製造する現場においては、コストや品質への意識が求められるため、在学時に注力してきた「好きなことを好きなだけ追求できる」芸術活動や研究の仕事とは違った視点を持たなければなりません。しかし、在学時に参加したアートプロジェクトでの「多角的な視点でものづくりにあたる」という経験が現在の仕事にも生かされています。

学術的な研究と同時に産学連携も充実しているのは、この大学の魅力だと思います。



絵を描いて生きていくこと

比治山大学短期大学部 日本画非常勤講師

前田 由芽

2010年3月 芸術学研究科(博士後期課程)総合造形芸術専攻 満期退学

自己表現の追求と古典技法の習得を目的に、他大学から広島市立大学大学院に進学し、博士前期課程から博士後期課程まで学びました。

大学院では作品制作、理論的研究や領域を横断した研究、文化財などの実地見学を行い、自然豊かな環境のもと先生方とスケッチ実習にも数多く行きました。

私は現在、グループ展や個展で作品発表しながら絵を描き続け、作家活動をしています。

大学院での研究を通して多角的な視野・視点に加え自然を愛する心を育み、それらはその後の私の創作活動を支え、得た知識と視野は、さまざまな仕事場で生かすことのできる私の財産となっています。

広島市立大学で学んだことは、描き続けていく体力、生み出すまでの苦しみ、創作の喜びと豊かな人生、絵を描いて生きていくことでした。



ウェブサイト紹介

◎トップページ

本学に関する最新の情報を見ることができます。ウェブサイトは、随時更新しています。

大学紹介

大学の概要や基礎データ、広報に関する情報などを掲載しています。本学の学生や卒業生を紹介する「Voices」では、ログインインタビューを掲載。ウェブサイトならではの情報が満載です。

入学案内

入試やオープンキャンパス情報など、入学に関する大事な情報を随時掲載しています。まずはこちらをご覧ください。



The screenshot shows the main homepage of Hiroshima City University. At the top, there's a navigation bar with links for '大学紹介' (University Introduction), '学部・大学院' (Faculties/Graduate School), '施設情報・施設' (Facility Information/Facilities), '産学連携・地域連携' (Industry-Academia/Regional Cooperation), '国際交流・留学' (International Exchange/Study Abroad), 'キャンパスライフ' (Campus Life), '就職情報' (Job Information), and '入学案内' (Admission Information). Below the navigation bar is a large banner image of the university's modern campus buildings. At the bottom, there's a section titled 'PICK UP ICHIDAI'.

◎大学紹介

在学生の声で伝える「大学紹介ビデオ」



大学紹介ビデオ
広島市立大学 Promotion Movie 2019
本学での学びを、学生たちの声でお伝えします。

丁寧に、一人ひとりを大切に、社会との関わりの中で学生を育てます。
学生たちの声を中心に、広島市立大学での学びや魅力をお伝えします。



本学の情報を発信する「LINE」



広島市立大学のイベント情報や入試情報などのお知らせを幅広く発信しています。LINEを利用されている方は、「友だち登録」をしてみてください。

公式アカウント名 @hiroshima-cu



◎関連サイト

幅広い教養を身に付ける「いちだい知のトライアスロン」



いちだい知のトライアスロンとは、学生が作品を鑑賞し、その感想をウェブシステムにより記録し、推薦コメント(または講義レポート)を提出するという流れで進みます。学生に「知る」・「考える」・「伝える」力と幅広い教養を身に付けさせることを目指す読書、映画鑑賞、美術鑑賞推進事業です。



学びを深める「学部オリジナルサイト」



国際学部オリジナルサイト



情報科学部オリジナルサイト



学習・研究を支援する「附属図書館ウェブサイト」



大学内の図書、雑誌、視聴覚資料の検索ができます。また、学内利用者であれば、個人専用のページで資料の予約や貸出状況の確認ができるほか、館内で登録している電子書籍、データベース、電子ジャーナルの閲覧が可能です。学内資料以外にも、全国の大学図書館の図書や論文検索ができるサイトなど、情報収集のためのコンテンツを案内しています。



美と出会う空間「芸術資料館ウェブサイト」



芸術資料館で開催する展覧会やイベント、過去の展覧会情報、所蔵作品等について調べることができます。



入 試 情 報

募集人員

学 部	学科・専攻	入学定員	募集人員					
			一般選抜		特別選抜			
			前期日程	後期日程	総合型選抜	学校推薦型選抜 市内公募 全国公募	外国人留学生選抜 (注2)	
国際学部	国際学科	100	60	15	5	10	10	若干名
情報科学部	情報工学科	210 (注1)	120	35	5	25	25	若干名
	知能工学科							
	システム工学科							
	医用情報科学科							
芸術学部	美術学科	日本画専攻	10	8	—	2	—	若干名
		油絵専攻	20	15	—	5	—	若干名
		彫刻専攻	10	—	7	3	—	若干名
	デザイン工芸学科		40	22	10	8	—	若干名

(注1) 情報科学部の募集は学部一括で行い、学科への配属(情報工学科・知能工学科・システム工学科定員各60名、医用情報科学科定員30名)は本人の希望および1年次の成績により、2年次進級時に行います。
(注2) 外国人留学生選抜の募集人員「若干名」は、一般選抜の募集人員に含まれます。

試験日程

新型コロナウイルス感染症拡大の状況により日程を変更する場合があります。

	学部・学科・専攻			出願期間	個別学力検査等期日	合格発表
総合型選抜	国際学部・情報科学部			2020年9月10日(木)～ 9月18日(金)	2020年10月17日(土)	2020年11月2日(月)
	芸術学部	美術学科	日本画専攻	2020年10月19日(月)～ 10月28日(水)	2020年11月28日(土)～ 11月29日(日)	2020年12月9日(水)
			油絵専攻		2020年11月28日(土)	
		彫刻専攻				
デザイン工芸学科						
学校推薦型選抜 市内公募 全国公募	国際学部・情報科学部			2020年11月5日(木)～ 11月11日(水)	2020年11月28日(土)	2020年12月9日(水)
一般選抜 前期日程	国際学部・情報科学部			2021年1月25日(月)～ 2月3日(水)	2021年2月25日(木)	2021年3月8日(月)
	芸術学部	美術学科	日本画専攻		2021年2月25日(木)～ 2月27日(土)	
			油絵専攻			
デザイン工芸学科			2021年2月25日(木)			
一般選抜 後期日程	国際学部・情報科学部				2021年3月12日(金)	2021年3月20日(土)
	芸術学部	美術学科	彫刻専攻	2021年3月14日(日)～ 3月15日(月)		
			デザイン工芸学科	2021年3月14日(日)		

(注) 外国人留学生選抜の日程は、国際学部、情報科学部、芸術学部美術学科日本画専攻、芸術学部美術学科油絵専攻およびデザイン工芸学科については、一般選抜前期日程と同じです。芸術学部美術学科彫刻専攻については、一般選抜後期日程と同じです。

入学科・授業料

- 入学科(入学手続時に支払い) 広島市内の者 282,000円 左記以外の者 423,000円
- 授業料(4月と10月に半期分を支払い) 年額 535,800円

※金額は、2020年4月現在のものです。料金改定が行われた場合には、改定後の料金が適用されます。

入試の実施状況
(2020年度)

学 部	学科・専攻	試験区分		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	
国際学部	国際学科	推薦入試	市内公募	10	15	15	10	1.5	
			全国公募	10	37	37	17	2.2	
		一般入試	前期日程	60	179	163	71	2.3	
			後期日程	20	266	96	20	4.8	
		外国人留学生入試		若干名	22	17	4	4.3	
情報科学部	情報工学科 知能工学科 システム工学科 医用情報科学科	推薦入試	市内公募	20	45	45	26	1.7	
			全国公募	20	63	63	20	3.2	
		一般入試	前期日程	130	332	312	163	1.9	
			後期日程	40	433	140	41	3.4	
		外国人留学生入試		若干名	16	9	3	3.0	
芸術学部	美術学科	日本画専攻	一般入試	後期日程	10	36	28	14	2.0
				前期日程	20	58	58	26	2.2
		彫刻専攻	自己推薦入試	一般入試	後期日程	3	5	4	1.3
					後期日程	7	18	14	10
	デザイン工芸学科	一般入試	前期日程	30	103	101	33	3.1	
			後期日程	10	109	56	13	4.3	
	※各学科・専攻		外国人留学生入試	若干名	—	—	—	—	

試験教科等

一般選抜

学部・学科・専攻			学力検査等区分	大学入学共通テストの利用教科等	個別学力検査等	
国際学部	国際学科		前期日程	「地歴または公民」「数」 「理(基礎を付した科目から2、または物、化、生、地学から1)」から1と「国」「外」	総合問題	
			後期日程	[3教科3科目または3教科4科目]	小論文	
情報科学部	情報工学科 知能工学科 システム工学科 医用情報科学科		前期日程	「国」「数(2科目)」 「理(物、化、生から1)」 「外」 [4教科5科目]	数学	
			後期日程	「数(2科目)」「理(物、化、生から1)」 「外(英語)」 [3教科4科目]	数学	
芸術学部	美術学科	日本画専攻	前期日程	「地歴または公民」「数」 「理(基礎を付した科目から2、または物、化、生、地学から1)」から1と「国」「外」	実技検査	
		油絵専攻				
		彫刻専攻	後期日程			
	デザイン工芸学科		前期日程			[3教科3科目または3教科4科目]
			後期日程			

注) 詳細および総合型選抜、学校推薦型選抜、外国人留学生選抜については、学生募集要項で確認してください。

学生募集要項

2021年度(2020年度実施)よりWEB出願となります。募集要項は本学ウェブサイトよりダウンロードしてください。総合型選抜学生募集要項は2020年7月下旬に、学校推薦型選抜学生募集要項は2020年9月中旬に、一般選抜学生募集要項および外国人留学生選抜学生募集要項は、2020年11月下旬に公表する予定です。

資料請求はこちらから

<http://www.hiroshima-cu.ac.jp/guide/c00005831/>



学部入試情報ははこちらから

<http://www.hiroshima-cu.ac.jp/guide/category0001/>



大学基礎データ

沿革

1989年11月 広島市立大学(仮称)設立準備委員会の設置

1991年7月 「広島市立大学(仮称)基本構想」策定

1992年11月 校舎建設工事起工式

1993年12月 文部省設置認可

1994年4月 開学

1996年10月 講堂完成

1998年4月 大学院博士前期課程開設、広島平和研究所を設置

2000年3月 情報科学部棟別館完成

2000年4月 大学院博士後期課程開設

2007年7月 社会連携センターを設置

2010年4月 「広島市」から「公立大学法人広島市立大学」に設置者変更

2013年4月 国際交流推進センターを設置

2013年10月 サテライトキャンパスを開設

2014年4月 キャリアセンターを設置

2018年4月 国際学生寮「さくら」を開寮

2019年4月 大学院平和学研究科修士課程開設



第1回入学式



大学法人化



国際学生寮さくら

教職員・学生数 ※2020年5月1日時点

教員数

区分等		学長	副学長	教授		准教授		講師		助教		特任教員		計	
学長・副学長	小計	1	2											3	
国際学部	小計			19	(4)	18	(3)	6						43	(7)
情報科学部	小計			26		33		18		17		2		96	
芸術学部	小計			14	(1)	9		6		3				32	(1)
広島平和研究所	小計			5	(2)	5	(3)					3		13	(5)
企画室	小計											2		2	
社会連携センター	小計											3		3	
国際交流推進センター	小計											1		1	
合 計	計	1	2	64	(7)	65	(6)	30		20		11		193	(13)

非常勤講師	区分等	教員 からの 兼務	教員以 外から の兼務	計		※2020年5月1日現在 学校基本調査 特任教員を含む カッコ内の数字は外国人教員数で内数
	計	74	120	194	(19)	

職員数

区分等		職員	嘱託	臨時職員
事務局	小計	49	32	14
社会連携センター	小計	5	2	0
国際交流推進センター	小計	2	1	2
合計	計	56	35	16

※職員 … 2020年5月1日現在 学校基本調査、育休中の者および特任職員を含む

嘱託 … 2020年5月1日現在

臨時職員 … 2020年5月1日現在 7時間45分勤務の者のみ

非常勤特任教員数

区分等		非常勤特任教員	
事務局	小計		4

学部生数

学部	学 科	総定員	1年次	2年次	3年次	4年次	計
国際学部国際学科		400	115	111	111	140	477
情報科学部	(学部所属)		230	1			231
	情報工学科	240		80	81	51	212
	知能工学科	240		69	66	67	202
	システム工学科	240		70	66	68	204
	医用情報科学科	120		50	32	29	111
	計	840	230	270	245	215	960
芸術学部	美術学科	160	45	48	41	46	180
	デザイン工芸学科	160	42	44	42	50	178
	計	320	87	92	83	96	358
合 計		1560	432	473	439	451	1795

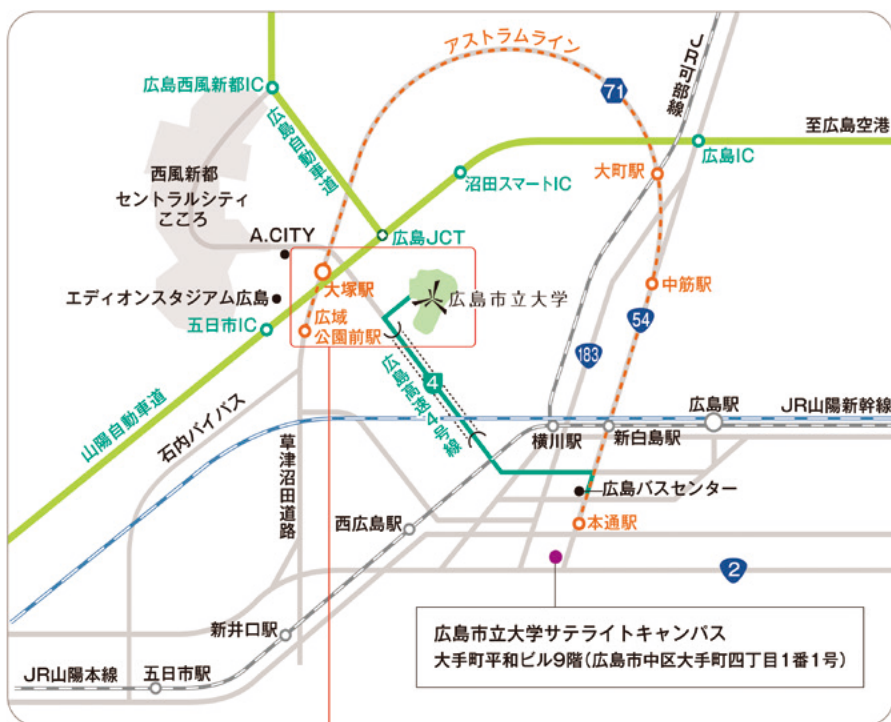
大学院生数

研究科	専攻	総定員	1年次	2年次	3年次	計	
国際学研究科	前期	30	10	7		17	
	後期	21	1	1	5	7	
	計	51	11	8	5	24	
情報科学研究科	前期	168	62	60	0	122	
	後期	84	4		6	10	
	計	252	66	60	6	132	
芸術学研究科	前期	60	26	29		55	
	後期	18	3	5	7	15	
	計	78	29	34	7	70	
平和学研究科	修士	20	7	2		9	
計	修士・前期	278	105	98	0	203	
	後期	123	8	6	18	32	
合 計		401	113	104	18	235	

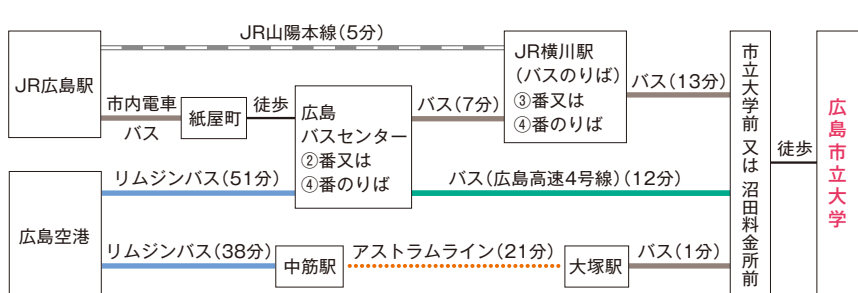
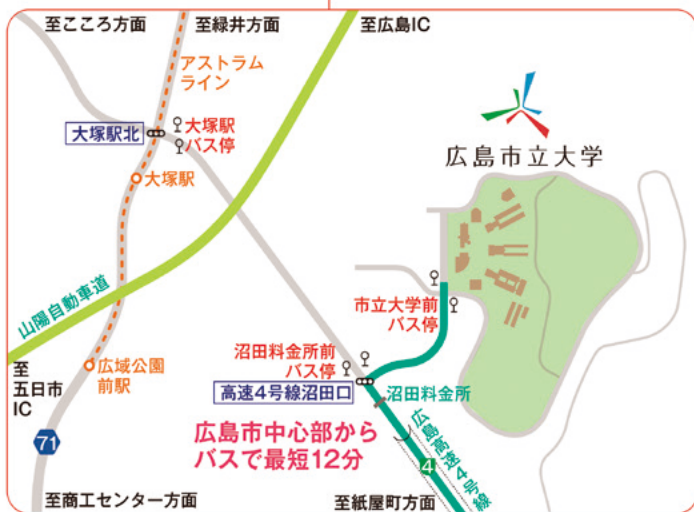
区 分	人 数	摘 要
外国人研究生	12	中国11、インドネシア1
科目等履修生	9	中国3
特別聴講学生	16	中国5、ドイツ5、フランス4、カナダ1、タイ1
外国人留学生	75	中国63、台湾1、韓国5、ベトナム4、インドネシア1、ガーナ1

アクセスマップ

広域マップ



大学周辺図



- 所要時間は目安です。
- 広島バスセンター発「くすの木台」・「沼田ループ右回り 広島駅」方面行きのバスは、「市立大学前」バス停を經由します。広島バスセンター発横川駅経由「花の季台」・「ところ西風梅苑」・「ところ産業団地」・「ところ南」方面行きのバスには、「市立大学前」バス停を經由する便としない便とがあります。「市立大学前」バス停を經由しない便では、「沼田料金所前」バス停で下車してください。

※「市立大学前」バス停から大学までは徒歩すぐ、「沼田料金所前」バス停から大学までは徒歩8分かかります。



3つのひかり 未来をつくる
広島市立大学
Hiroshima City University

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号
Tel. 082-830-1500(代) Fax. 082-830-1656
HP : <http://www.hiroshima-cu.ac.jp/>